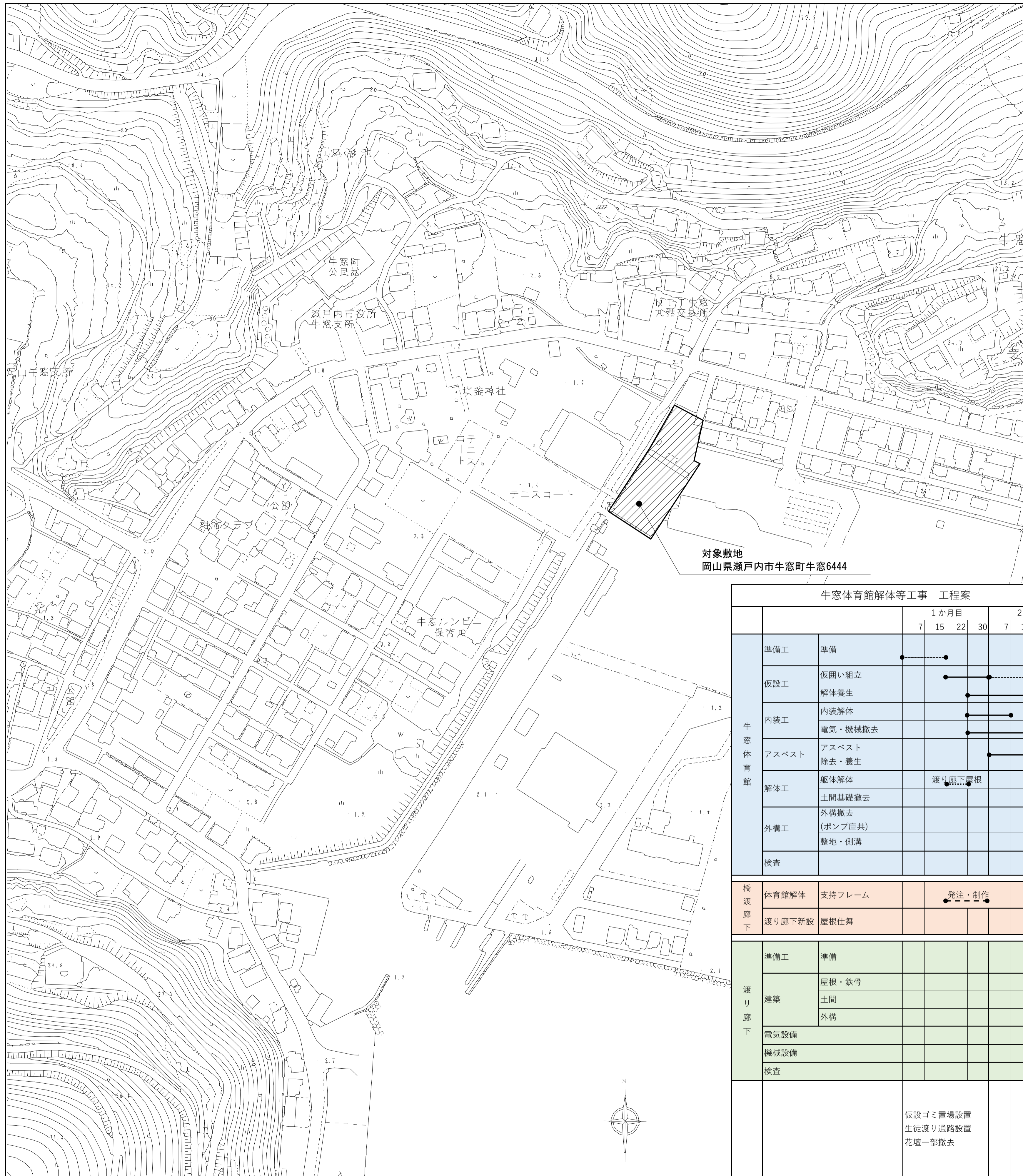


令和8年度

牛窓体育館解体工事

通り番号	図面番号	図面名称	縮尺	通り番号	図面番号	図面名称	縮尺	通り番号	図面番号	図面名称	縮尺
		(解体工事)								(電気設備解体工事)	
		表紙・目次		25	A-25	杭伏図	1:100	37	E-01	電気設備工事特記仕様書	-
1	A-01	解体特記仕様書	-	26	A-26	基礎伏図	1:100	38	E-02	構内線路設備撤去 配置図	1:200
2	A-02	共通仕様書	-	27	A-27	2階梁伏図	1:100	39	E-03	電灯設備撤去 1階平面図	1:100
3	A-03	付近見取図	1:1500	28	A-28	R階梁伏図	1:100	40	E-04	電灯設備撤去 2階平面図	1:100
4	A-04	仮設計画図1	1:300	29	A-29	リスト・架構図・配筋図	1:20	41	E-05	弱電設備撤去 1階平面図	1:100
5	A-05	仮設計画図2	1:30	30	A-30	配筋図・リスト	1:20	42	E-06	弱電設備撤去 2階平面図	1:100
6	A-06	配置図(着手時)	1:150	31	A-31	鉄骨詳細図1	1:50,1:30				
7	A-07	配置図(完成時)	1:150	32	A-32	鉄骨詳細図2	1:100,1:30				
8	A-08	仕上表	-	33	A-33	軸組図	1:100			(機械設備解体工事)	
9	A-09	1階平面図	1:100	34	A-34	鉄骨構造工作標準図	-	43	M-01	機械設備工事特記仕様書	-
10	A-10	2階平面図	1:100	35	A-35	平面詳細図・矩計図(渡り廊下接続部分)	図示	44	M-02	給排水衛生設備 屋外配管平面図	1:150
11	A-11	立面図	1:100	36	A-36	詳細図(渡り廊下部分)	1:50,1:30	45	M-03	給排水衛生設備 1階配管平面図	1:100
12	A-12	断面図	1:100					46	M-04	給排水衛生設備 1階配管詳細図	1:50
13	A-13	床伏図・天井伏図	1:200					47	M-05	空調・換気設備 1階配管平面図	1:100
14	A-14	矩計図	1:30					48	M-06	浄化槽詳細図	1:15
15	A-15	玄関部平面詳細図	1:50								
16	A-16	玄関部断面詳細図	1:50								
17	A-17	研修室詳細図・展開図	1:50								
18	A-18	トイレ・事務室詳細図・展開図	1:50								
19	A-19	放送室・階段室詳細図・展開図	1:30								
20	A-20	部分詳細図	1:100								
21	A-21	建具配置図・リスト	1:100,50								
22	A-22	建具リスト	1:50								
23	A-23	ポンプ庫詳細図	1:30								
24	A-24	体育設備図	1:100								

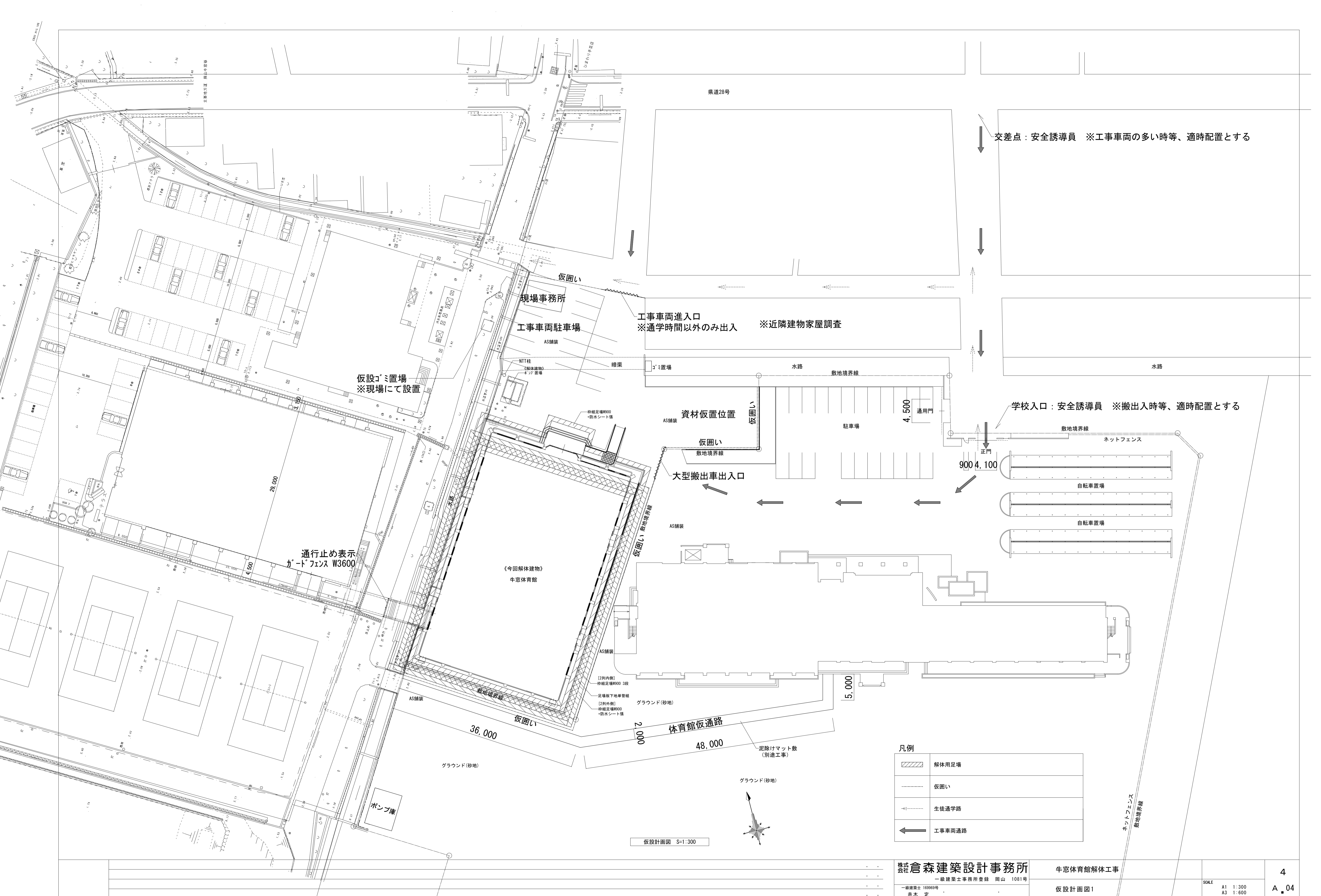
岡山県建築解体工事特記仕様書		9 施工数量調査 [1. 5. 2]	調査範囲及び調査方法 ※ 図示 調査報告書 提出2部	⑥ 石 綿 含 有 建 材 の 除 去 等	1 通用範囲 [6. 1. 1]	建築設備に使用されている石綿含有材の処理 ・	⑦ 特 殊 な 建 設 副 産 物 の 処 理	① フロン [7. 3. 1]	フロン類を使用している設備機器 ・パッケージ形空調和機の冷媒 ○ルームエアコンディショナーの冷媒 ・冷凍機の冷媒 「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象になって いるものは、同法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い、 監督職員に次の書類を提出する。 ○特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し		
I. 工 事 概 要		⑩ 技能士 [1. 6. 2]	○とび作業（※一級 ・二級）		② 調査 [6. 1. 3]	② 調査 [6. 1. 3]		調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章 6 による	8 そ の 他	2 特定化学物質等 [7. 3. 1]	回収及び処分方法 ・
1. 工事場所 岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓6444 2. 敷地面積 20,173.875 m ² 3. 工事種目		⑪ 完成時の提出図書	残置杭状図（作図範囲 配置図）（CADデータの提出 ※要 ・不要） 保全に関する資料 不要		③ 石綿粉じん 濃度測定 [6. 1. 3]	③ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクテナライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、 クロンダライト、トレモライト 分析方法		○分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクテナライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、 クロンダライト、トレモライト 分析方法 材料名 分析方法（定性） 分析方法（定量） AS防水シート ・ 1 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 屋根：昭和50年施工時のアスファルト防水シート	1 砂利地業 <4. 6. 2> <4. 6. 3>	材 料 ・再生クラッシュラン ・切込砂利及び切込砕石 砂利厚さ ・60mm 適用箇所 ・図示による（ ）	
棟 名 等 構造・規模等 適 要		② 騒音・粉塵等の対策 [2. 2. 1]	騒音・粉塵等の対策 ・ 防音パネル ○ 防音シート ○ 養生シート 設置範囲及び高さ ○ 図示		④ 解体 工 事	④ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクテナライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、 クロンダライト、トレモライト 分析方法 材料名 分析方法（定性） 分析方法（定量） AS防水シート ・ 1 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 ・ 箇所 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 屋根：昭和50年施工時のアスファルト防水シート		測定時期、場所及び測定点	2 捨コンクリート地業 <4. 6. 4> <6. 1. 4. 1>	捨コンクリートの厚さ ・50mm 適用箇所 ・基礎梁下、土に接するスラブ下 ・図示による（ ） 設計基準強度 ・18N/mm ² スラブ ・15cm ・18cm	
1) 体育館 (1階部分)鉄筋コンクリート造 1,338,255m ² (2階部分)鉄骨造 2) ポンプ庫 鉄筋コンクリート造平家建て 9.0 m ² (地下 貯水槽)		③ 監督職員事務所 [2. 3. 1]	※ 設けない ・ 既存建物内の一部を使用する（場所 ） ・ 構内に新設する 備品等は監督職員の指示を受けて設置するものとする。		⑤ 工事用水	⑤ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点		測定方法 ・ 自動測定器による測定	3 路 床 <2. 2. 2> <2. 2. 3> <2. 2. 5>	路床の材料 ・ 遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示による ・ 凍上抑制層 ※再生クラッシュラン・クラッシュラン ・ 切込み砂利・砂厚さは図示による ・ フィルター層 ※砂 厚さは図示による	
5) 囲障 ・アルミフェンス ・バリカー ・		④ 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できる（※ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない		⑥ 構内舗装、樹木等 [3. 11. 1]	⑥ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点		測定方法 ・ 自動測定器による測定	4 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	路床安定処理 ・ 行う ※添加材料による安定処理 種類・普通ポルトランドセメント・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（・特号 ・1号） ・消石灰（・特号 ・1号） 添加量 k g/m ² （目標CBR ※5 以上 ・ ） ・ジオテキスタイル 単位面積質量 60 g/m ² 以上 厚さ (mm) 0.5~1.0 引張強さ 98N/5cm (10k g f/5cm) 以上 透水係数 1.5×10 ⁻⁶ cm/s e c 以上	
6) 舗装 ・アスファルト舗装(図示範囲[配置図(着手時)])		⑤ 工事用電力	※ 別途引き込みとする ・ 構内既存の施設を利用できる（※ 有償 ・ 無償）		⑦ 解体 施 工	⑦ JIS K 3850-11に基づいた測定 測定名称 ・ 測定4 ・ 測定（ ） ・ 測定（ ） ・ 測定（ ） ・ 測定5 測定（ ）		メンレンフィルタ直径 (mm) 25 47 47 試料の吸引流量 (l/m i n) 5 10 10 試料の吸引時間 (m i n) 30 120 240	盛土に用いる材料 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 試験 路床土の支持力比（CBR）試験 ※行う ・ 行わない 路床の締固め度の試験 ※行う ・ 行わない 現場CBR試験 ※行う ・ 行わない		
7) 屋外設備 8) 雑工作物 ・橋渡り廊下 ・橋渡り廊下支持フレーム取り付け ・（中学校倉側）テント庇		⑧ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による		⑧ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑧ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点		測定方法 ・ 自動測定器による測定	5 アスファルト舗装 <2. 2. 4. 2~6>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない	
9) 植栽		⑨ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による		⑨ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑨ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点		測定方法 ・ 自動測定器による測定	6 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない	
II. 建築工事仕様		⑩ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による		⑩ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑩ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点		測定方法 ・ 自動測定器による測定	7 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない	
1. 共通仕様		⑪ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	⑪ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑪ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	8 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。 解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。		⑫ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	⑫ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑫ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	9 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
2. 特記仕様		⑬ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	⑬ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑬ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	10 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
(1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。 (2) 特記事項は○印のついたものを適用する。 ○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。 ○印と※印のついた場合は共に適用する。 (3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目を示す。 (4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目を示す。 (5) 特記事項に記載の〈 〉内表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。		⑭ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	⑭ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑭ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	11 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
章 項 目 特 記 事 項		⑮ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	⑮ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑮ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	12 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
① 一般 共 通 事 項		⑯ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	⑯ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑯ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	13 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
※適用基準等		⑰ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	⑰ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑰ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	14 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
① 工事実績情報の 作成・登録 について [1. 1. 4]		⑱ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	⑱ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑱ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	15 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
2 関係法令等の遵守 [1. 1. 13]		⑲ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	⑲ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑲ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	16 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
③ 電気保安技術者 [1. 3. 3]		⑳ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	⑳ 1 事前措置 [3. 2. 1]	⑳ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	17 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
④ 施工条件 [1. 3. 5]		㉑ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	㉑ 1 事前措置 [3. 2. 1]	㉑ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	18 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
⑤ 安全計画書 [1. 3. 6~8]		㉒ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	㉒ 1 事前措置 [3. 2. 1]	㉒ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	19 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
⑥ 石綿含有建材の 事前調査 [1. 4. 1]		㉓ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	㉓ 1 事前措置 [3. 2. 1]	㉓ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	20 路 盤 <2. 2. 3. 2~3> <2. 2. 3. 5>	舗装の種類 ・ アスファルト舗装 ・ カラ舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・ コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ・ クラッシュラン鉄鎖スラグ ・ 透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・ 透水性コンクリート舗装 - ※図示 ・ インターロッキングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・ 転圧コンクリート舗装 ※図示 - ・ コンクリート平板舗装 - ※図示 ・ 舗石 舗装 - ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・ 行わない			
⑦ 環境への配慮 [1. 3. 9]		㉔ 1 事前措置 [3. 2. 1]	浄化槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒 ・事前措置による ・本工事による	㉔ 1 事前措置 [3. 2. 1]	㉔ 測定1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定2 処理作業前 調査対象室外部の付近 ・ 計 点 ・ 測定3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定4 セキュリティゾーン入口 ・ 計 点 ・ 測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置 (処理作業室外の場合) ・ 計 点 ・ 測定6 処理作業室外 ・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界 ・ 計 点 ・ 測定7 処理作業後(シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定8 処理作業後シート 処理作業室内 ・ 計 点 ・ 測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・ 計 点	測定方法 ・ 自動測定器による測定	21 路 盤 <2. 2.				



対象敷地
岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓6444

牛窓体育館解体等工事 工程案

		1か月目				2か月目				3か月目				4か月目				5か月目				6か月目				7か月目				8か月目				9か月目				10か月目																																																																																																																																			
		7	15	22	30	7	15	22	30	7	15	22	30	7	15	22	30	7	15	22	30	7	15	22	30	7	15	22	30	7	15	22	30	7	15	22	30	7	15	22	30	7	15	22	30																																																																																																																												
牛窓体育館	準備工	準備																												全体確認																																																																																																																																											
	仮設工	仮囲い組立																												外部足場 (2.0)																												仮囲い撤去																																																																																																															
		解体養生																																																																																																																																																																							
	内装工	内装解体																																																																																																																																																																							
		電気・機械撤去																																																																																																																																																																							
	アスベスト	アスベスト除去・養生																																																																																																																																																																							
	解体工	躯体解体																												渡り廊下屋根																																																																																																																																											
土間基礎撤去																																																																																																																																																																									
外構工	外構撤去 (ポンプ庫共)																																																																																																																																																																								
	整地・側溝																																																																																																																																																																								
検査																																																																																																																																																																									
橋渡廊下	体育館解体	支持フレーム																												発注・制作																												設置																																																																																																															
	渡り廊下新設	屋根仕舞																																																								切断部																																																																																																															
渡り廊下	準備工	準備																												全体確認																																																																																																																																											
	建築	屋根・鉄骨																												発注・制作																																																																																																																																											
		土間																																																																																																																																																																							
	電気設備	外構																												配管																												配線																																																																																																															
	機械設備																																																																																																																																																																								
検査																																																																																																																																																																									
		仮設ゴミ置場設置 生徒渡り通路設置 花壇一部撤去																												中学校底テナント撤去																												中学校底テナント設置																												解体完了検査																												渡り廊下完成検査																												引渡し																											



交差点：安全誘導員 ※工事車両の多い時等、適時配置とする

※近隣建物家屋調査

学校入口：安全誘導員 ※搬入時等、適時配置とする

仮設ゴミ置場
※現場にて設置

通行止め表示
ガードフェンス W3600

《今回解体建物》
牛窓体育館

凡例

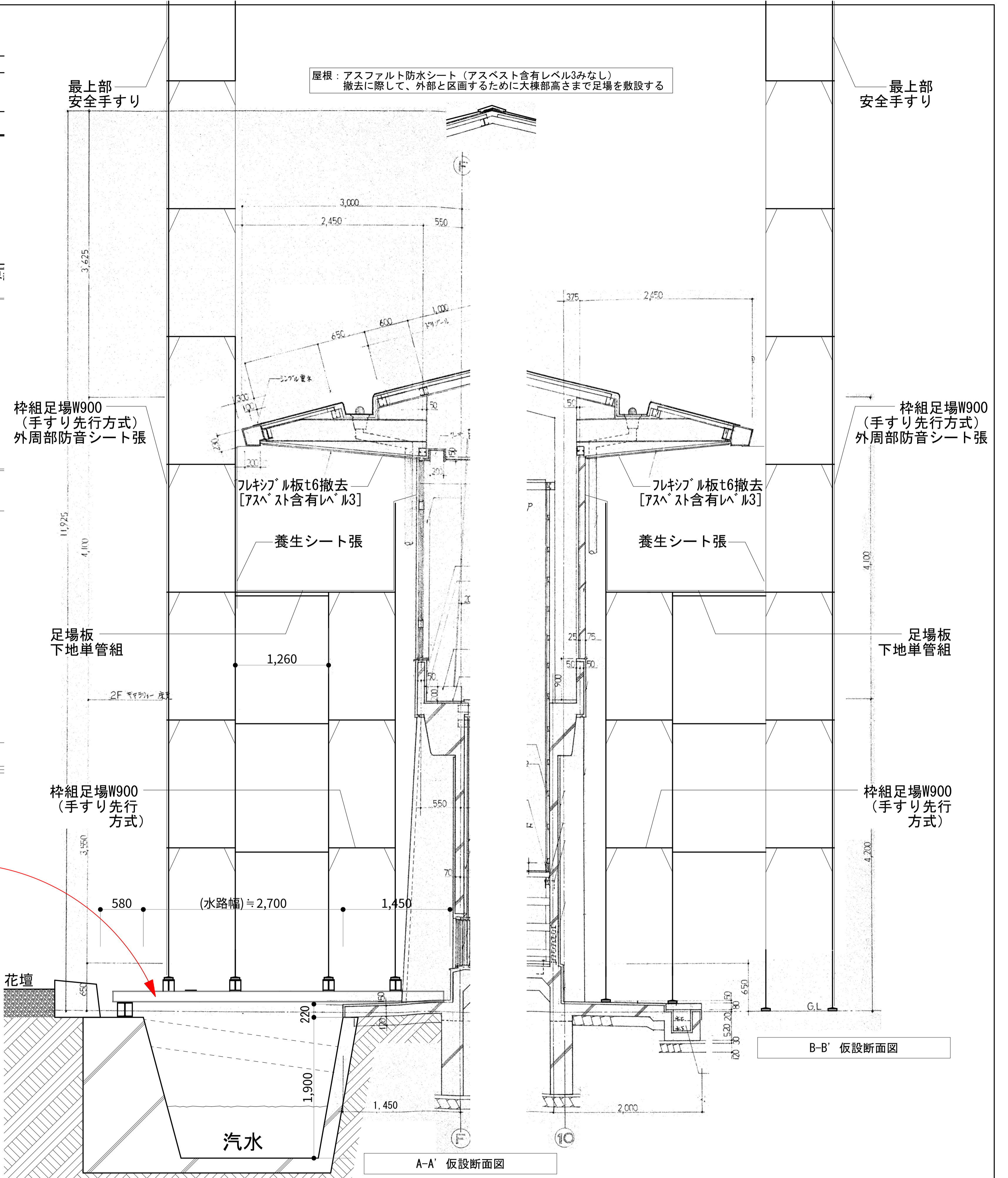
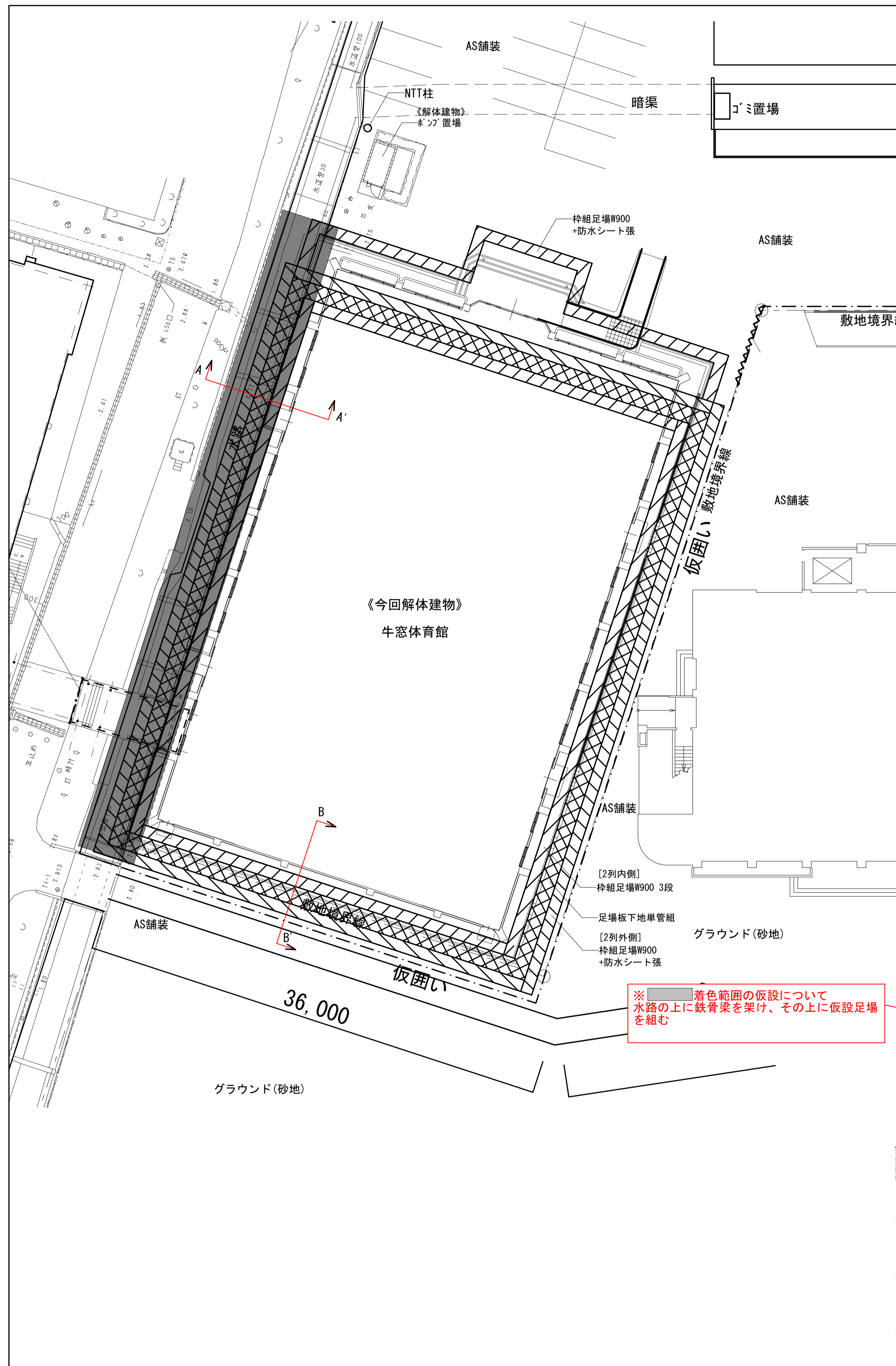
	解体用足場
	仮囲い
	生徒通学路
	工事車両通路

仮設計画図 S=1:300

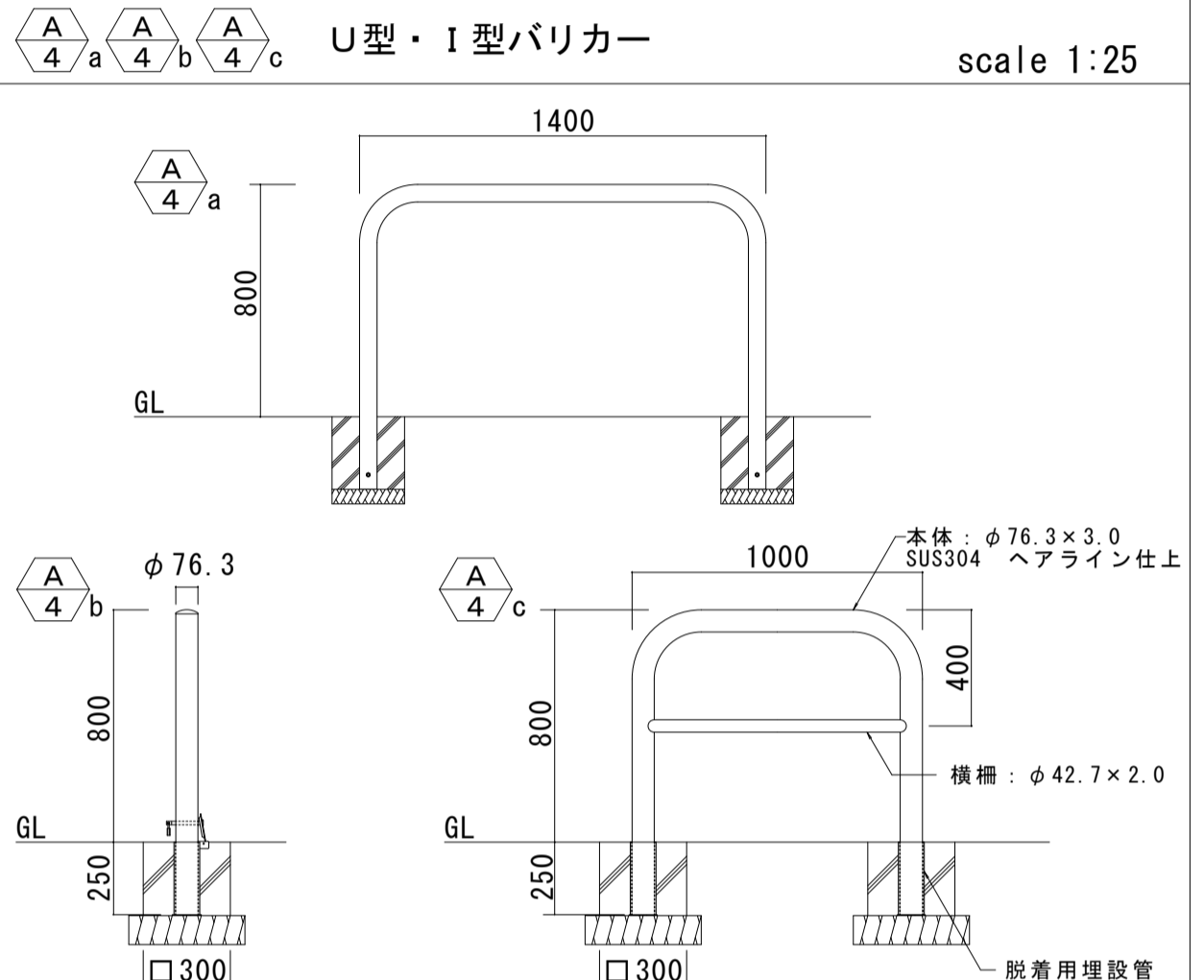
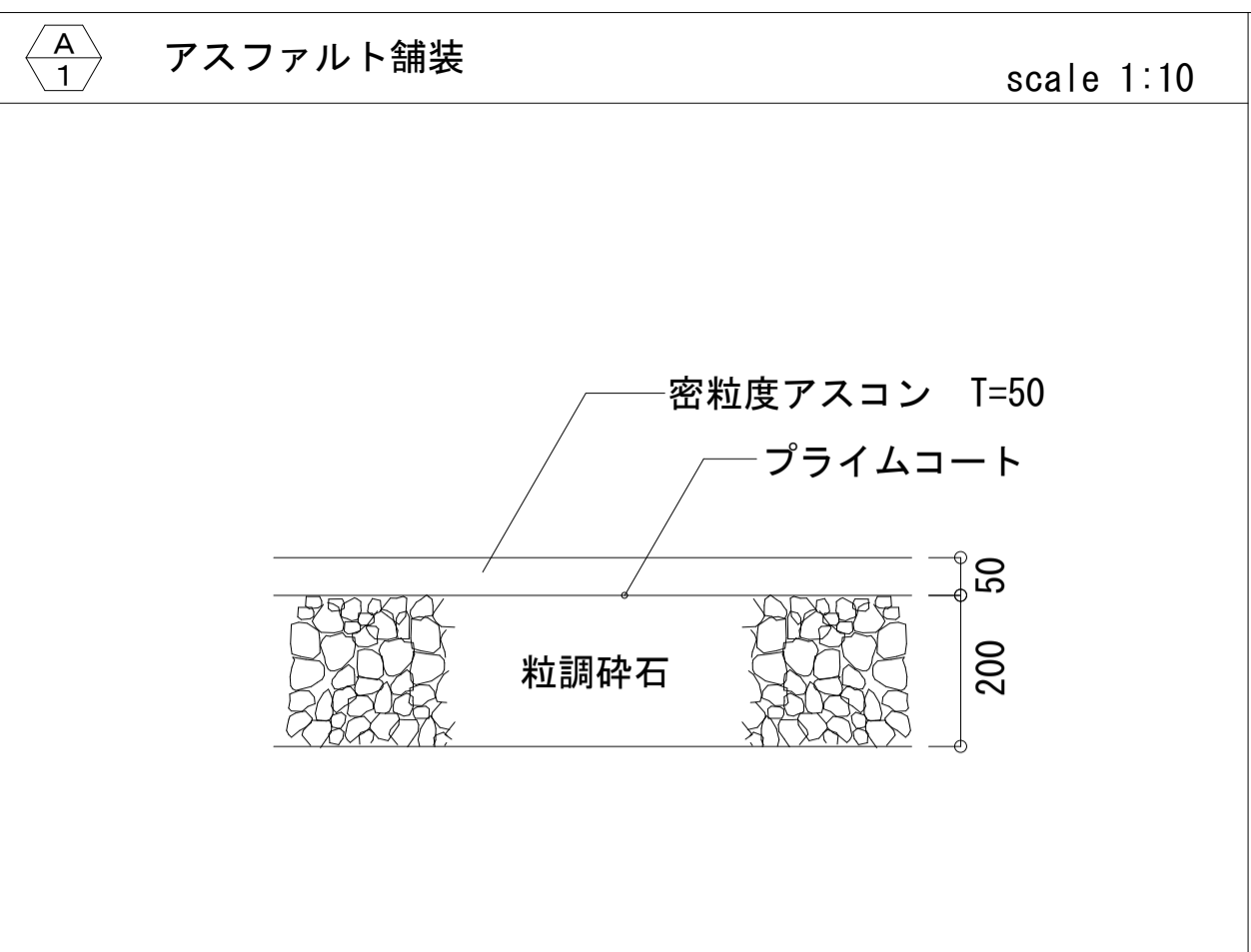
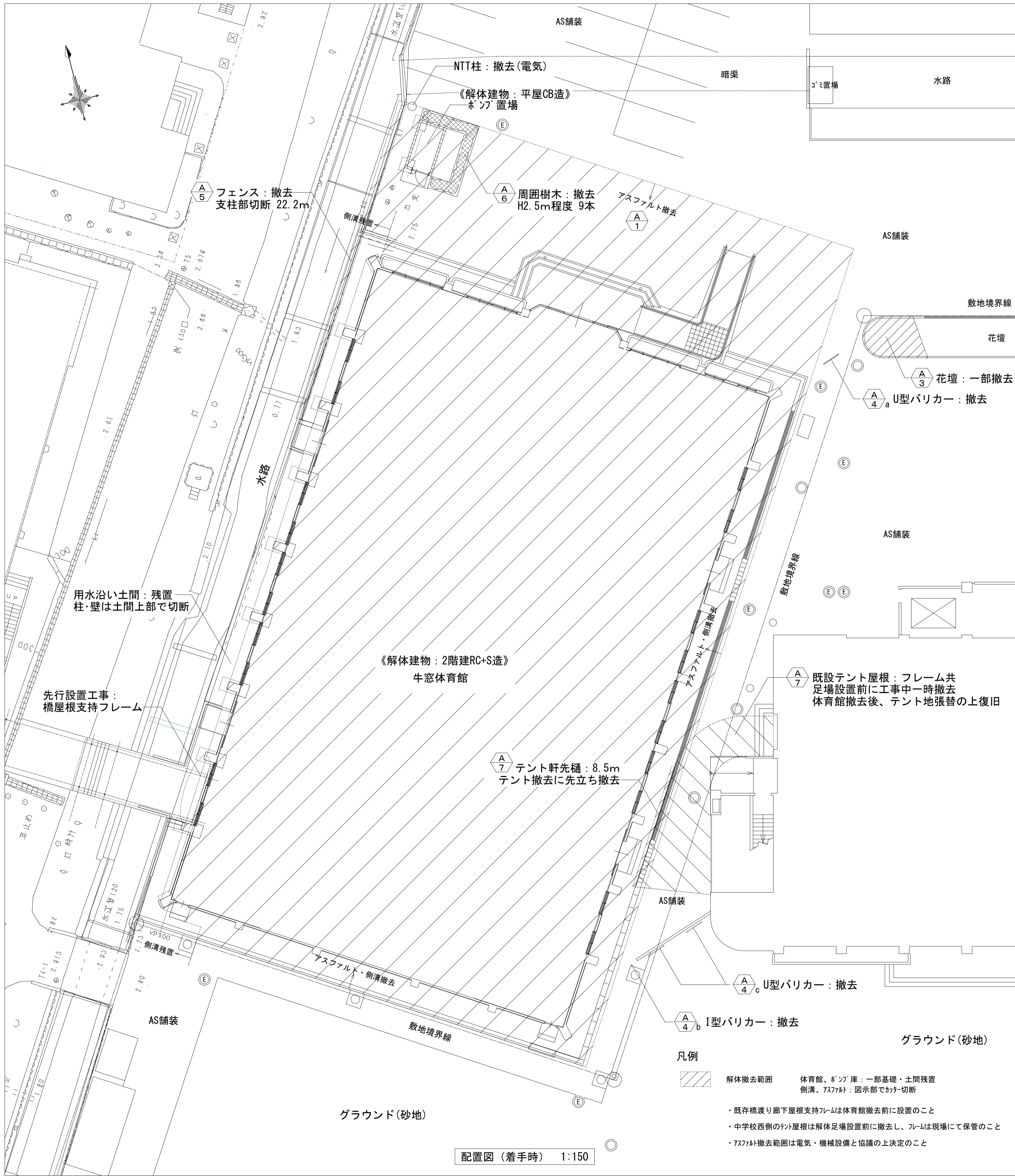
巖倉森建築設計事務所
一級建築士事務所登録 岡山 1081号
一級建築士 169969号
赤木 定

牛窓体育館解体工事
仮設計画図1

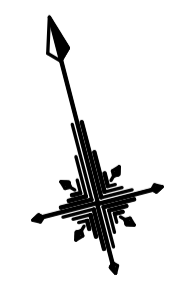
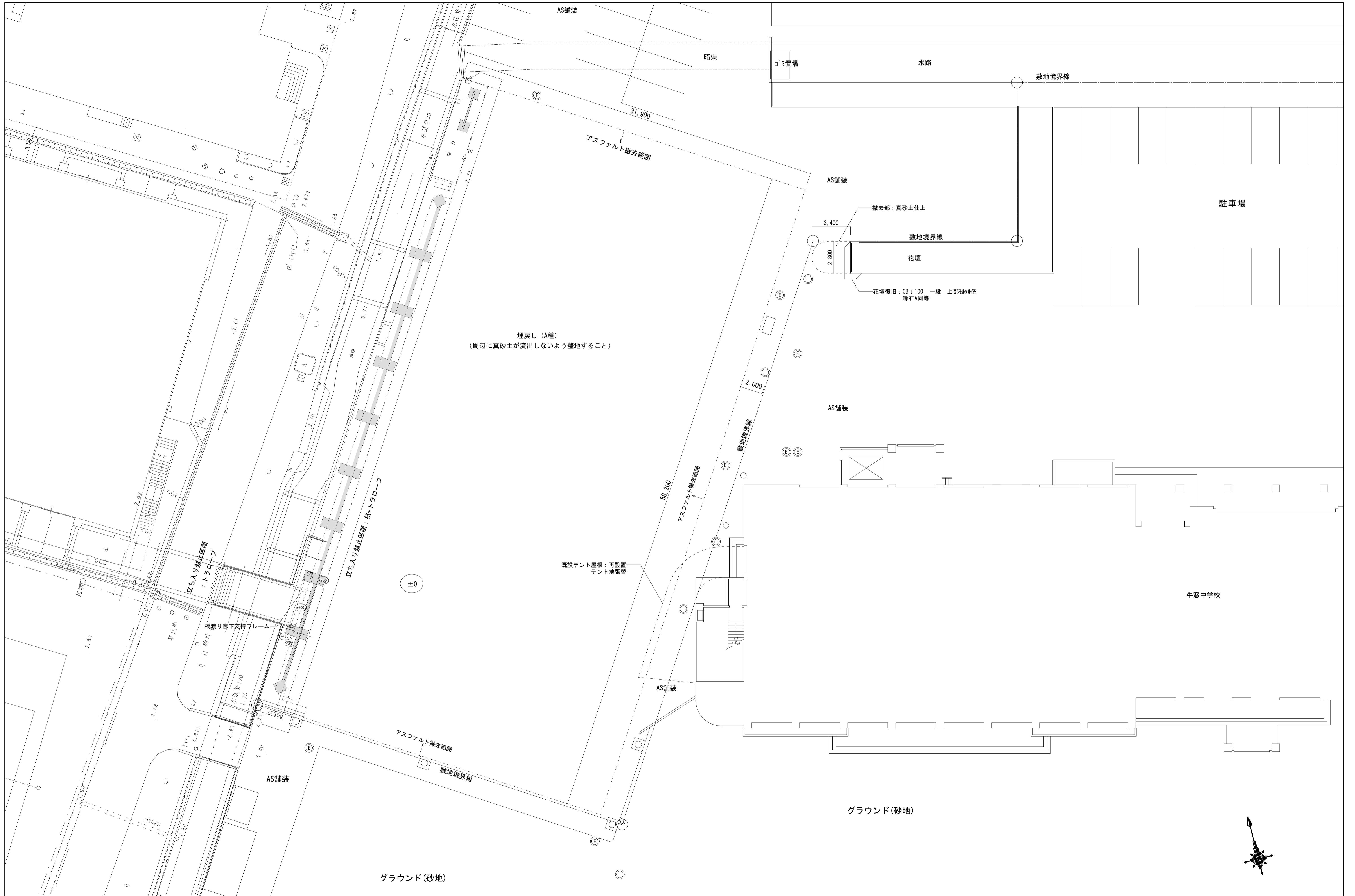
SCALE
A1 1:300
A3 1:600



※水路側に仮設足場を敷設する際は、事前に占有許可申請（法定外公共物）を行うこと



- 凡例
- 解体撤去範囲
 - 体育館、ポンプ庫：一部基礎・土間残置
 - 側溝、アスファルト：図示部でカッター切断
 - 既存構造り廊下屋根支持フレームは体育館撤去前に設置のこと
 - 中学校西側のテント屋根は解体足場設置前に撤去し、フレームは現場にて保管のこと
 - アスファルト撤去範囲は電気・機械設備と協議の上決定のこと



外部仕上表

屋根	ドリゾール板 5S 3A-200 + オガクズモルタル金ゴテ押え + アスファルト防水 SGL425 + シングル葺 ルーフィング22kg + フッ素鋼板 70.6 瓦葺葺、軒先:野地板コンパネ 715 + ルーフィング22kg + フッ素鋼板 70.35 一文字葺
軒天	※1 軽鉄下地 フレキシブル板 76 VP仕上、一部 ベニヤ板枠 コンクリート打放 目地切 @900
軒鼻	FB 45×40@600 耐水合板 712ビス止め 銅箔貼 (スターゴールド又は同等品)
外壁	1階 正面 小口タイル貼、その他 モルタル刷毛引塗 防水系複層塗材、巾木 モルタル金ゴテ押え
	2階 ALC版及び モルタル刷毛引塗 防水系複層塗材 西面開口部分にフレクスラム取付 (壁面より400出 金物はステンレス製とする)
柱梁型	杉板型枠コンクリート打放 (塗目)
ポーチ	床 舗石タイル100×100、天井 アルミモールディング
犬走り	コンクリート 7120打ち、モルタル金ゴテ押え 目地切
側溝	コンクリート打 モルタル金ゴテ押え、蓋 コンクリート製 (9φ筋入) 150×450×80
花壇	コンクリート製 モルタル金ゴテ押え下地 吹付タイル、内 防水モルタル金ゴテ押え
建具	玄関 ステンレス、その他 アルミサッシ 窓ガラス枠: ※3 コーキング
樋	ドレン 鋳鉄製 100φ、谷樋 モルタル金ゴテ押え アスファルト防水 SGL-425、谷コイル 70.4取付 縦樋 ステンレスパイプ 72.0 φ100、支持具 ステンレス 3.2×30 @1000
笠木	PCコンクリート板 打放仕上 BT止め
屋上	※2 均しモルタル金ゴテ押え 720 アスファルト露出防水 8層 豆砂利 (15~25%) 750 敷込み
階段	コンクリート製 モルタル金ゴテ押え、段鼻 タイル使用
スロープ	磁器タイル 300×300、100×100 巾木 50×75

雑工事

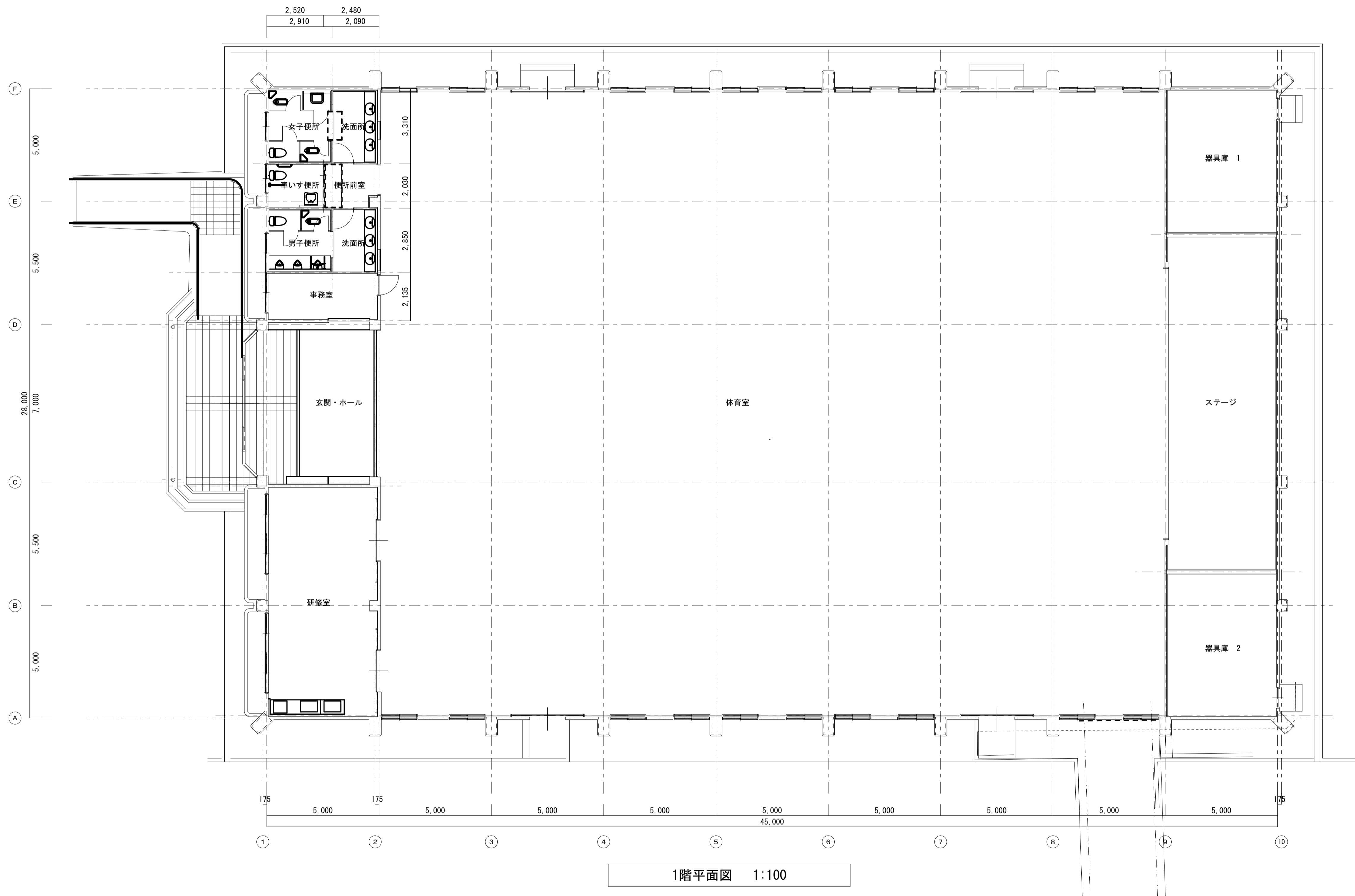
下足箱	W=2575 H=1000 しなベニヤ 74 T1フラッシュ t=20 t=18 TP仕上、天端はメラミン化粧合板貼	1ヶ
傘立	市販品 (パーベル製 レインラック同等) W=300 L=750 H=500	2ヶ
室名札	アクリル製 差し込み式 80×265	13ヶ
脱衣棚	W=1040 H=450 メラミン化粧合板フラッシュ製 t=26 t=18	2ヶ
ビニールカーテン	W=1040 H=2000 ヒダ1.5倍 カーテンレールはステンレス製 C型 (天井にV型固定とする)	2本
姿見鏡	W=1800 H=1800 両引込フラッシュ扉付 取付高さはFLより200とする	1ヶ
カーテンBOX	木製 (ラワン 724) 寸法は特記なき限り W=200×H=150 (内寸) とする レールはステンレス製 C型	130M
手摺	丸パイプ: 丸鋼製 FP仕上 取付はPL4.5 W=100	108M
格子	FB 74.5 丸鋼9.0製 W=1530×H=615 FP仕上 (体育館地窓に取付)	20ヶ
面格子	アルミ (カラー) 角パイプ 50×30 @100、受 アルミ (カラー) 角パイプ50×20、 取付ブラケット ステンレス 73.5 □型 @1000	
ポリドーム	ポリドーム C-900 (日本ポリドーム株同等)	2ヶ
銘板	青銅鑄物製 900×200 表面磨仕上	1ヶ
行事予定板	スチール製 地色 グリーン W=1200×H=900 壁掛式 アルミ製枠及び粉受付	1ヶ
黒板	スチール製 地色 グリーン W=1900×H=900 固定	2ヶ
タラップ	鉄製 (丸パイプ 42.7φ 丸鋼 16φ) W=400×H=2800	2ヶ
放送室台	フラッシュ台板 740 メラミン化粧合板貼仕上 (支えブラケットへ FB 6×30及びPL4.5 @300 FP仕上)	1か所
切文字	アクリル板 73.0 W=100×H=120	2ヶ

内部仕上表

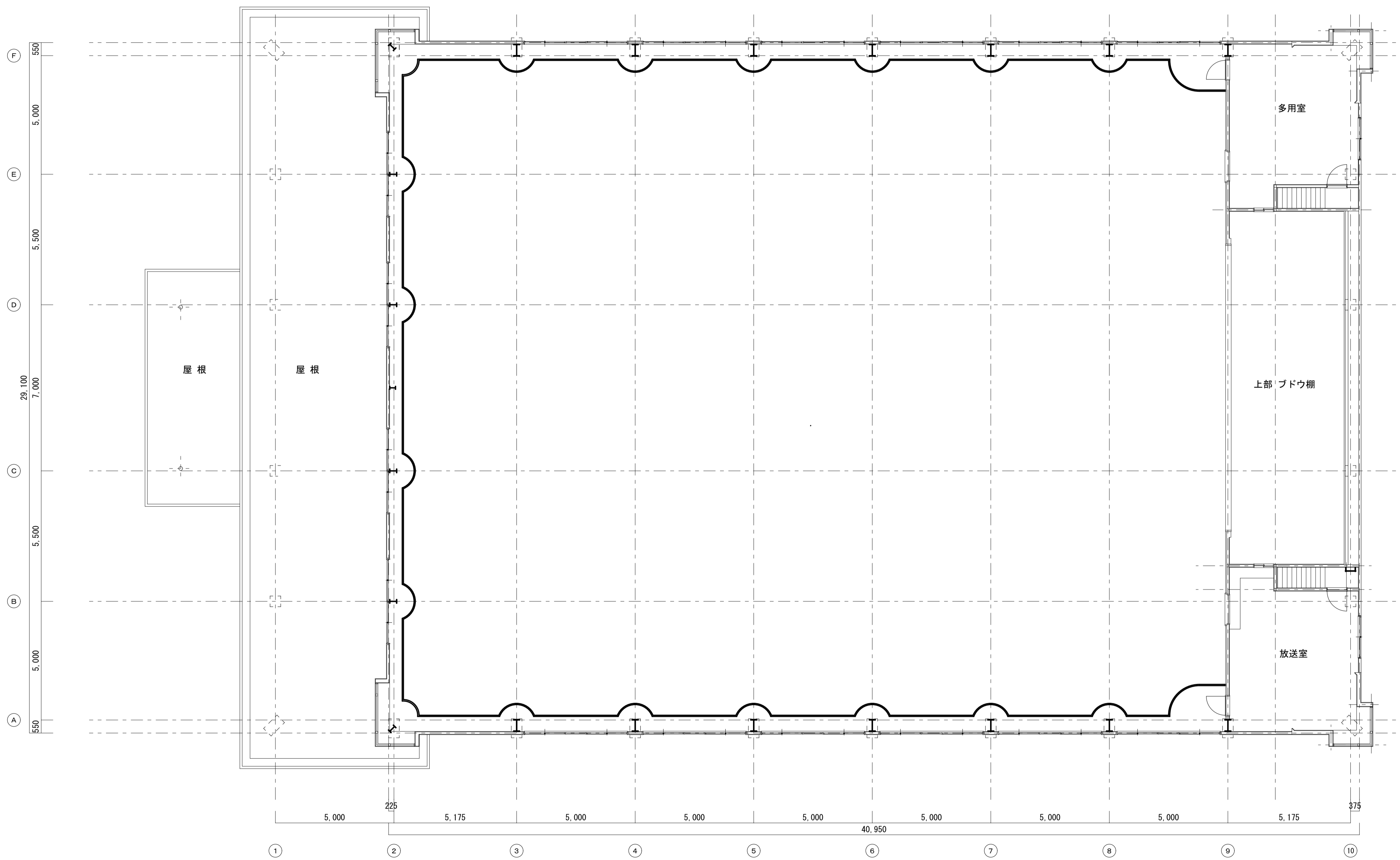
GB-R: せっこうボード
GB-D: 化粧せっこうボード

階	室名	床	巾木	壁	天井	廻縁	天井高	備考	
1	玄関・ホール	磁器タイル 300×300、タイルカーペット 床見切: 黒御影W100	ソフト巾木	150	モルタル金ゴテ押え ビニルクロス		LGS下地 アルミモールディング貼 70.8	アルミ 2550 2700	傘立、下足箱、カウンター
	事務室	モルタル金ゴテ押え タイルカーペット	ソフト巾木	100	モルタル金ゴテ押え ビニルクロス LGS下地 GB-R t=12.5 ビニルクロス		LGS下地 GB-D t=9.5	塩ビ 2500	室名札
	研修室	鋼製床組 フローリング張	ソフト巾木	75	モルタル金ゴテ押え キッチン前: LGS下地 化粧ケイカル板	AEP	LGS下地 GB-D t=9.5	塩ビ 2570	室名札、流し台
	便所前室	鋼製床組 フローリング張	木製 OP	100	腰: LGS下地 GB-R t=12.5 銘板化粧板 H1100 壁: LGS下地 GB-R t=12.5 ビニルクロス		LGS下地 GB-D t=9.5	塩ビ 2500	トップライト
	男子洗面所	鋼製床組 フローリング張	木製 OP	100	腰: LGS下地 GB-R t=12.5 銘板化粧板 H1100 壁: LGS下地 GB-R t=12.5 ビニルクロス		LGS下地 GB-D t=9.5	塩ビ 2500	トップライト
	女子洗面所	鋼製床組 フローリング張	木製 OP	100	腰: LGS下地 GB-R t=12.5 銘板化粧板 H1100 壁: LGS下地 GB-R t=12.5 ビニルクロス		LGS下地 GB-D t=9.5	塩ビ 2500	トップライト
	男子便所	磁器タイル 300×300	壁同材		100×200 カラータイル張		LGS下地 GB-D t=9.5	塩ビ 2500	膳板: 大理石
	女子便所	磁器タイル 300×300	壁同材		100×200 カラータイル張		LGS下地 GB-D t=9.5	塩ビ 2500	膳板: 大理石
	車いす便所	磁器タイル 300×300	壁同材		100×200 カラータイル張		LGS下地 GB-D t=9.5	塩ビ 2500	膳板: 大理石
	ステージ	木造床組 ナラフローリング張 ポリウレタン樹脂仕上	柵 718 OP	100	※6 石綿セメント硬質板 75 ヘッシャンクロス貼	AEP	ブドウ棚、FP OP	— —	下部: 台車収納庫
	器具庫 (東西)	鋼製床組 フローリング張	ソフト巾木 ※5	100	モルタル金ゴテ押え 石綿セメント軟質板 75 フレキシブルボード ケイカル板 ※4	AEP	LGS下地 GB-R t=12 底目、EPローラー	塩ビ 2700	室名札
	体育室	鋼製床組 フローリング張	柵 718 OP	100	木造下地 ラワン 712.5 コペンハーゲンリブ張	OSCL	ドリゾール板 750 エマルシン吹付 一部ビニルクロス	— —	カーテンボックス、カーテンレール、姿見鏡、黒板×2
2	階段室	フロア合板貼 踏板: ラワン 730 ポリウレタン仕上	ラワン 718 OP	100	モルタル金ゴテ押え 石綿セメント軟質板 75	AEP	LGS下地 吸音テックス貼 t=9(防炎加工)	塩ビ —	タラップ
	放送室	フロア合板貼 一部モルタル下地 塩ビタイル貼	ソフト巾木 ※5 柵 718 OP	100	モルタル金ゴテ押え 有孔石綿セメント軟質板 75 有孔ケイカル板 仕上裏: グラスウール ※4	AEP	LGS下地 GB-R 吸音テックス貼 t=9(防炎加工)	塩ビ 2720	室名札
	多用室	フロア合板貼 一部モルタル下地 塩ビタイル貼	ソフト巾木 ※5 柵 718 OP	100	モルタル金ゴテ押え ※6 石綿セメント軟質板 75	AEP	LGS下地 GB-R 吸音テックス貼 t=9(防炎加工)	塩ビ —	室名札
	ギャラリー	モルタル金ゴテ押え	モルタル金ゴテ押え AEP	200	腰: モルタル金ゴテ押え AEP H600 壁: ALC版下地 エマルシン吹付		※6 LGS下地 石綿セメント軟質板 75 底目 AEP	塩ビ 3250	手摺

※アリーナ見えがかり鉄部はすべてFP2回塗仕上



1階平面図 1:100



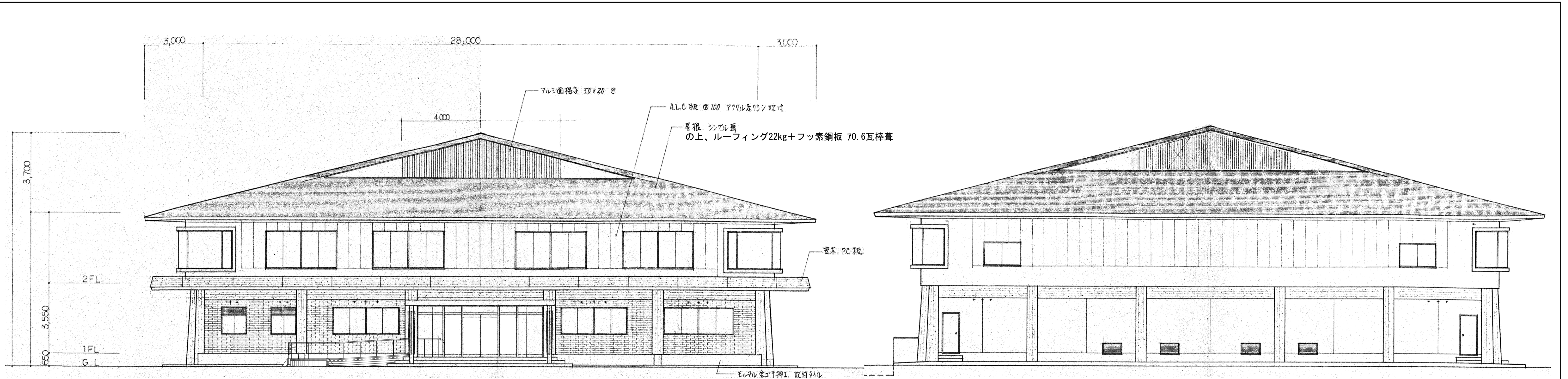
2階平面図 1:100

株式会社 倉森建築設計事務所
 一級建築士事務所登録 岡山 1081号
 一級建築士 16995号
 赤木 定

牛窓体育館解体工事
 2階平面図

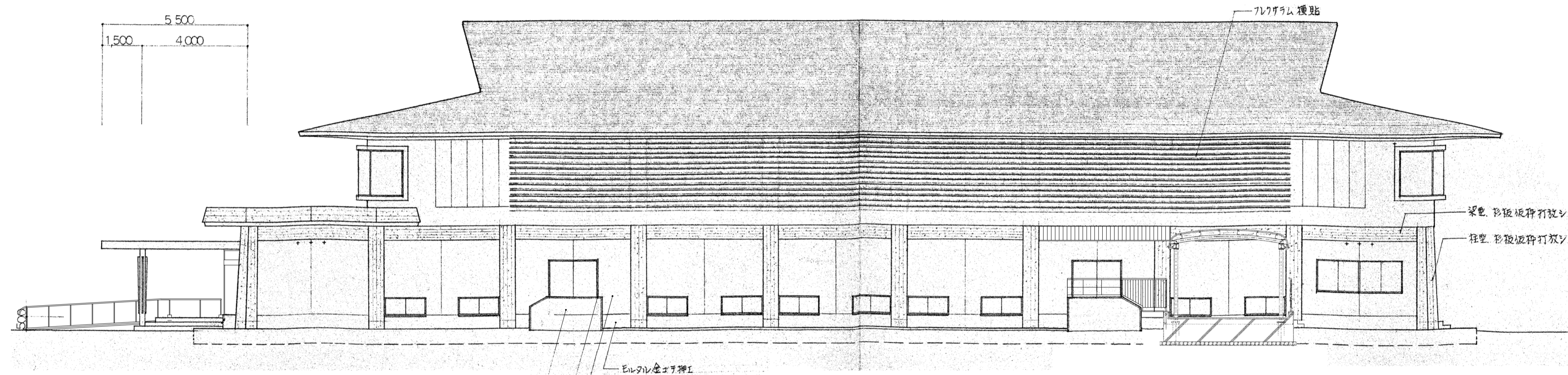
SCALE
 A1 1:100
 A3 1:200

10
 A ■ 10

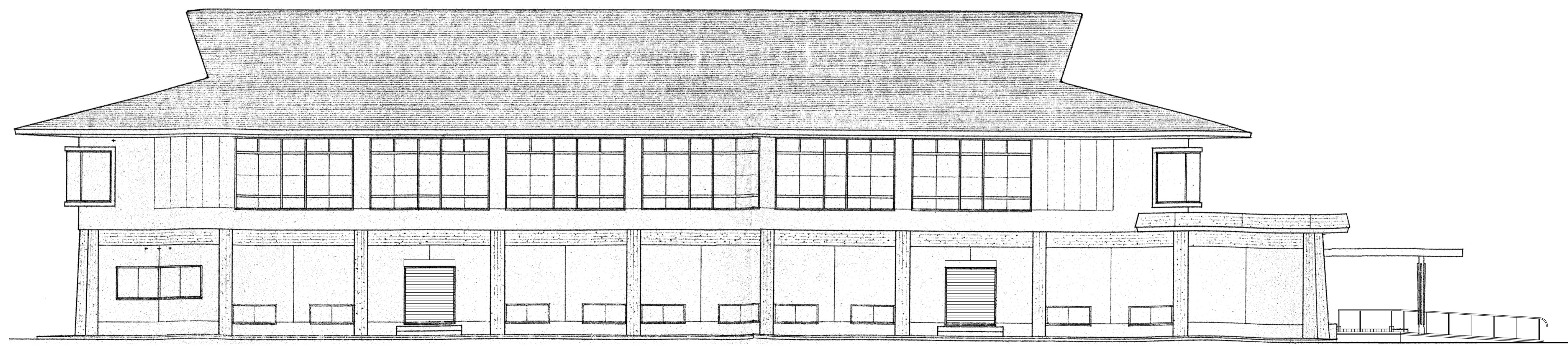


北側立面図 1:100

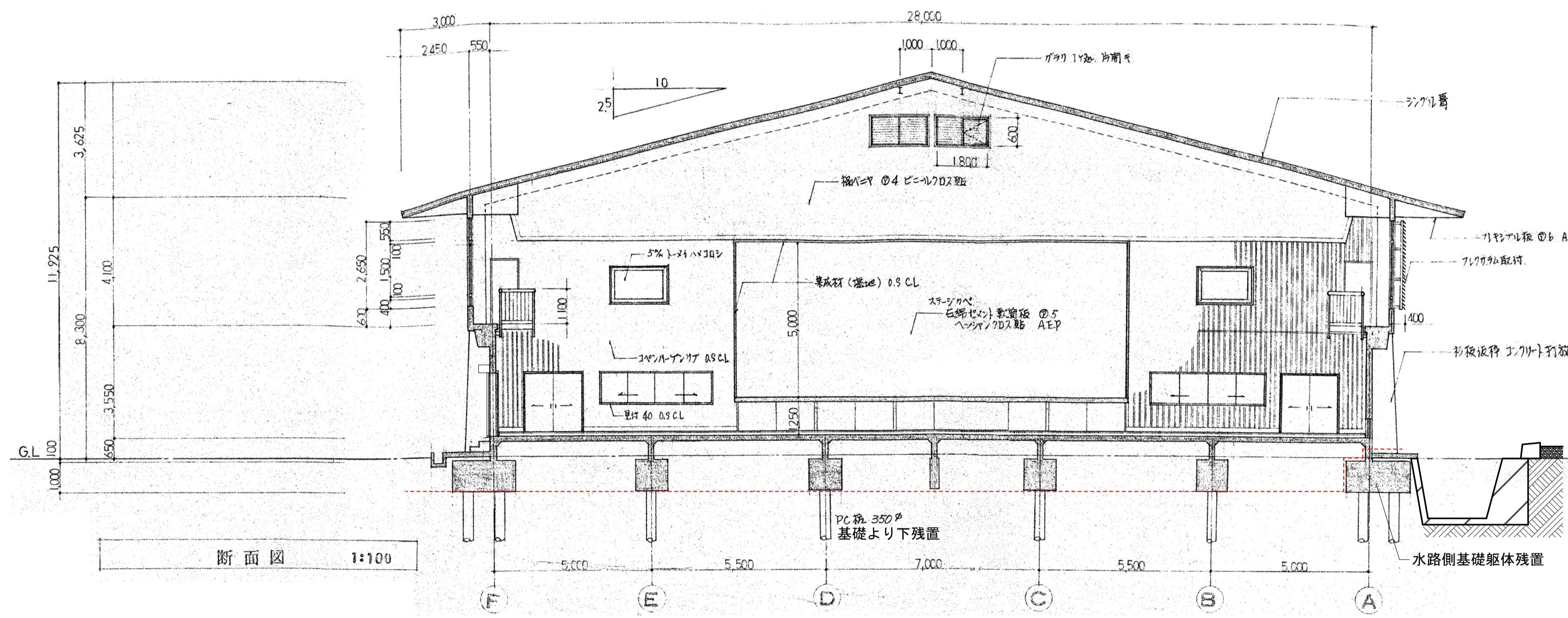
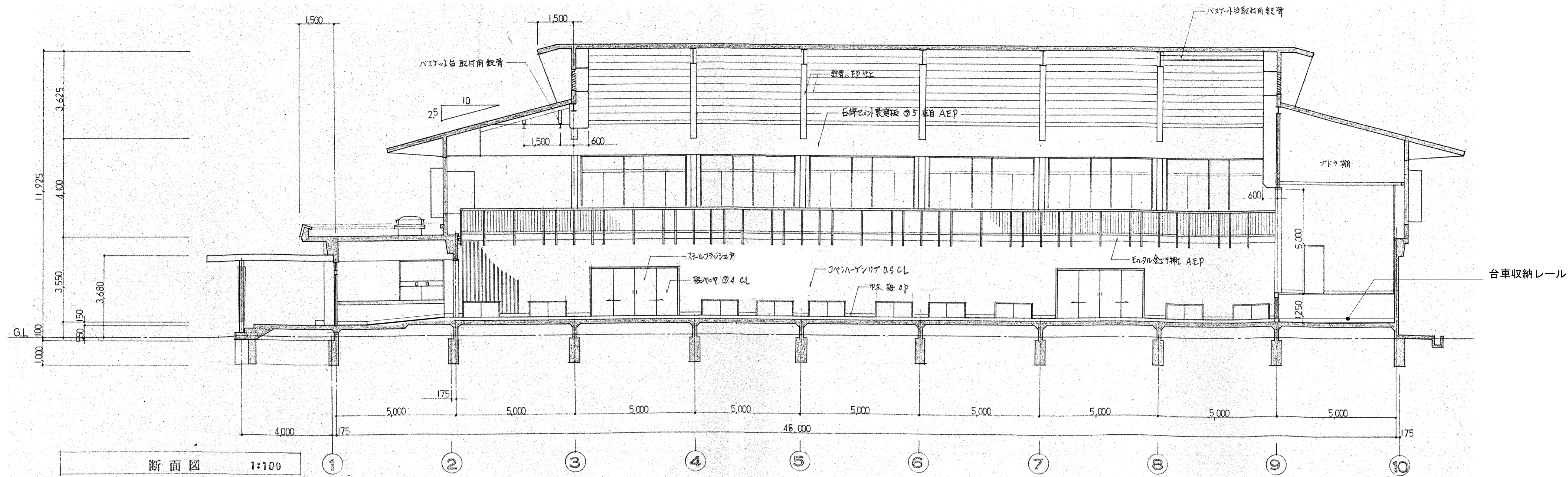
南側立面図 1:100

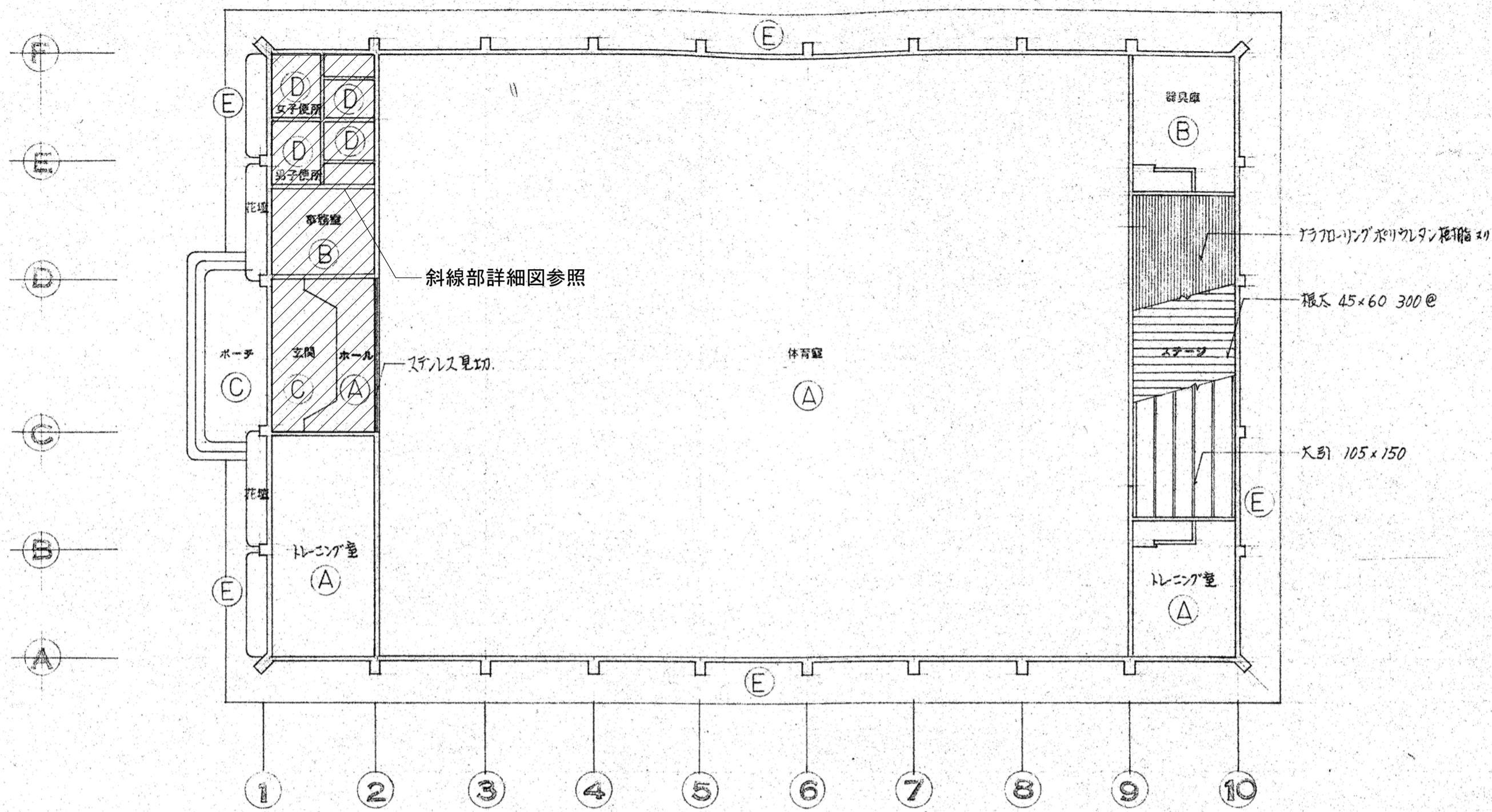


西側立面図 1:100

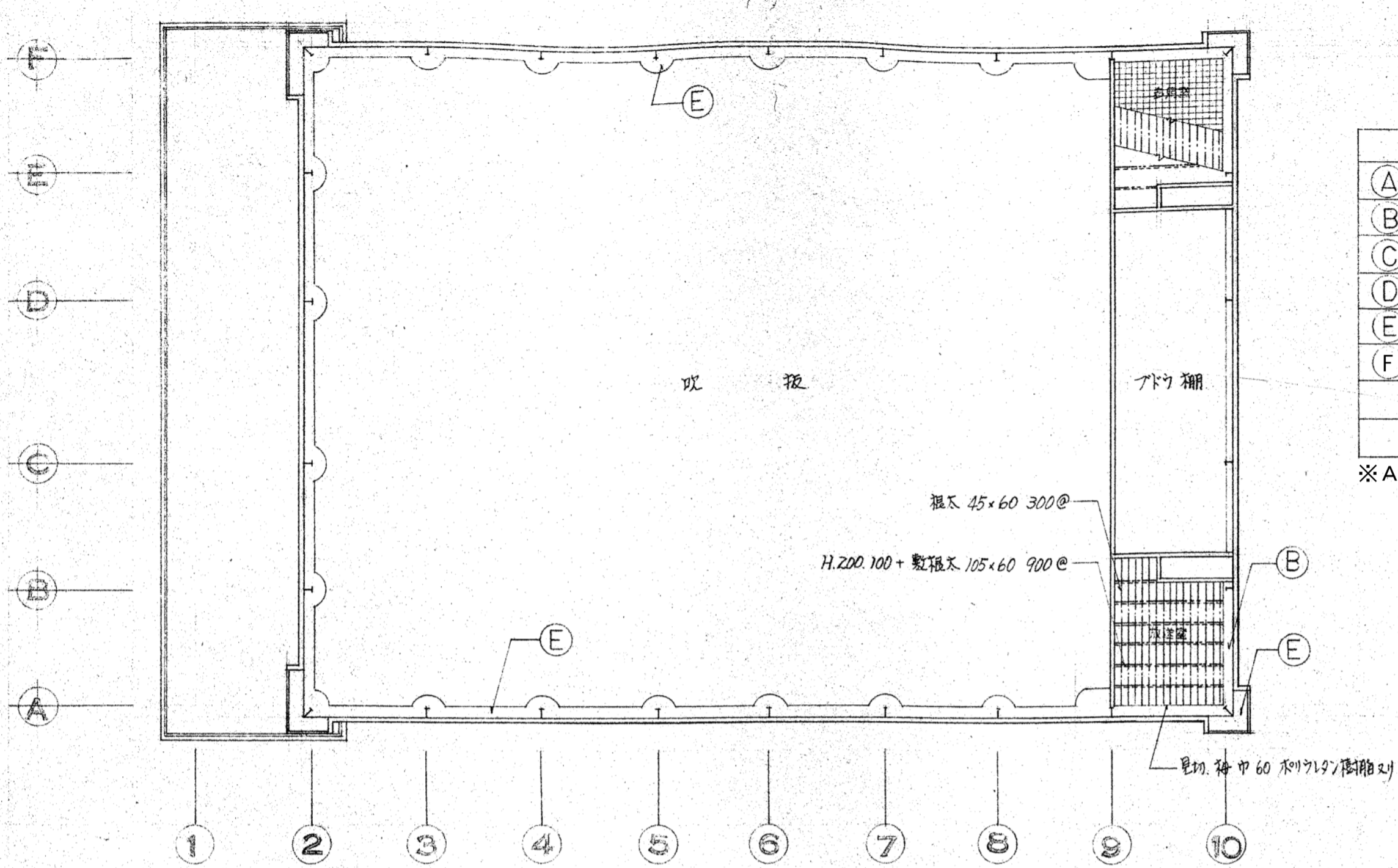


東側立面図 1:100





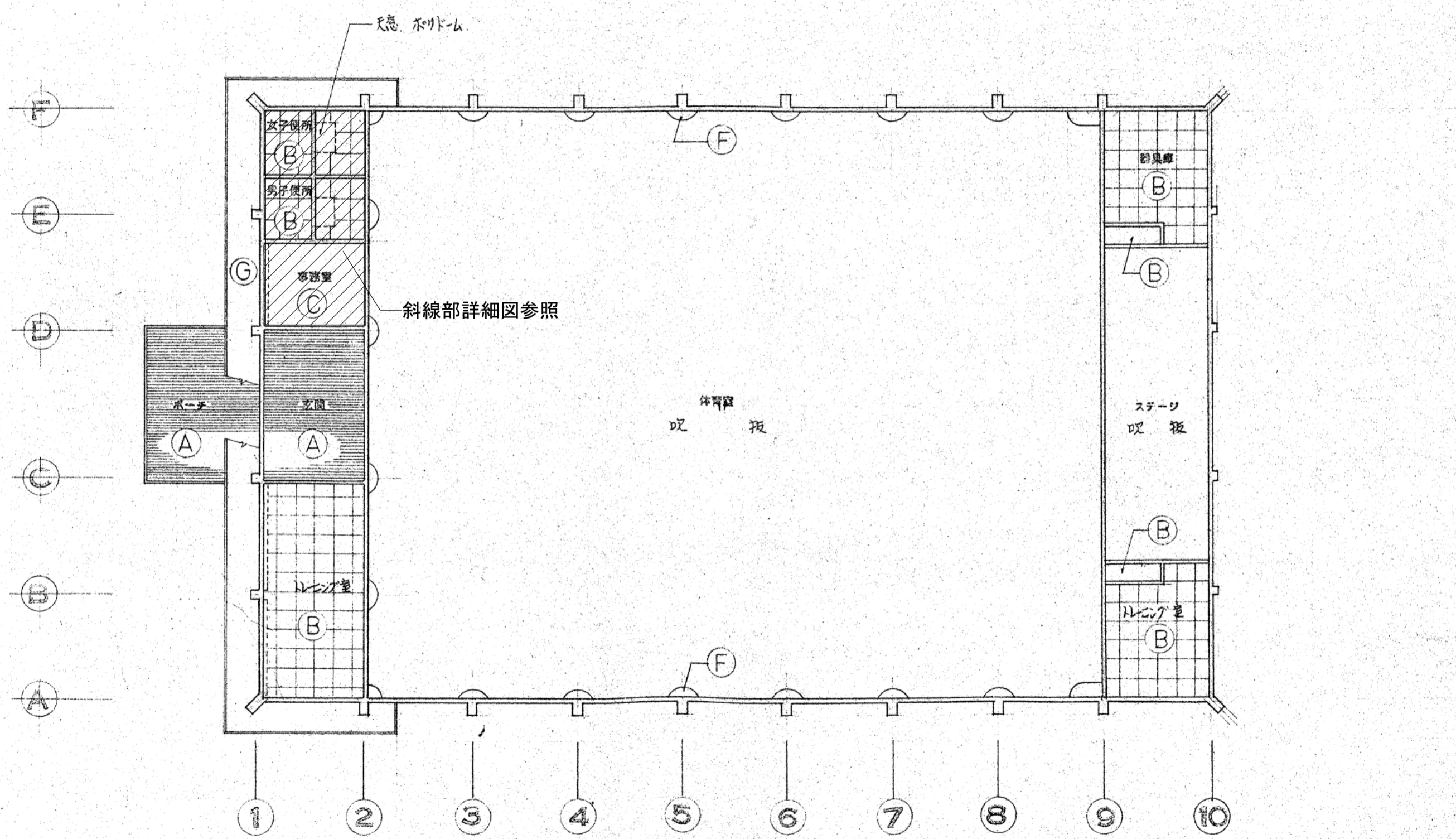
1階 床伏図 1:200



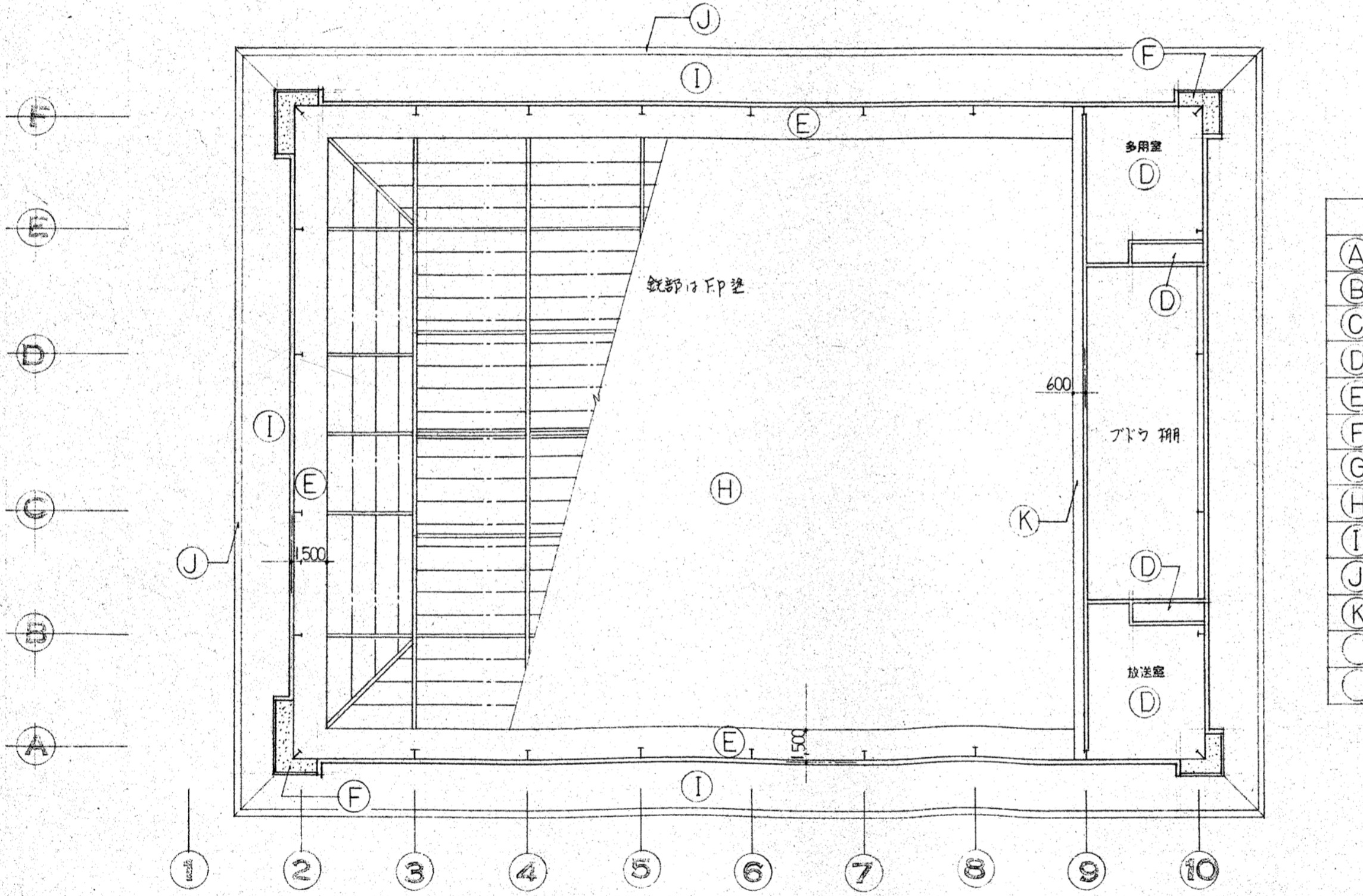
2階 床伏図 1:200

凡例	
(A)	コンクリート打 鉄筋金目打押下地 網筋塗
(B)	コンクリート打 鉄筋金目打押下地 網筋塗
(C)	コンクリート打 鋼石タイル貼
(D)	モルタル金目打押下地
(E)	モルタル金目打押下地
(F)	

※A・Bの上、鋼製床組 + フローリング張



1階 天井伏図 1:200



2階 天井伏図 1:200

凡例	
(A)	軽鉄下地 2x6モルタル
(B)	PB0.125目 EPローラ
(C)	2x3ゲージトーン
(D)	吸音材 (吸音率0.1) ランダム
(E)	石膏ボード 乾式張り 5mm AEP
(F)	モルタル金目打押下地 AEP
(G)	ベニヤ板打コンクリート打鉄筋金目打押下地
(H)	ドリアル板 5mm EPローラ
(I)	軽鉄下地 2x6モルタル板 6mm AEP
(J)	耐水合板 12mm 下地 網筋塗
(K)	耐水合板 4mm 下地 ベニヤ板
(L)	
(M)	

* 点検口は、丸形種 450x450 以上、形状は、計 13ヶ所を、取付位置は、棟書に添付する。

[H6改修]シングル葺の上、
7スファルト-フィンク+フ素鋼板 t0.6瓦棒葺

※赤枠部分
アスベスト含有みなし
(H7-7スファルト調査にて未調査)

屋根 シングル葺
防水 7スファルト
下地 7スファルト+50SS
ドレン板 50 SS BA-200
EY 20 100 50 52 FP 上

※4
石綿セメント軟質板 5 AEP

※4
石綿セメント軟質板 5 AEP

鋼製床組+フローリング張 H130

※4
石綿セメント軟質板 5 AEP

※4
石綿セメント軟質板 5 AEP

※4
石綿セメント軟質板 5 AEP

※4
石綿セメント軟質板 5 AEP

※4
石綿セメント軟質板 5 AEP

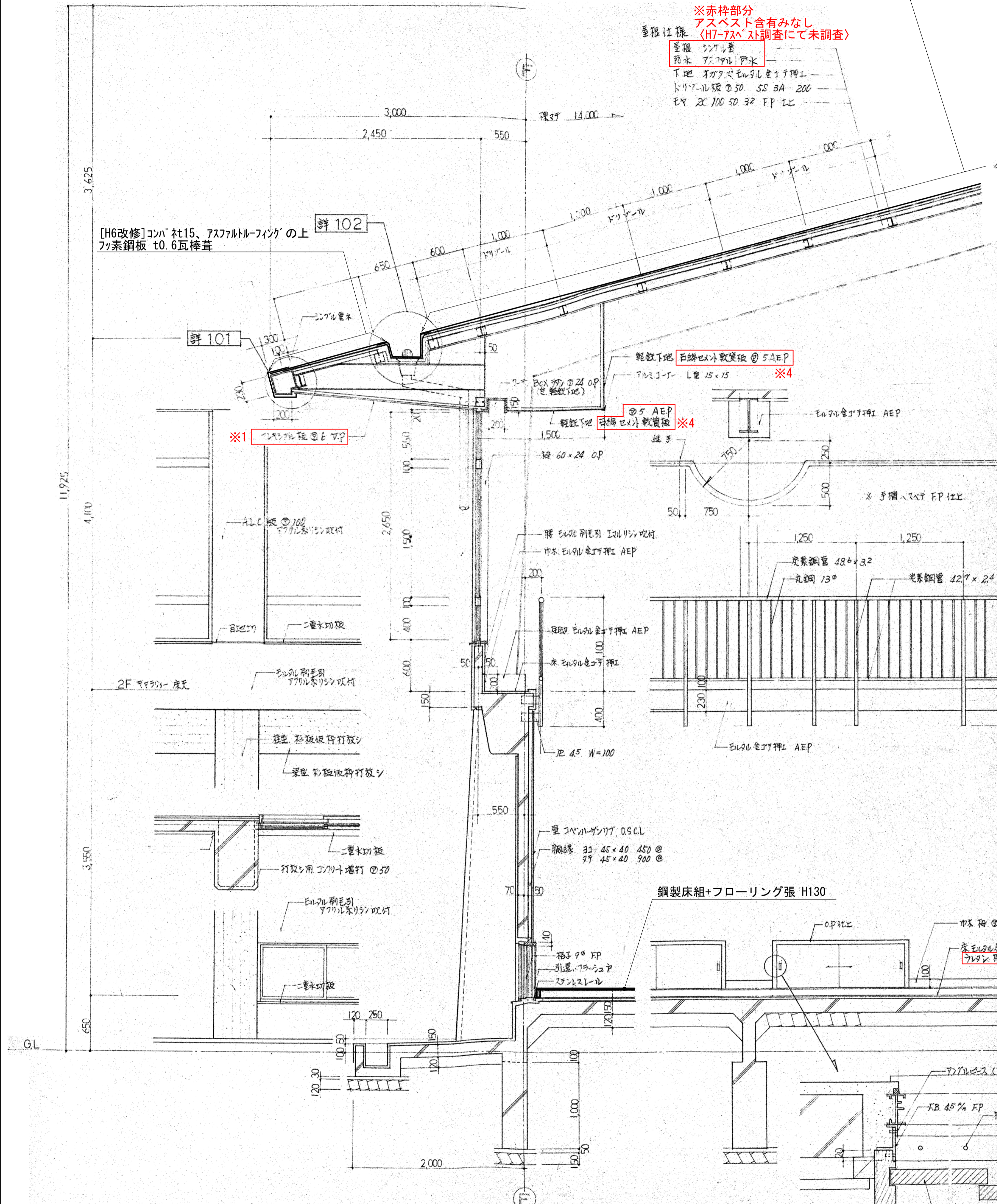
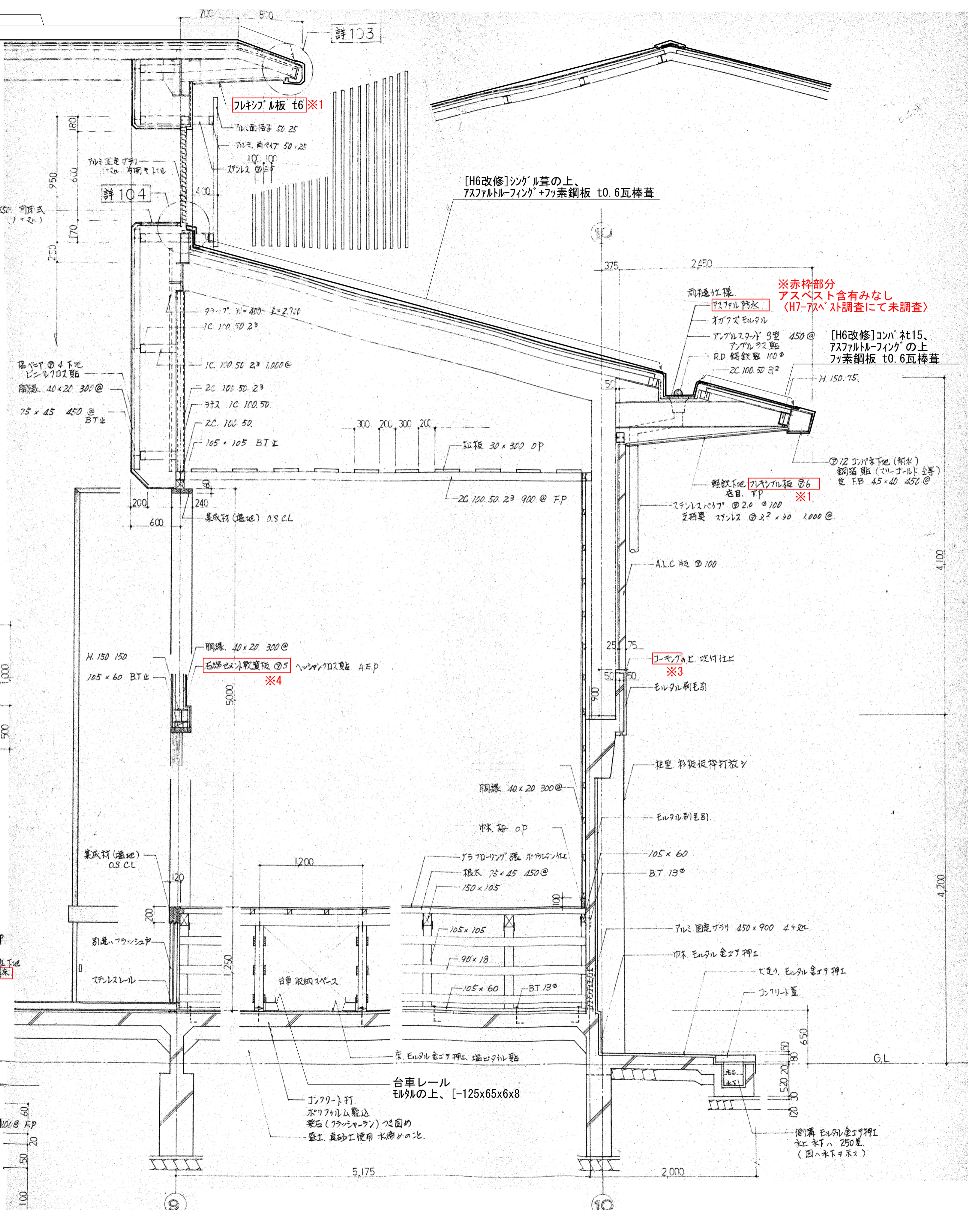
※4
石綿セメント軟質板 5 AEP

※4
石綿セメント軟質板 5 AEP

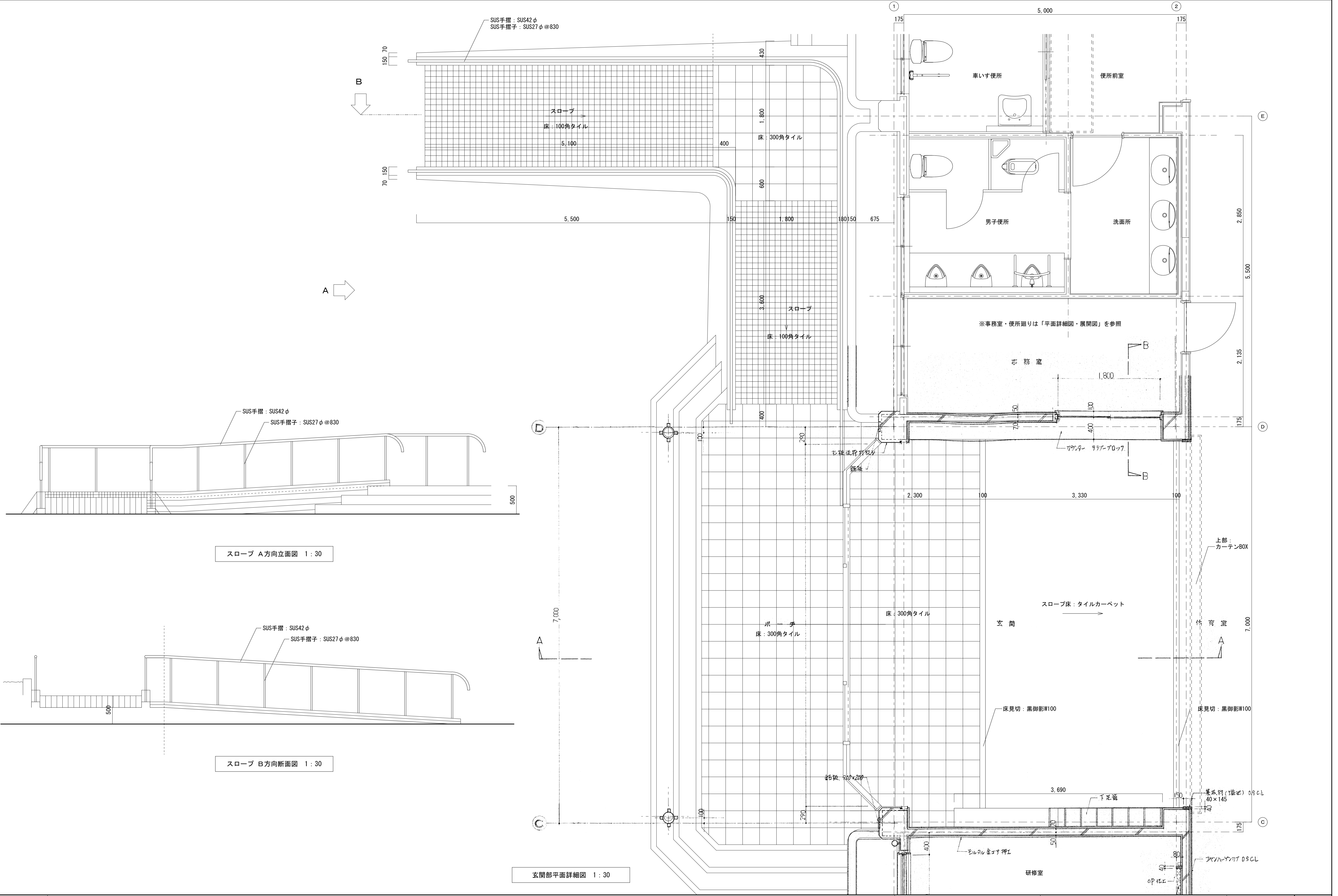
※4
石綿セメント軟質板 5 AEP

※4
石綿セメント軟質板 5 AEP

※4
石綿セメント軟質板 5 AEP



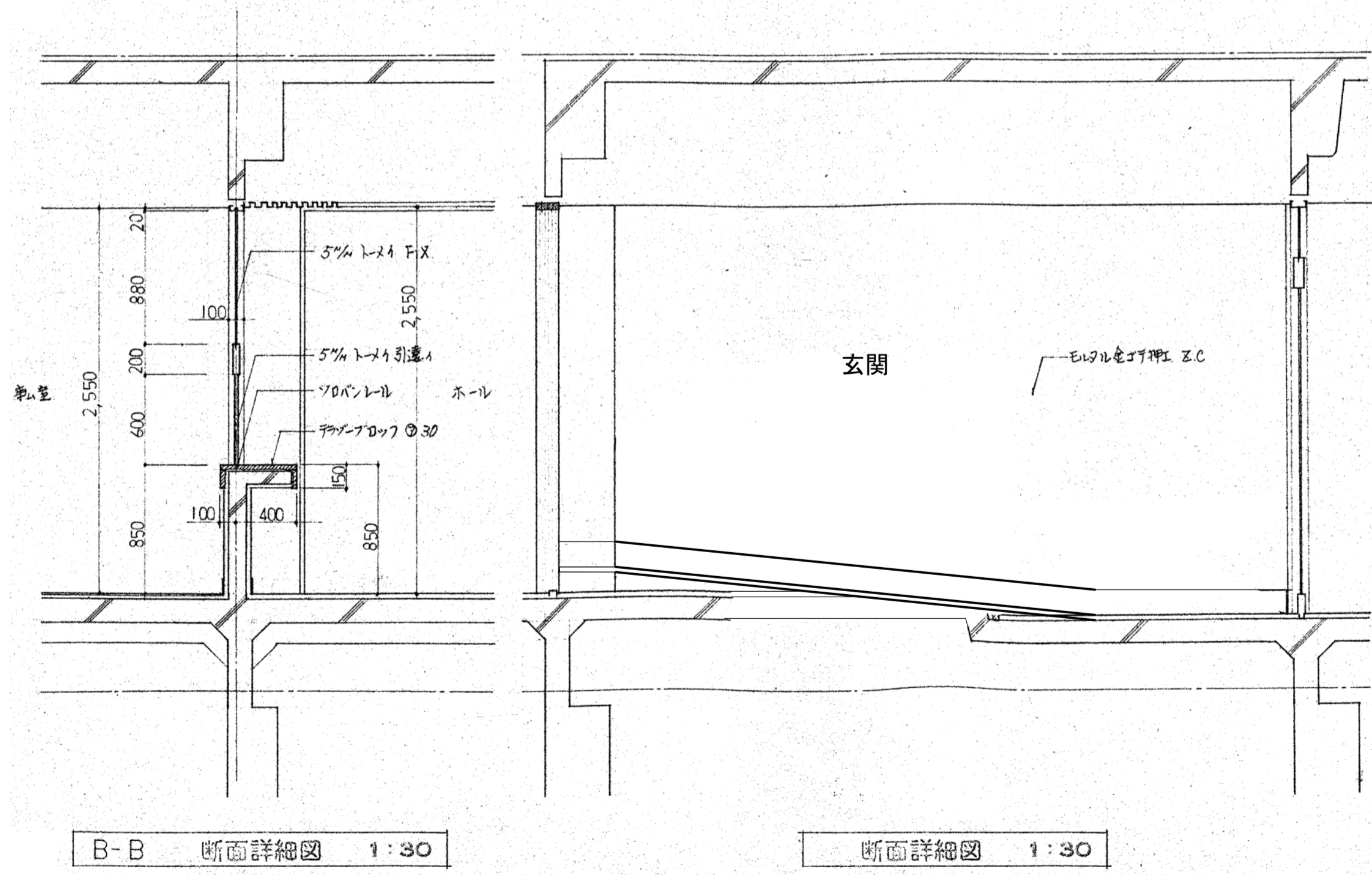
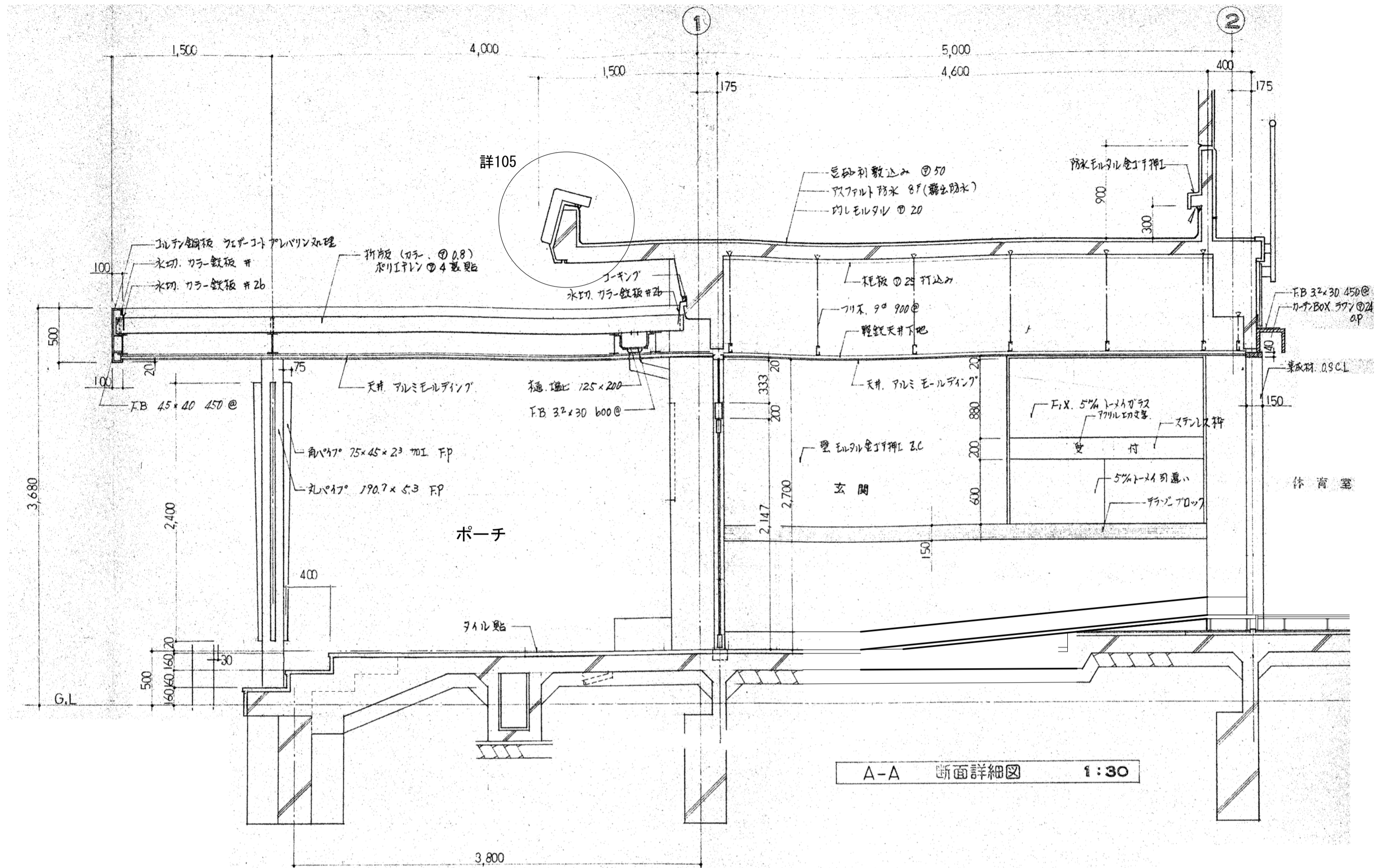
7スファルト含有成形板撤去 (作業レベル3)	※1 軒裏 フレキシブル板 76: アスベスト含有	※5 巾木 ソフト巾木: アスベスト含有 (接着剤)	株式会社 倉森建築設計事務所 一級建築士事務所登録 岡山 1081号 一級建築士 169969号 赤木 定	生窓体育館解体工事 矩計図 SCALE A1 1:30 A3 1:60	14 A 14
7スファルト含有接着剤はスクレーパーでの除去 (作業レベル3)	※2 屋上 アスファルト露出防水: アスベスト含有	※6 壁・天井 石綿セメント軟質板: アスベスト含有 (みなし)			
	※3 窓ガラス枠 コーキング: アスベスト含有				
	※4 壁 石綿セメント軟質板、フレキシブルボード、ケイカル板: アスベスト含有 (みなし)				

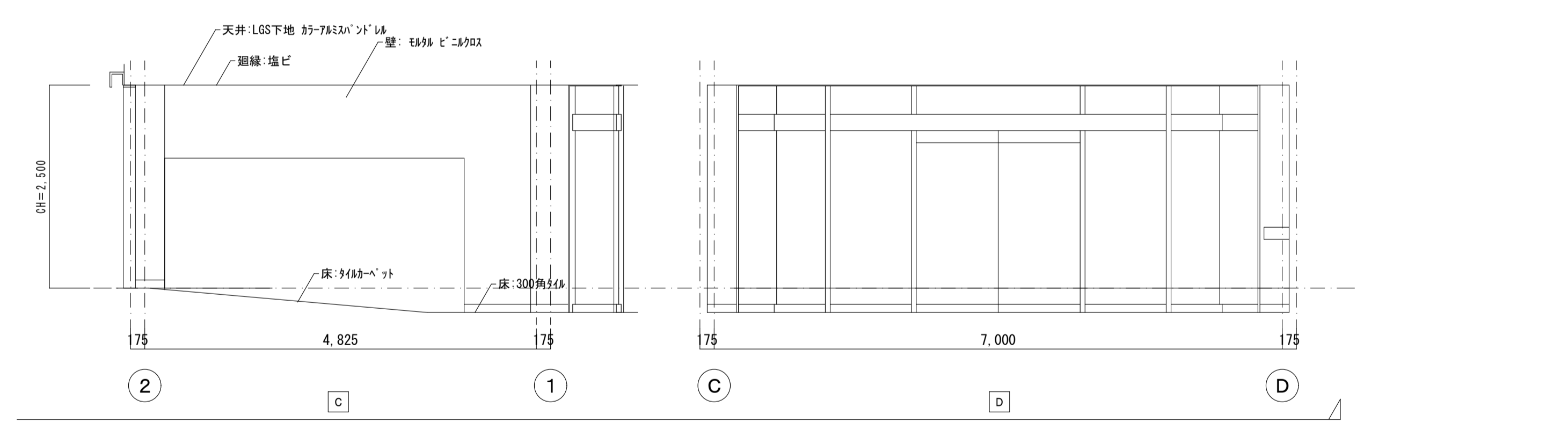
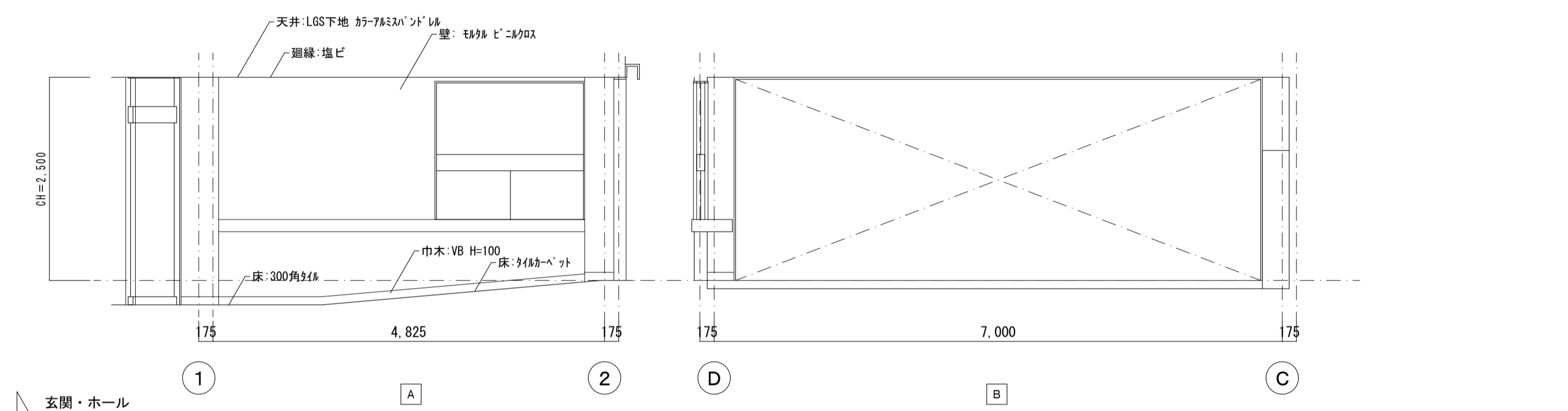
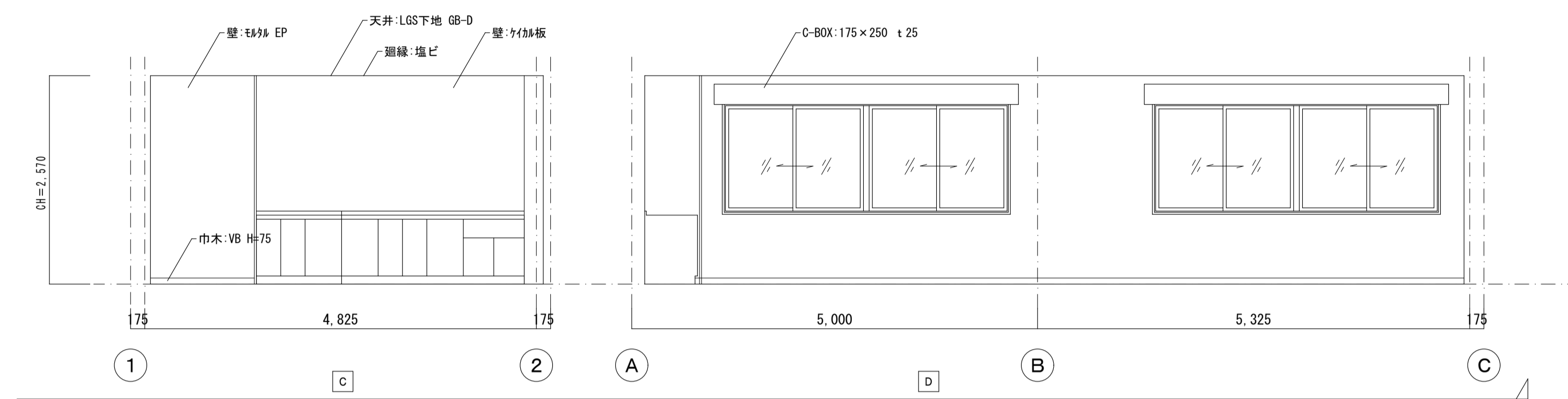
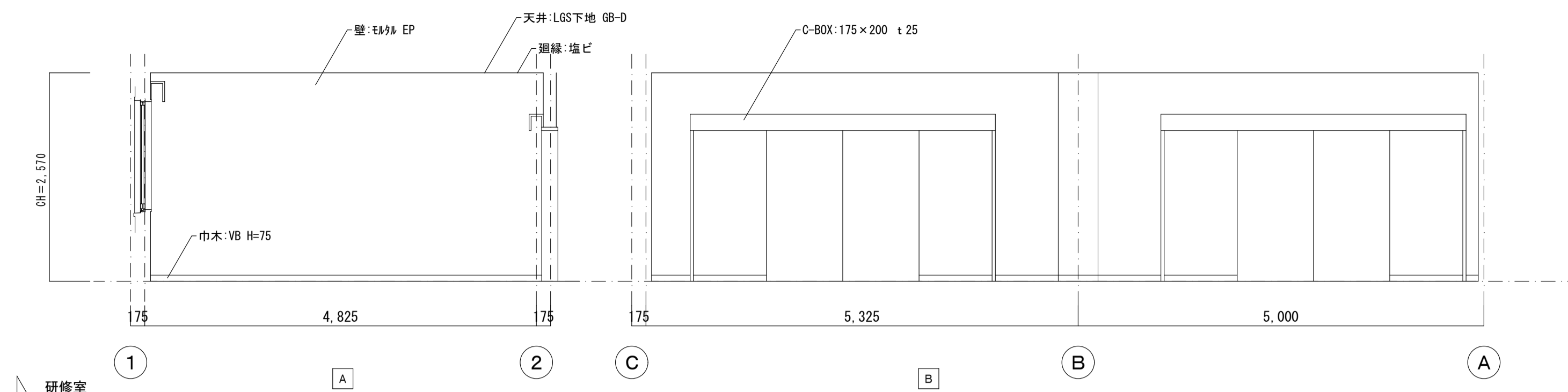
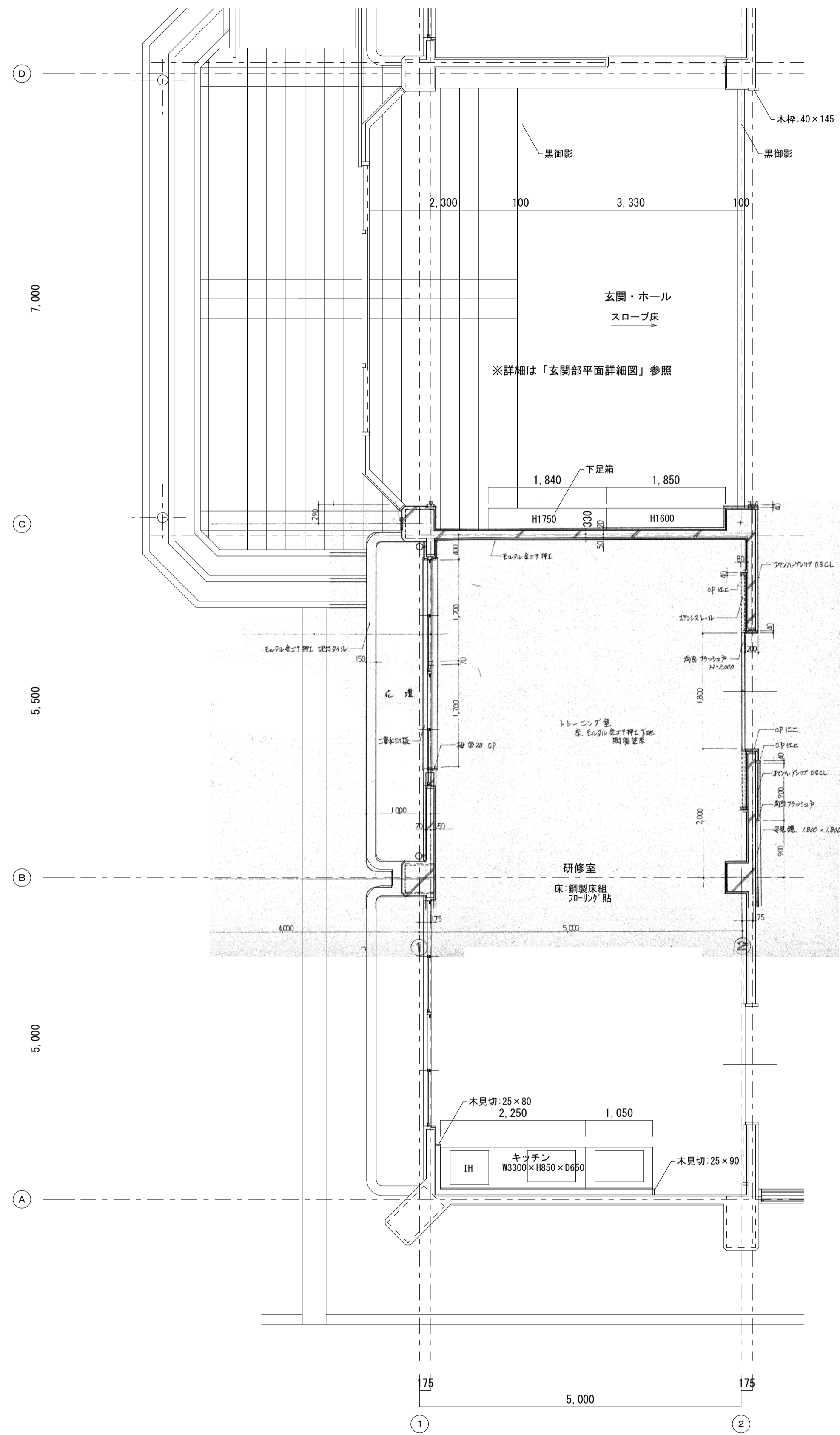


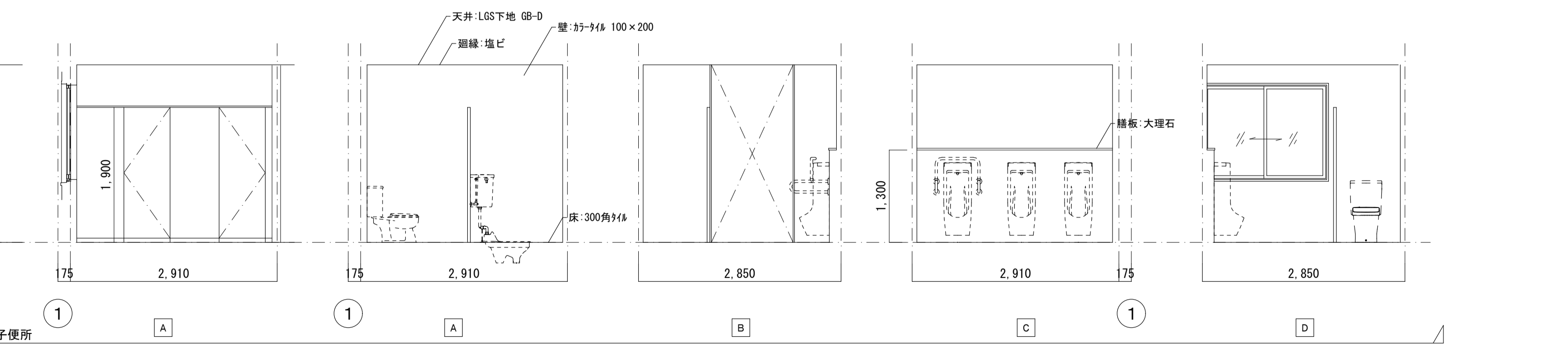
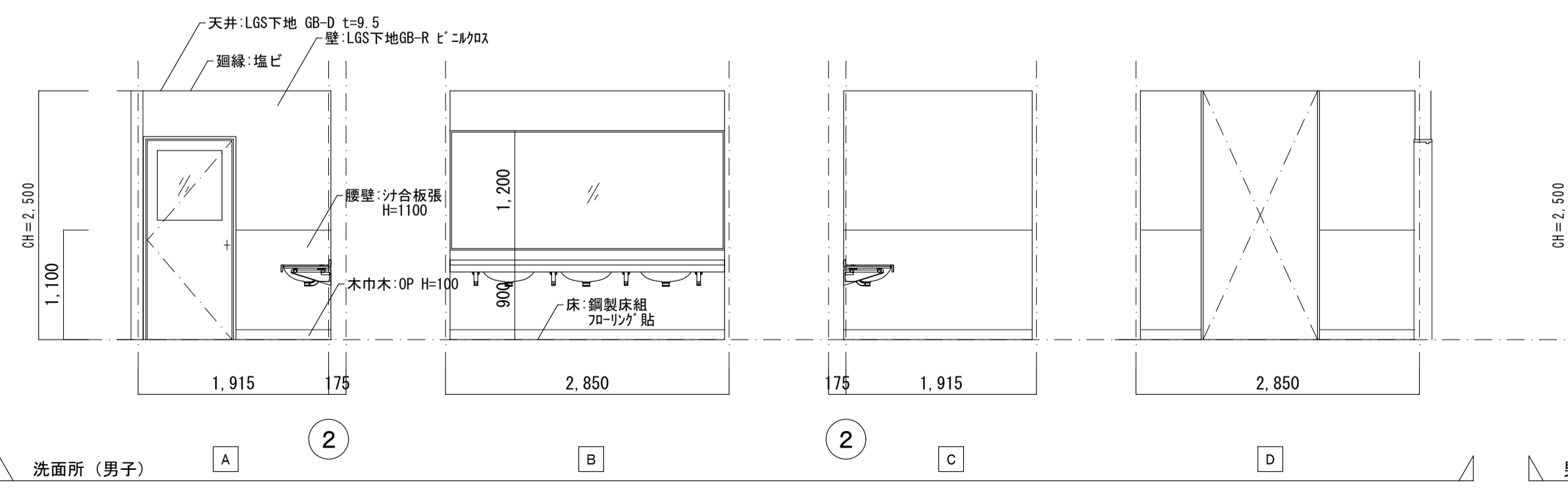
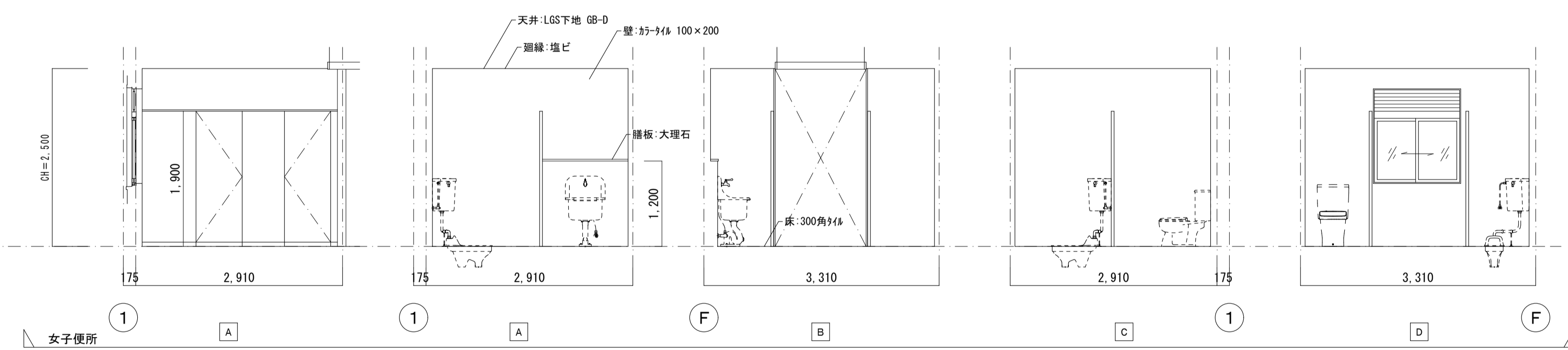
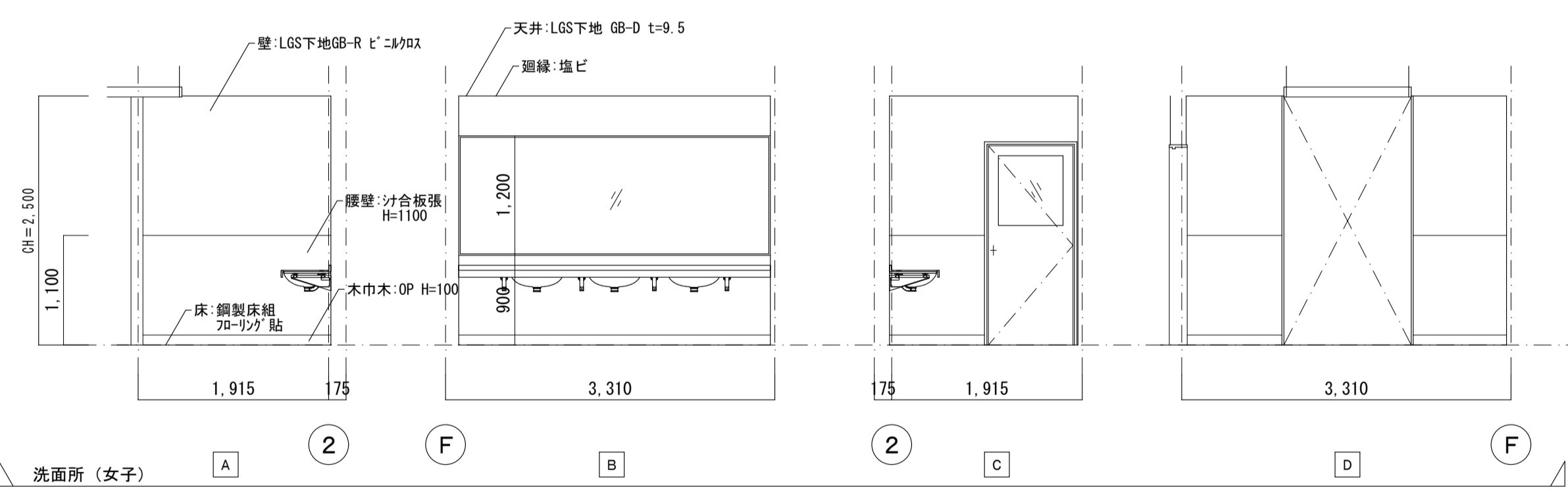
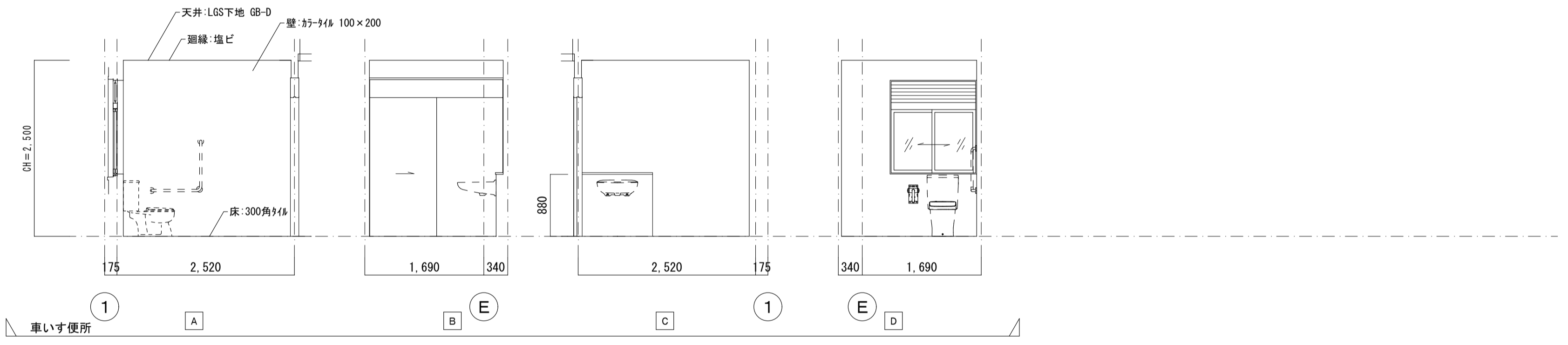
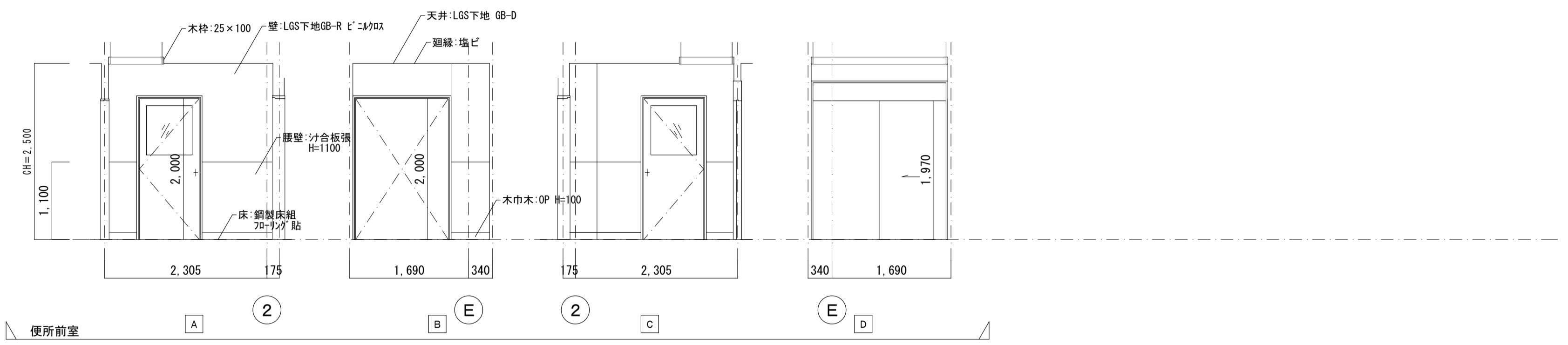
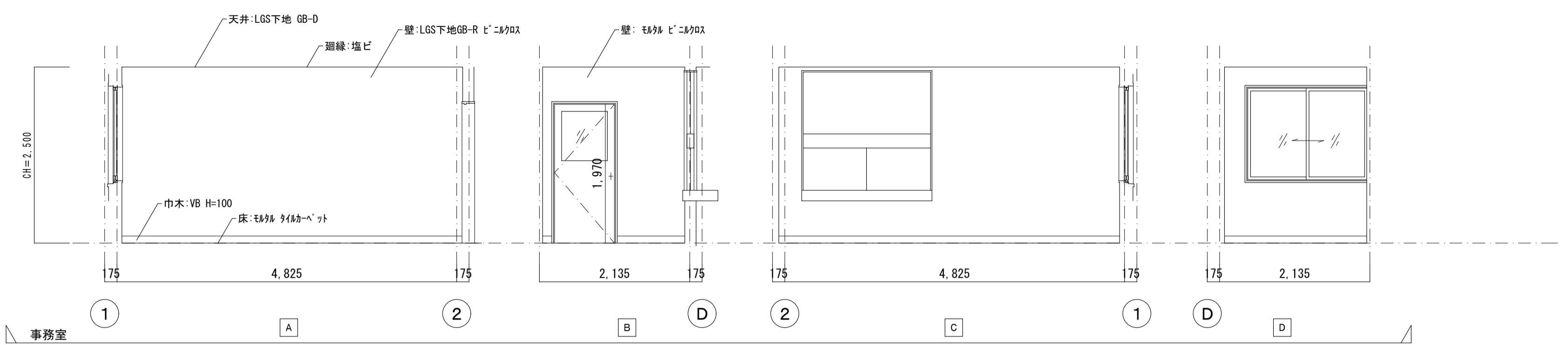
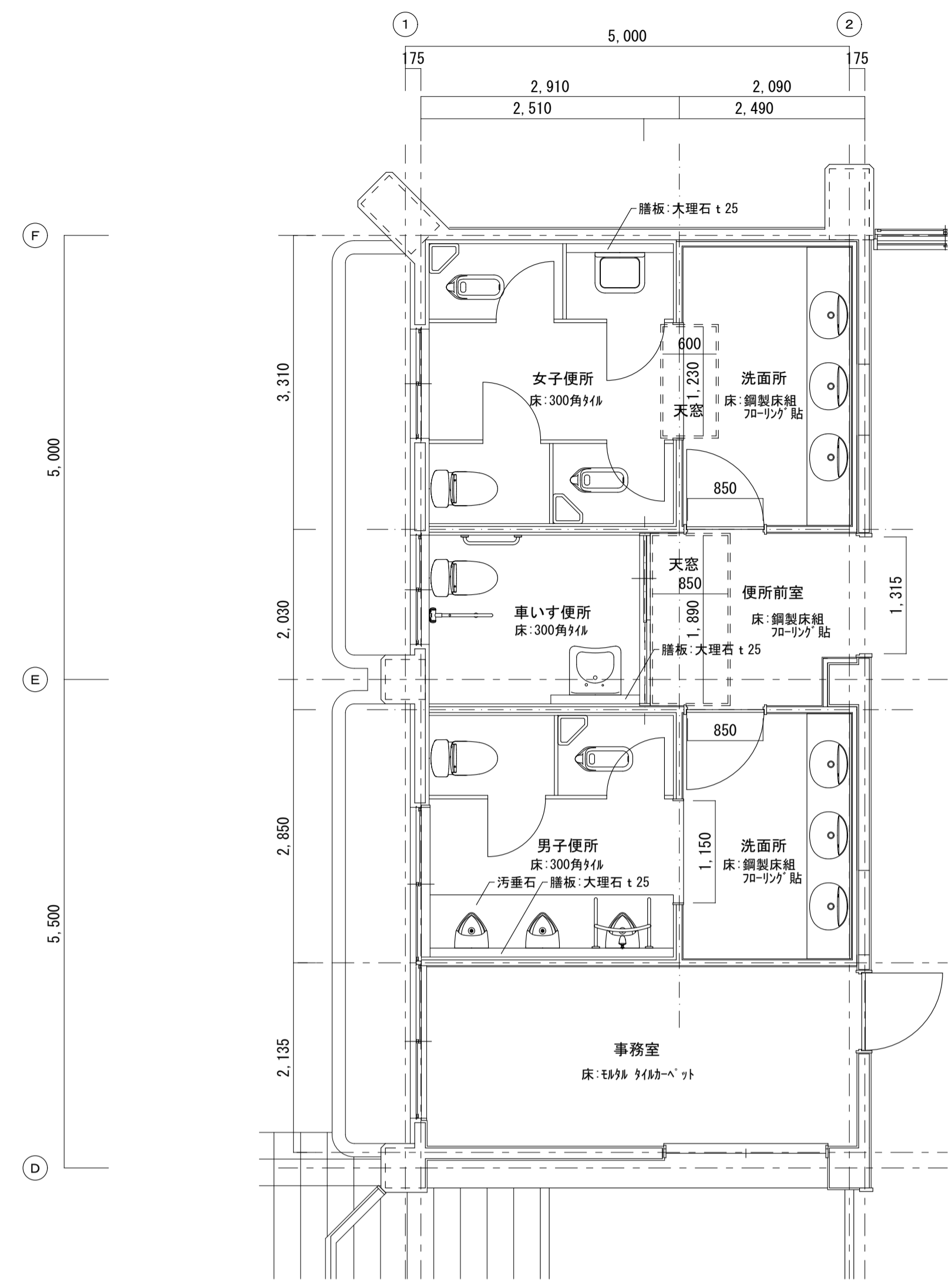
スロープ A方向立面図 1:30

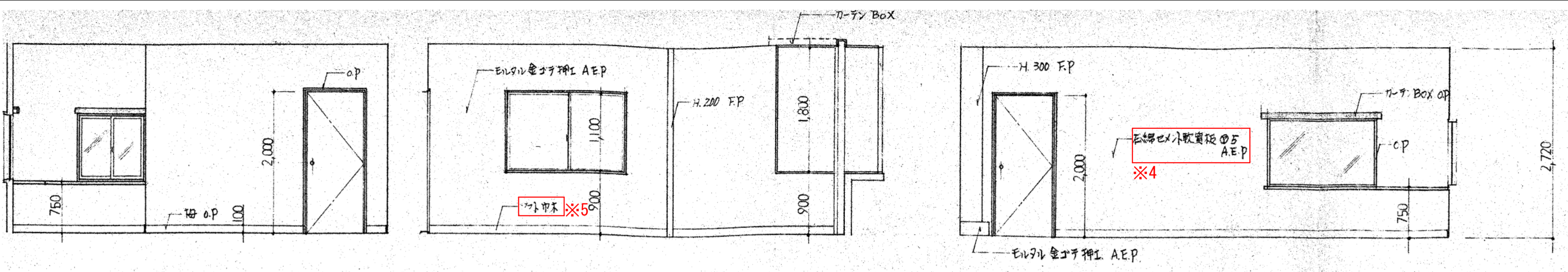
スロープ B方向断面図 1:30

玄関部平面詳細図 1:30

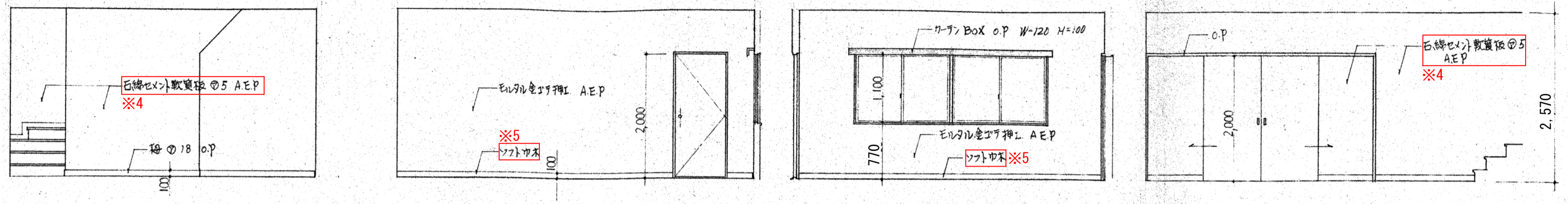




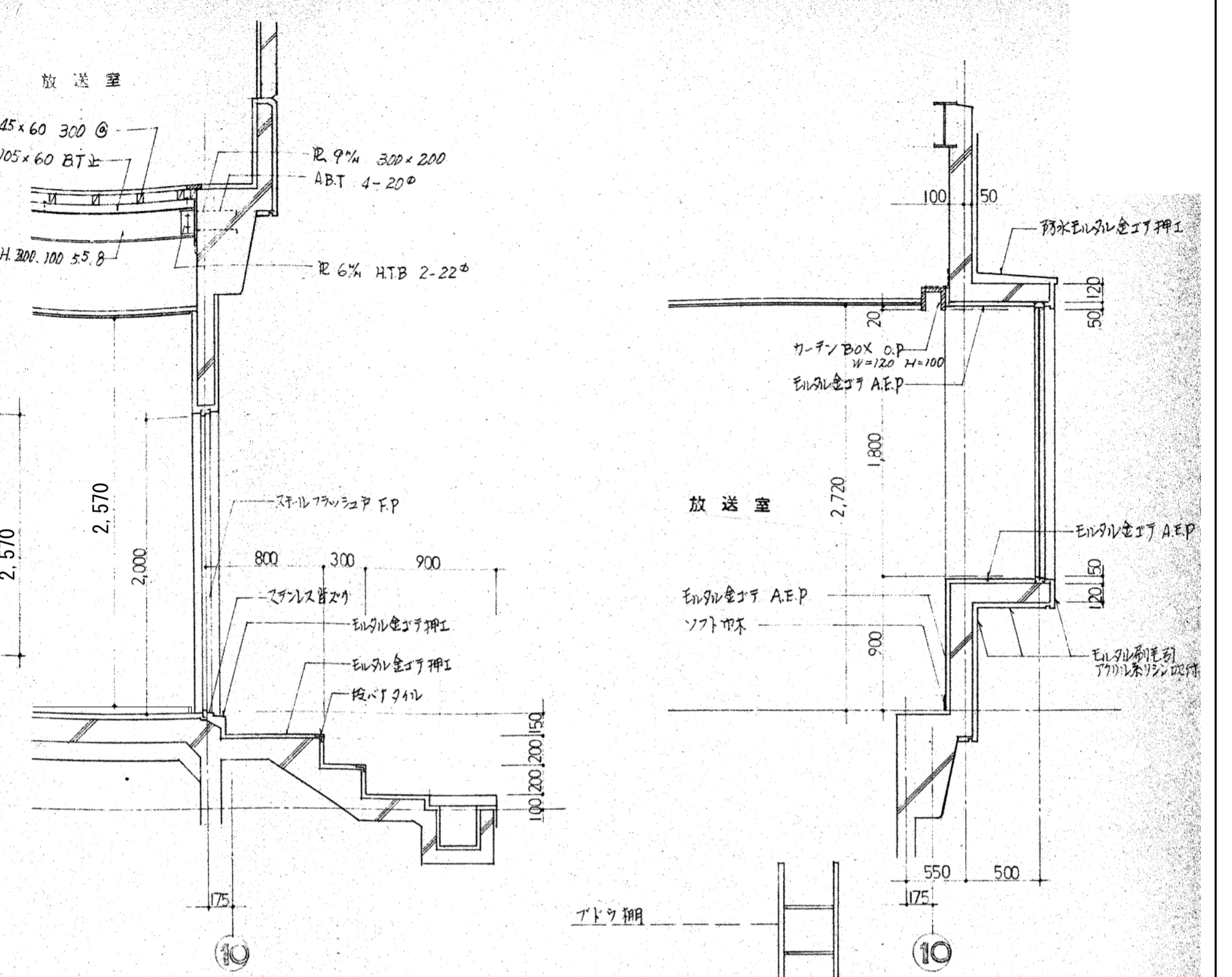




放送室 展開図

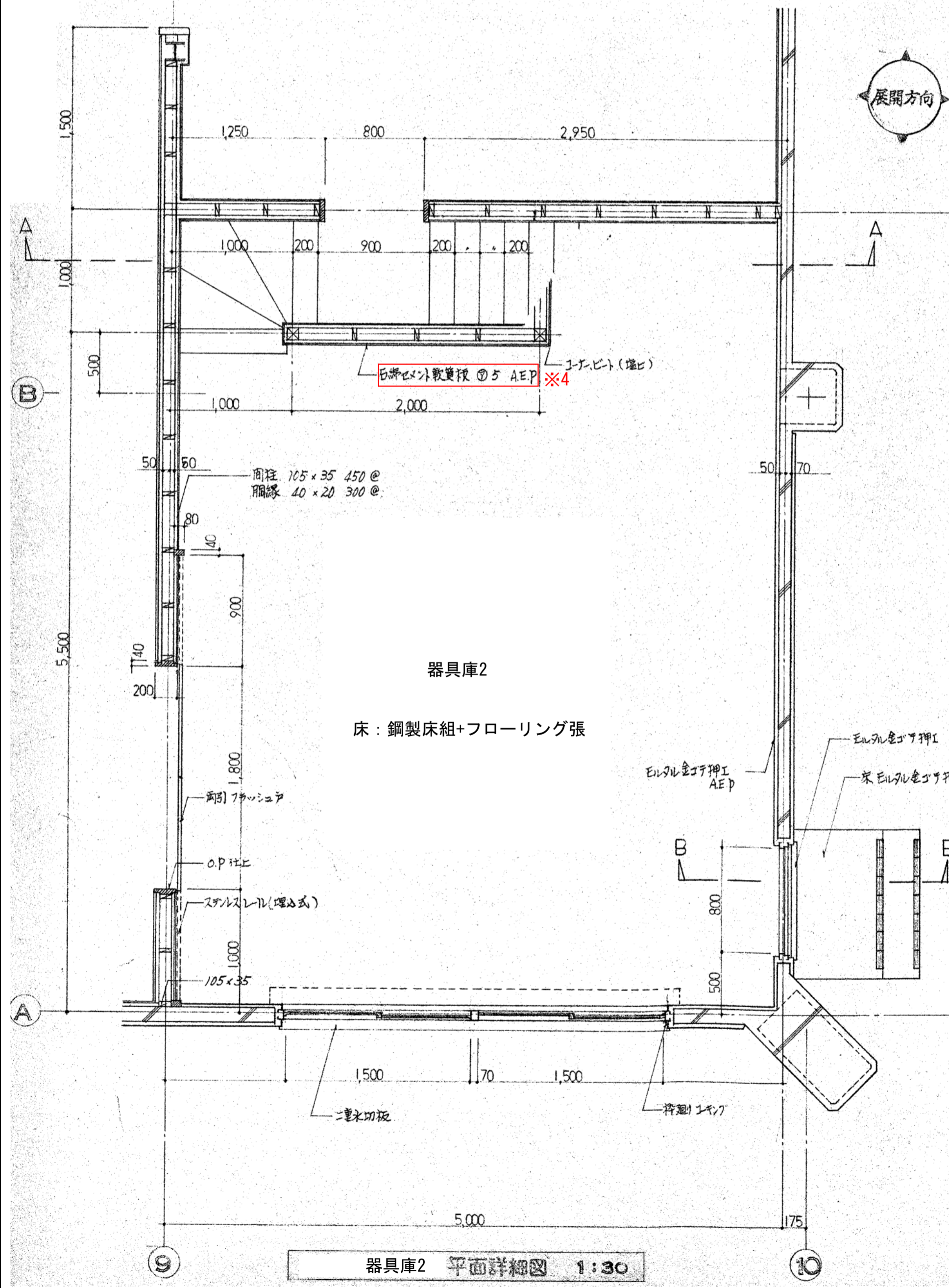


器具庫2 展開図

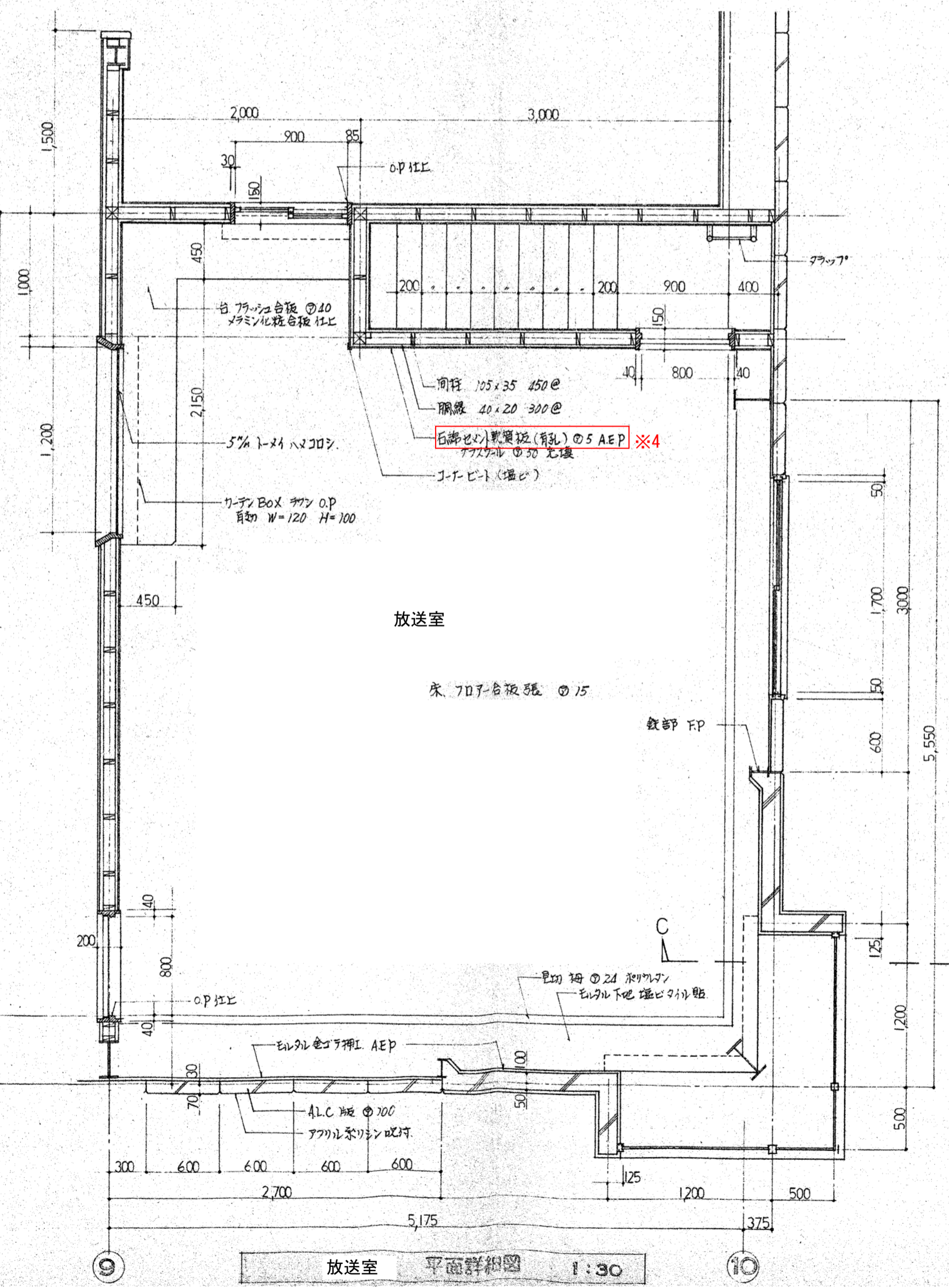


B-B 断面詳細図 1:30

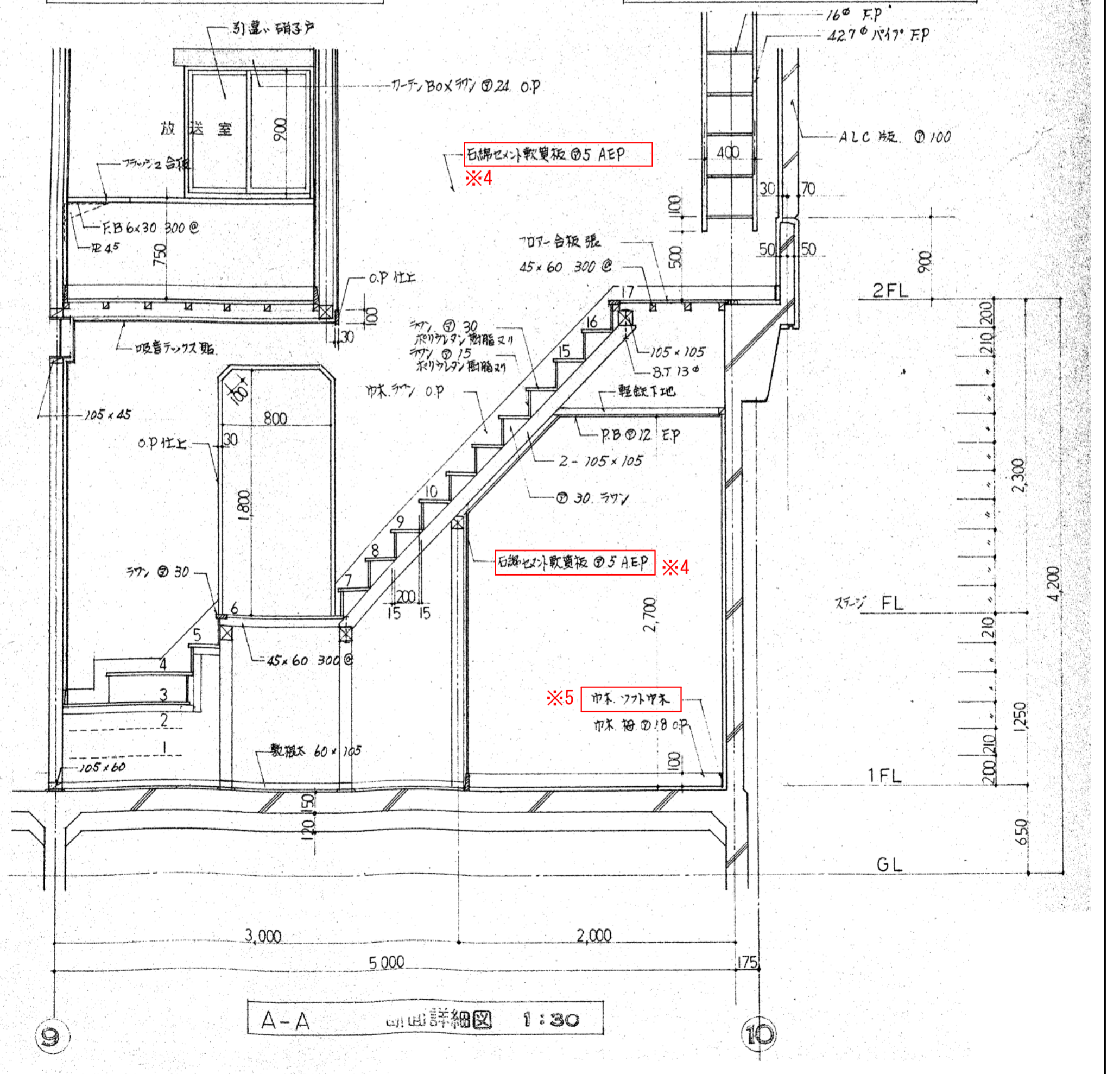
C-C 断面詳細図 1:30



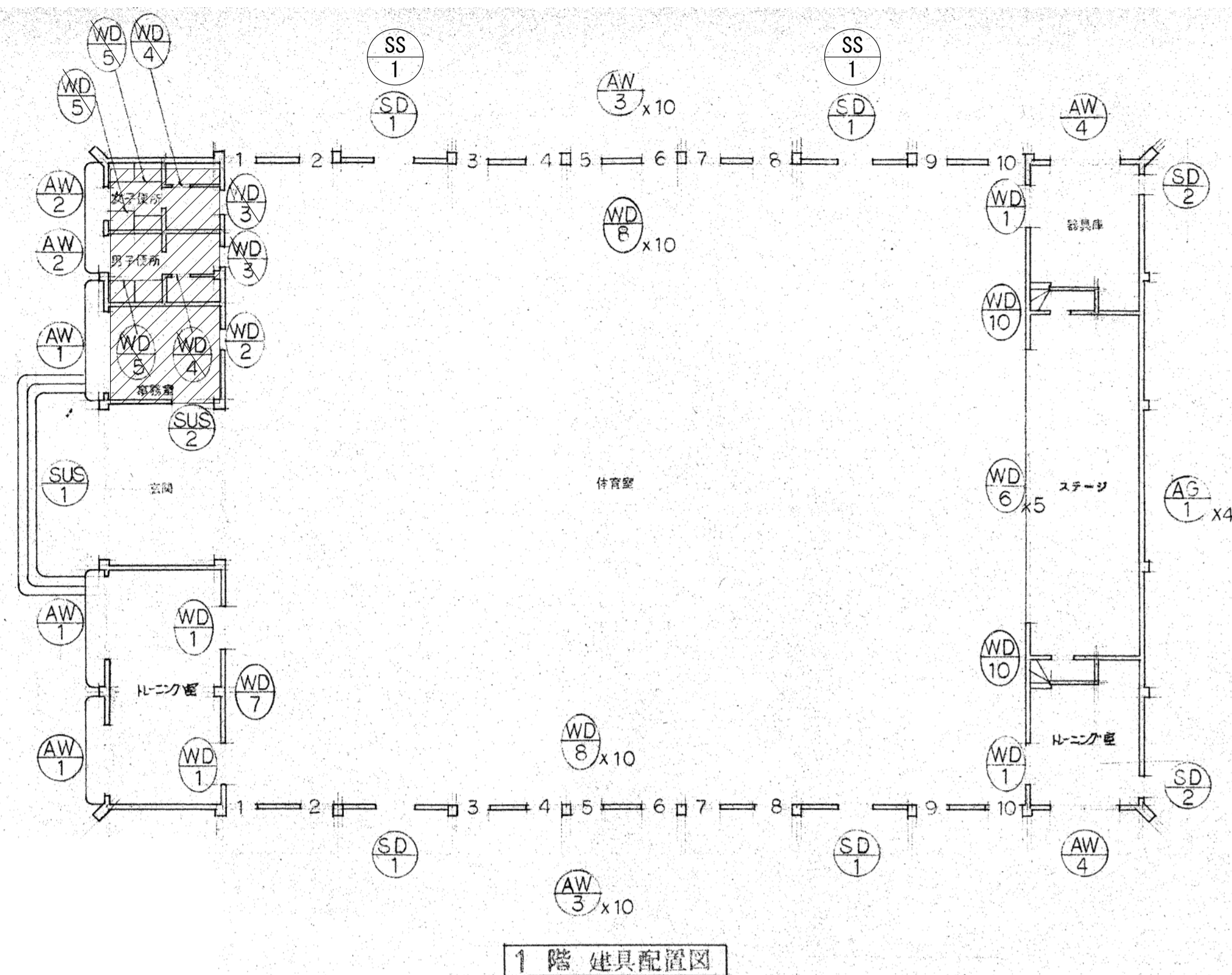
器具庫2 平面詳細図 1:30



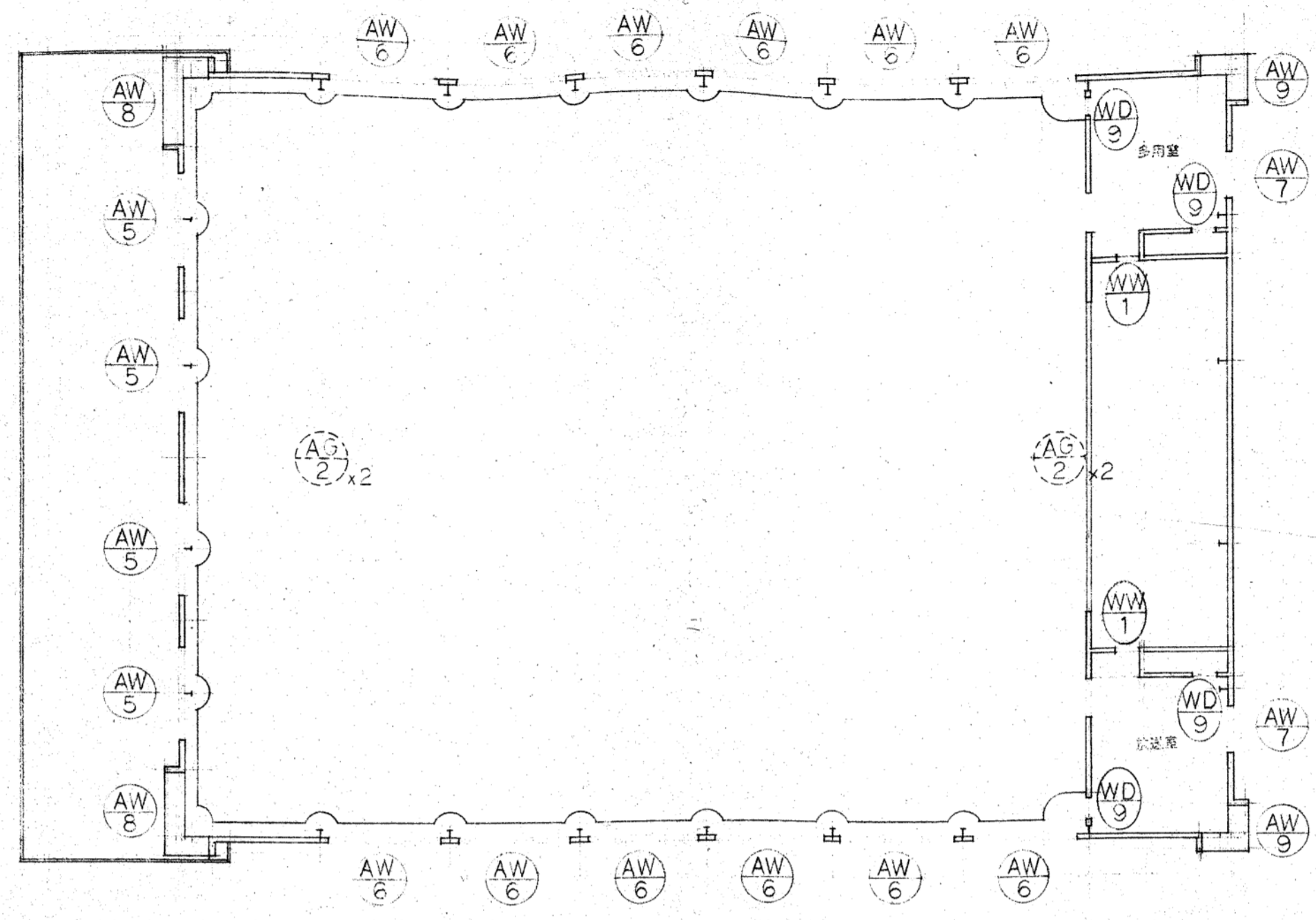
放送室 平面詳細図 1:30



A-A 断面詳細図 1:30



1階 建具配置図



2階 建具配置図

- 特記
 1. 器具寸法 (WH) は枠内寸法とする。
 2. SDは押記無き厚り組板厚 (6% 取付)
 3. 器具(組板)全物は押記無き厚りステン製とする。
4. F-H フォアヒンチ
 P-H ロボトヒンチ
 S-T ステンレス 厚さ=120
 D-C ドアキャット(スリット) D-C(SH) ドアキャット付
 M-L モリック(窓紙)
 C-M シルバー錠付モリック
 C-P シルバー錠錠
 S-K ステン製スリ

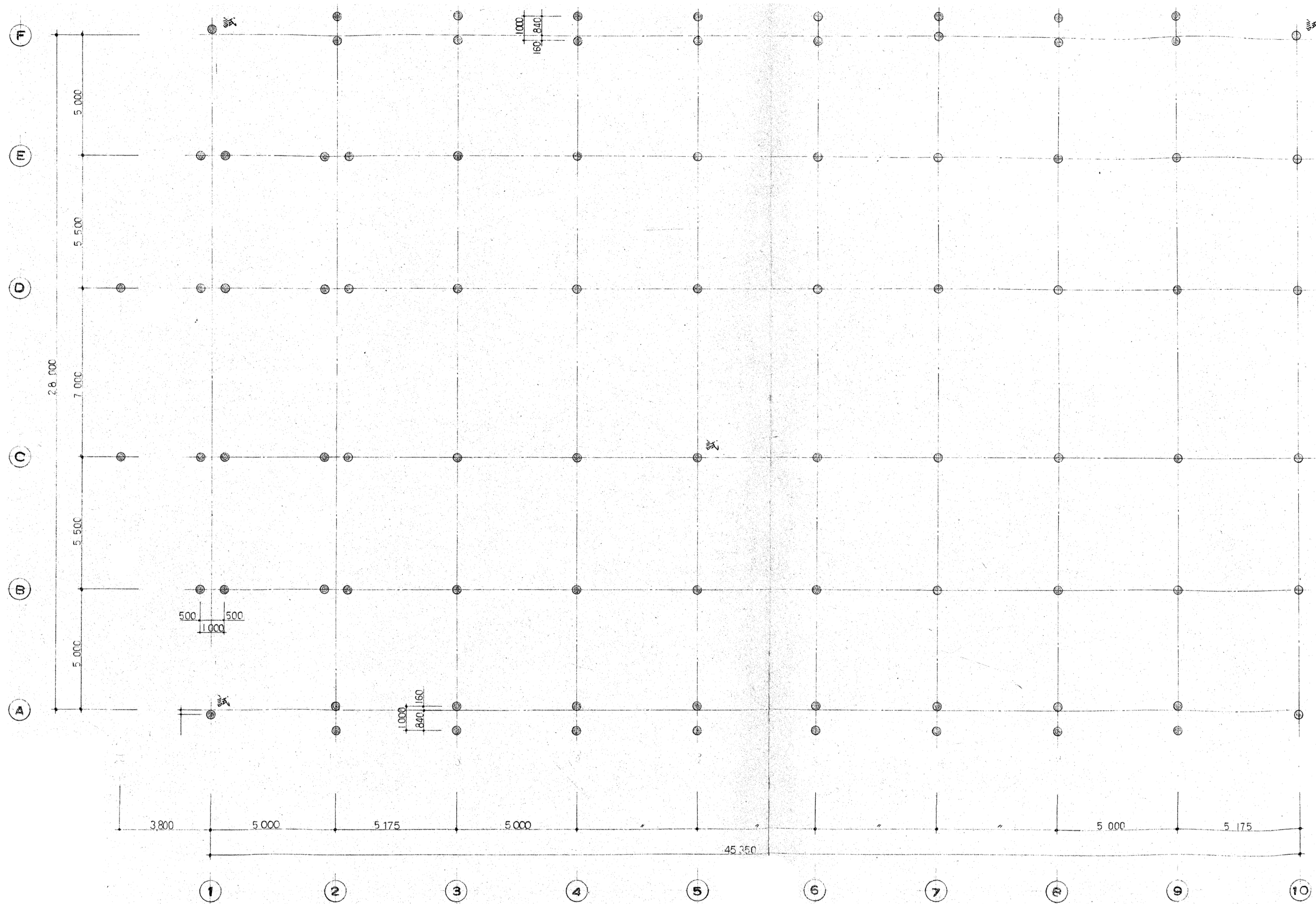
建具リスト 1:50

符号	個数	名称	寸法	仕様	備注
SUS-1	1	1	2680 x 6420	ステンレス 鏡面仕上げ 強化ガラス 12%	待合室
SUS-2	1	1	1680 x 1800	ステンレス 鏡面仕上げ	器具庫
AW-1	3	3	1300 x 3470	引違い窓 2連	待合室
AW-2	2	2	1200 x 1200	引違い窓	器具庫
AW-3	20	20	600 x 1500	引違い窓	待合室
AW-4	2	2	1100 x 3070	引違い窓 2連	待合室
AW-5	4	4	1500 x 3500	引違い窓 2連 (左右力が入る)	待合室
AW-6	12	12	2650 x 4300	引違い窓 (左右力が入る)	待合室
AW-7	2	2	1100 x 1700	引違い窓	器具庫
AW-8	2	2	2575 x 1575	引違い窓 (左右力が入る)	待合室
AW-9	2	2	1575 x 1575	引違い窓	待合室

番号	個数	AG-1	4	AG-2	4	SD-1	4	SD-2	2	SD-3	1
図											
型式	寸法	樹脂(カウ)	60	樹脂(2層付)	60	樹脂引戸	下付 50	樹脂引戸	86	樹脂引戸	86
仕上	色	FL		FL		FP		FP		FP	
金	種	附属物一式 二重サッシ		附属物一式 二重サッシ W-127		付L.L.H.付H-3. CP. 引手. ハンダ車 P.トリコ. 7カット		PH. D.C. (SH). C.H. S.K		PH. DC (SH). C.H. S.K 付2層サ	

番号	個数	WD-1	4	WD-2	1	WD-3	2	WD-4	2	WD-5	5	WD-6	5	WD-7	1	WD-8	20	WD-9	4
図																			
型式	寸法	樹脂引戸	36	樹脂引戸	36	樹脂引戸	36	樹脂引戸	36	樹脂引戸	36	樹脂引戸	40	樹脂引戸	40	樹脂引戸	36	樹脂引戸	36
仕上	色	樹脂引戸 樹脂引戸 OP		樹脂引戸 樹脂引戸 OP		樹脂引戸 樹脂引戸 OP		樹脂引戸 樹脂引戸 OP		樹脂引戸 樹脂引戸 OP		樹脂引戸 樹脂引戸 OP		樹脂引戸 樹脂引戸 OP		樹脂引戸 樹脂引戸 OP		樹脂引戸 樹脂引戸 OP	
金	種	付L.L.H.付H. 引手 CP.		DC (SH). C.H. S.T. S.K		S.T. DC. M.L.		S.T. M.L. 両サッシ		付L.L.H.付H. 引手 CP. 樹脂引戸		付L.L.H.付H. 引手 CP. 樹脂引戸		付L.L.H.付H. 引手 CP. 樹脂引戸		付L.L.H.付H. 引手 CP. 樹脂引戸		付L.L.H.付H. 引手 CP. 樹脂引戸	

番号	個数	WD-10	2	WW-1	2	SS-1	2
図							
型式	寸法	樹脂引戸	40	樹脂引戸	30	樹脂引戸	30
仕上	色	コーベンカーリア貼 樹脂引戸 OP		樹脂引戸		樹脂引戸	
金	種	引手. 引手車		付L.L.H.付H. 引手 CP.		付L.L.H.付H. 引手 CP.	



杭 伏 図 S=1:100

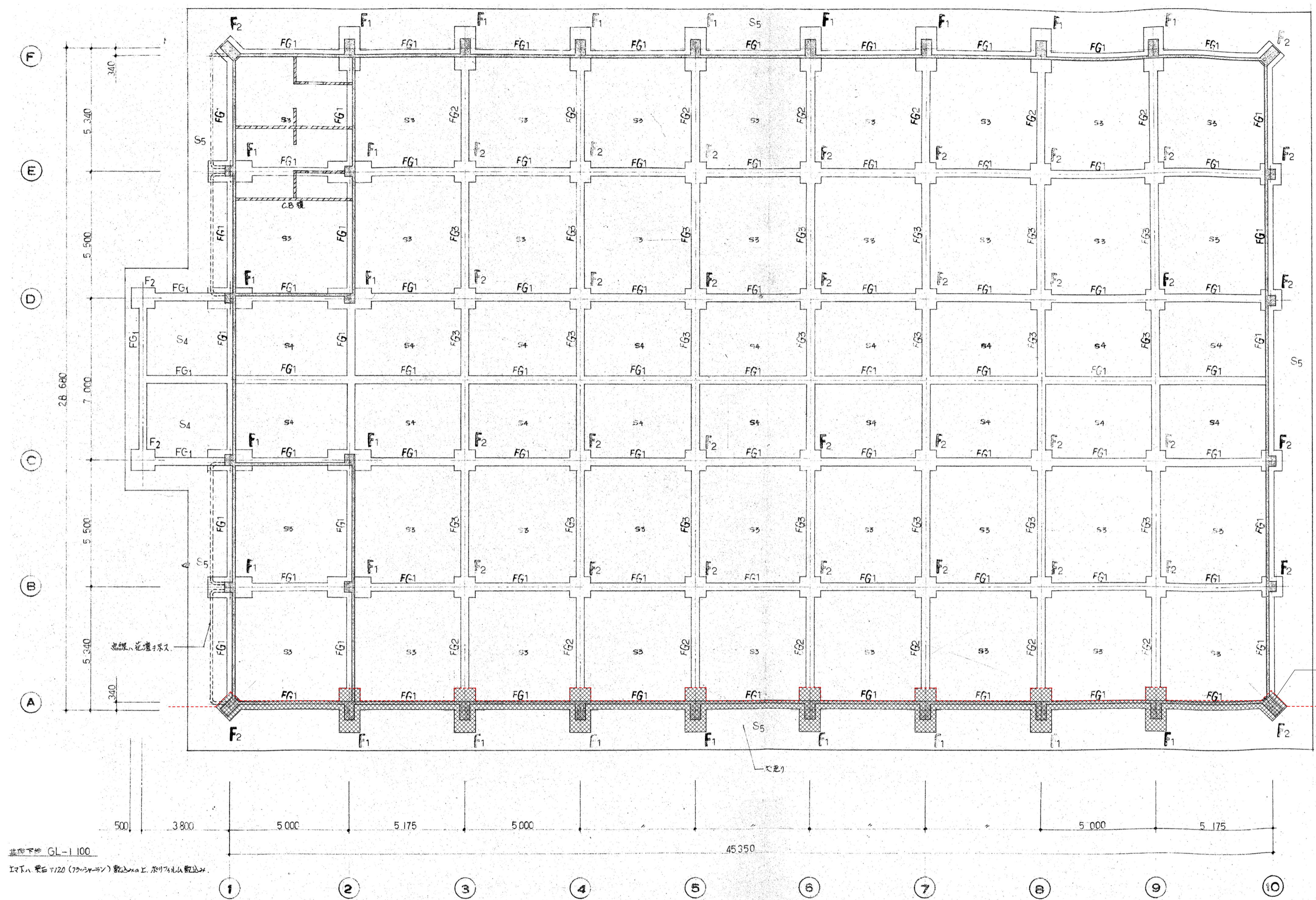
杭はPC杭 350φ 86本(内試験杭 5本) 貯水槽 4本 新 90年

基礎杭支保力50kN

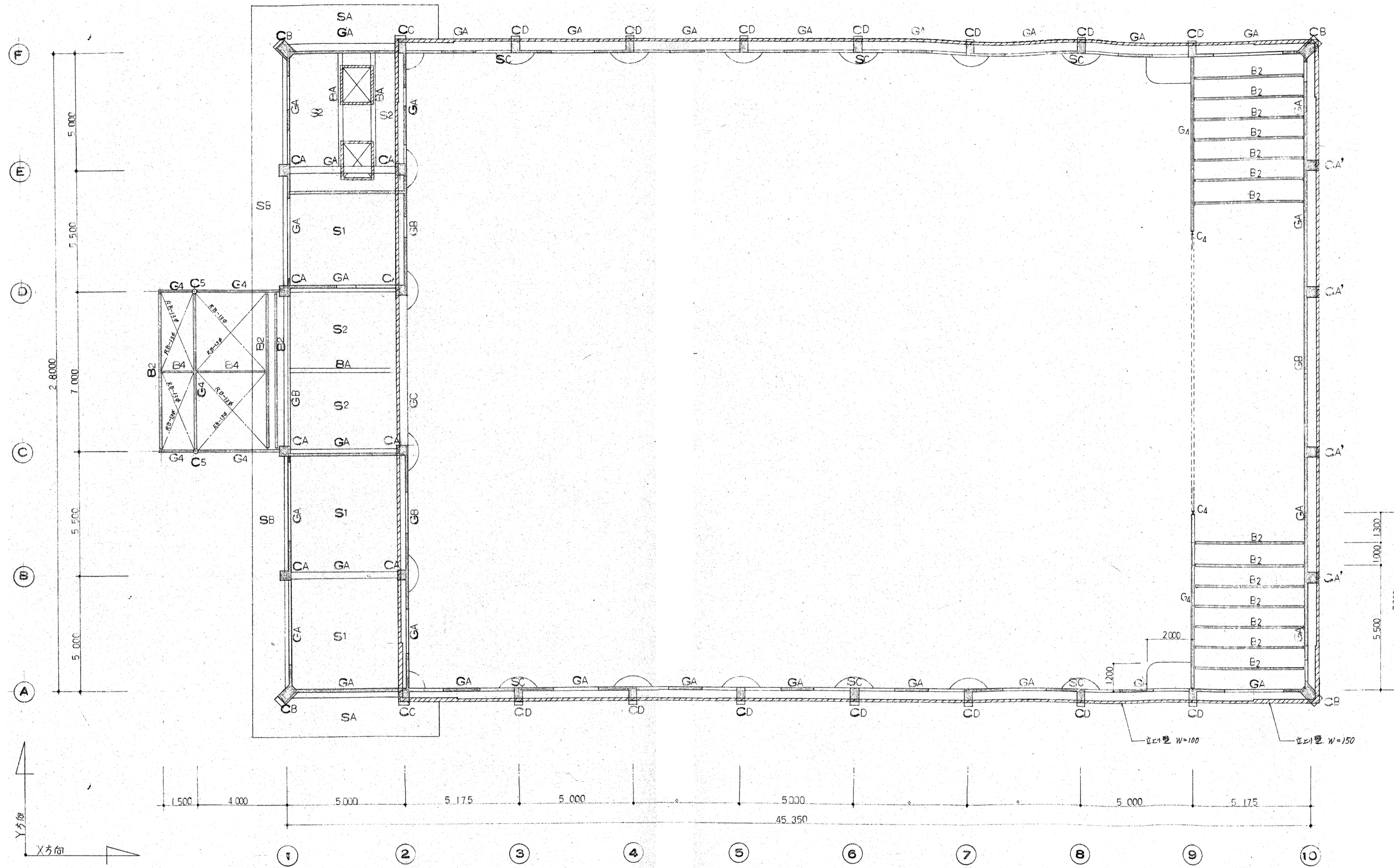
※杭は杭頭で切断し残置とする

また、残置杭については各位置を座標へプロットし提出すること

基準点、基準高は監督員と協議すること



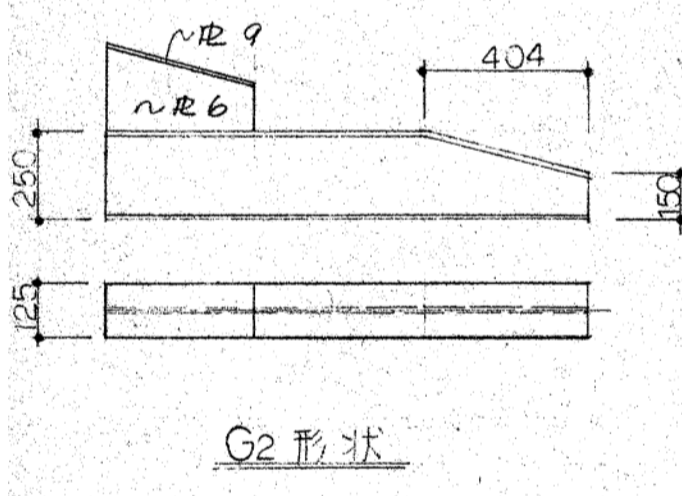
柱・壁切断の上、基礎躯体残置



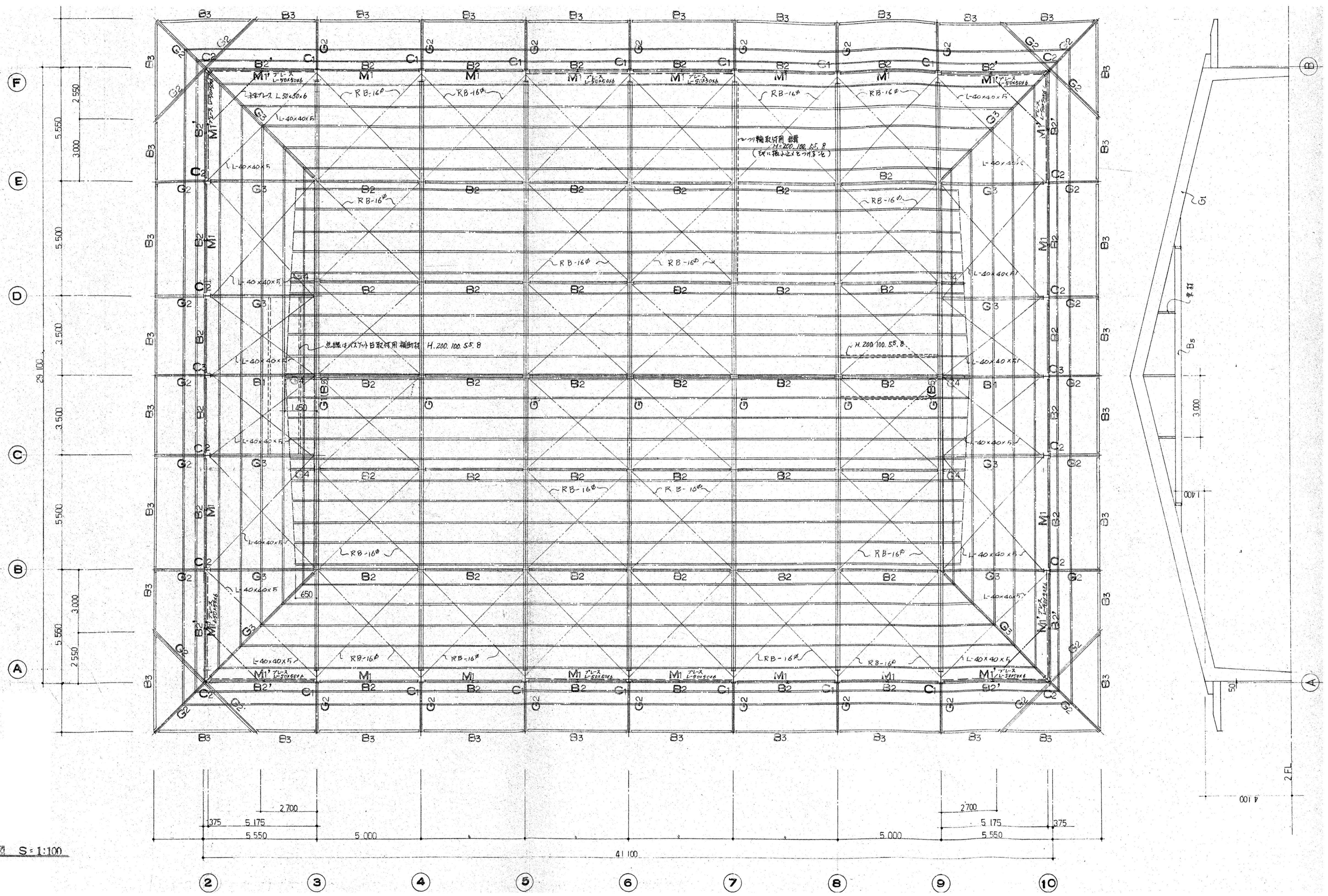
1階柱梁の配架伏図 S=1:100

注
 ・壁厚は特記無しの W=120 とす
 ・斜線部は壁を示す

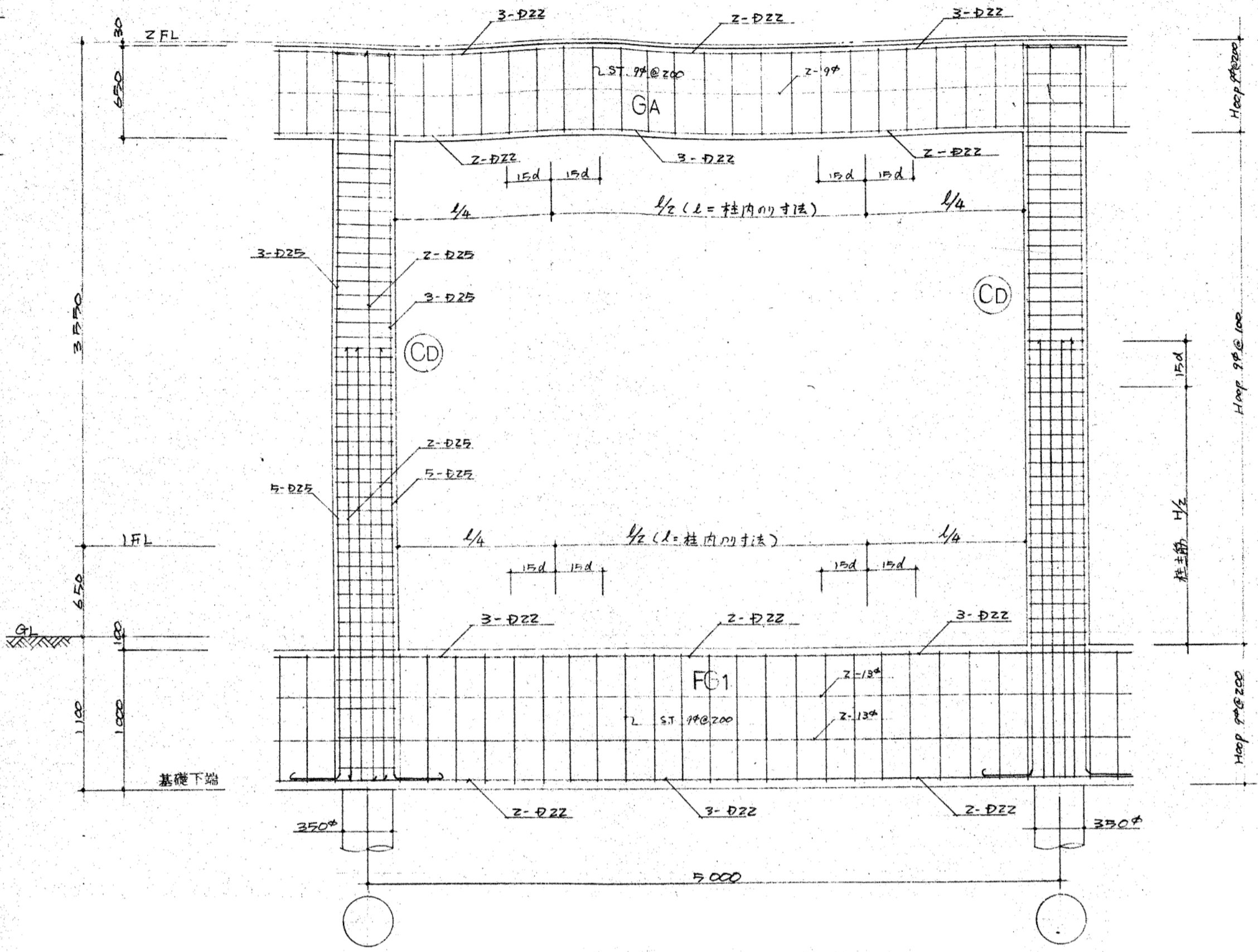
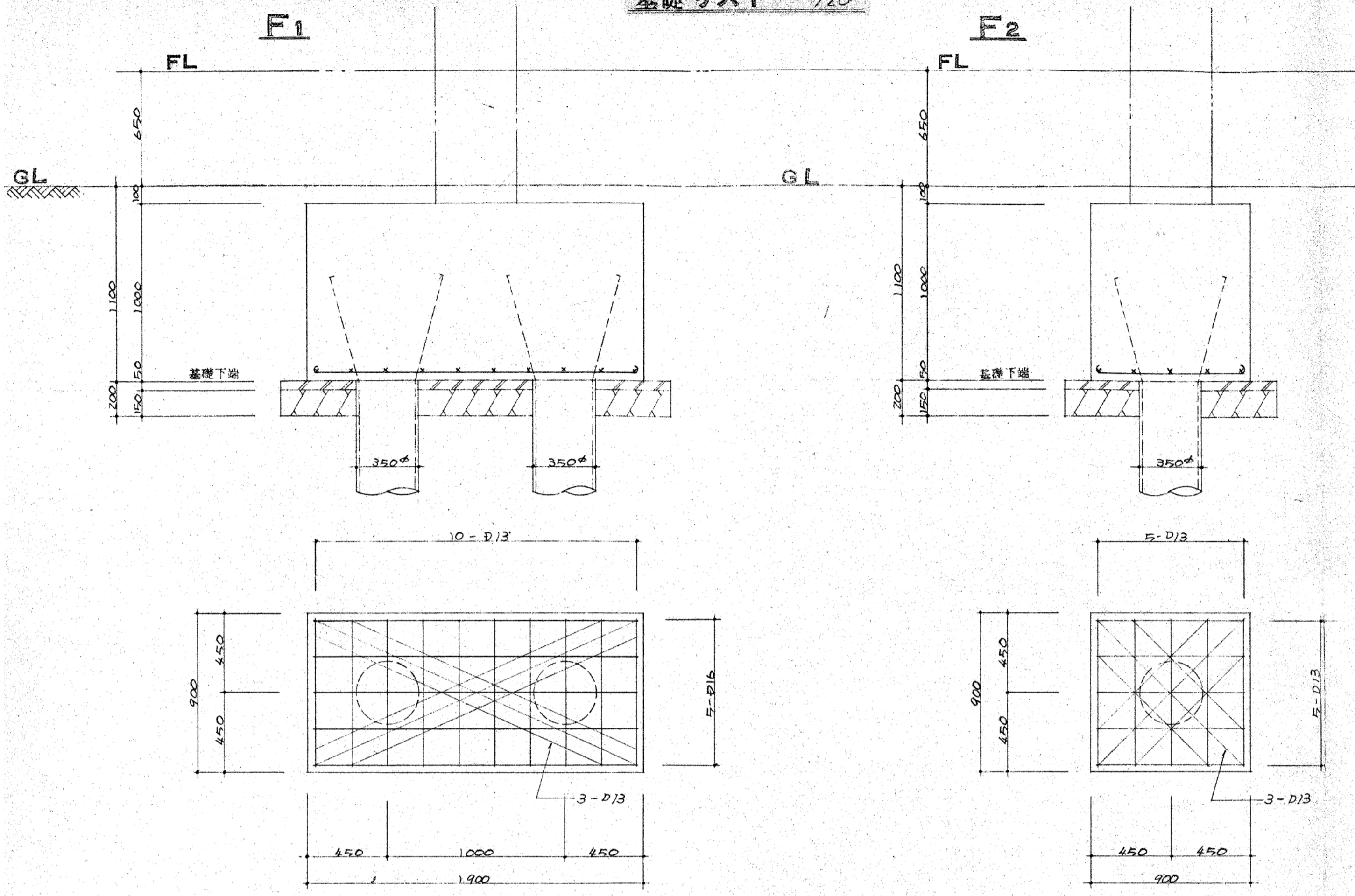
符号	× / 片	備考
G1	I-600×250×9×19	HTB G-M22
G2	H-250×125×6×9	" 2-M22
G3	H-300×150×6 ⁵ ×9	" 3-M22
G4	H-200×100×5 ⁵ ×8	" 2-M16
B1	H-250×125×6×9	" 2-M16
B2	H-200×100×5 ⁵ ×8	" 2-M16
B3	H-150×75×5×7	" 2-M16
B4	H-100×50×5×7	" 2-M16
B5-B2	H-300×150×6 ⁵ ×9	" 3-M22
C1	I-600×400×250×9×19	
C2	H-300×150×6 ⁵ ×9	
C3	H-250×125×6×9	
C4	H-150×150×7×10	
C5	S.T.K117 190 ¹ ×5 ³	
M1	H-125×60×6×8	
M1'	H-200×100×5 ⁵ ×8	
母線	2C-100×50×20×3 ²	GR-6 (鋼材) 2-13 ⁵ φ1000
垂直角材	L-50×50×6	GR-9 2-M16
木片角材	RB-16 ⁵	GR-6 3-9美1間 1-M16
	L-40×40×5	GR-6 2-3通1間 3-13 ⁵ 9-12通1間 1-M16
束材	H-100×100×6×8	2-M16 2ヶ所



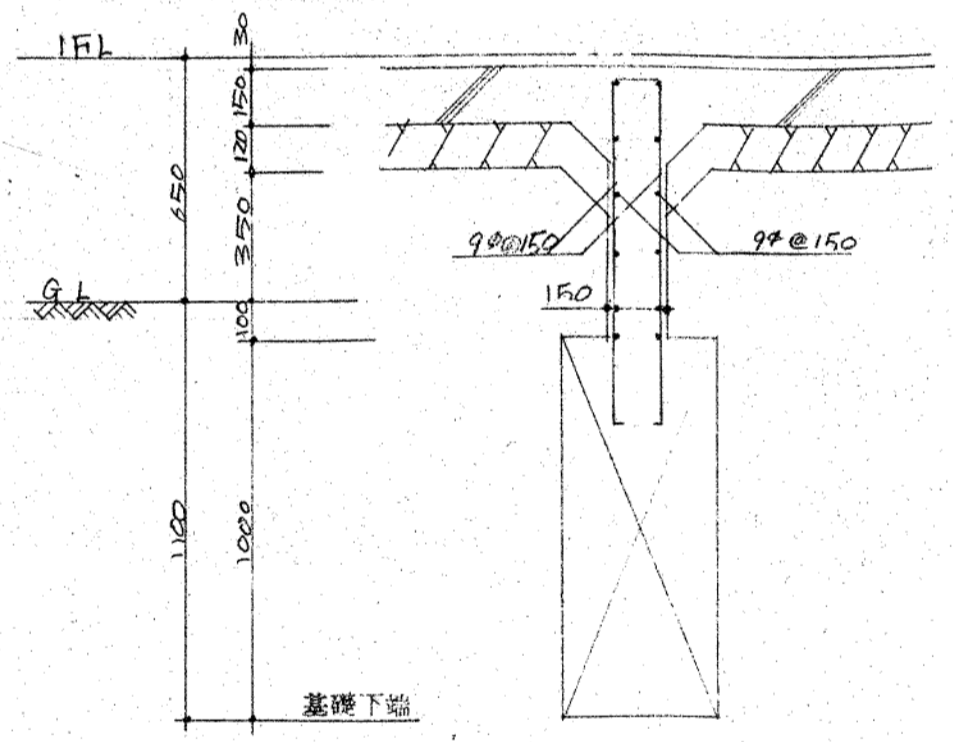
R階梁伏図 S=1:100



基礎リスト 1/20



A通ラーメン架構図 1:20



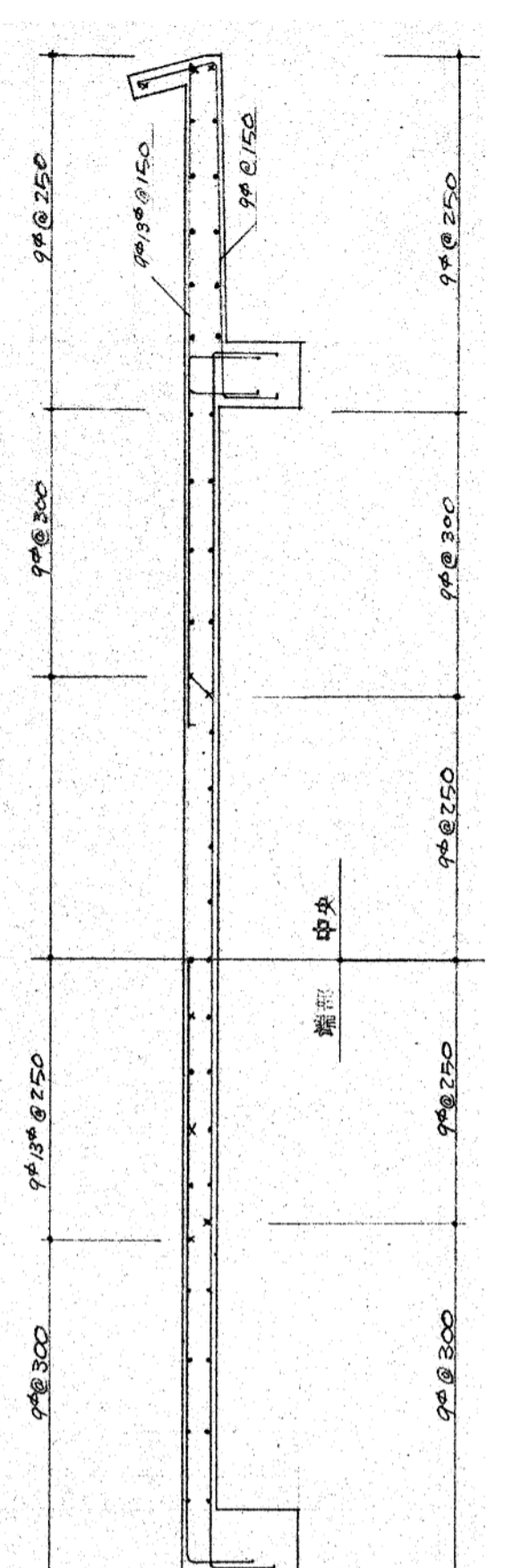
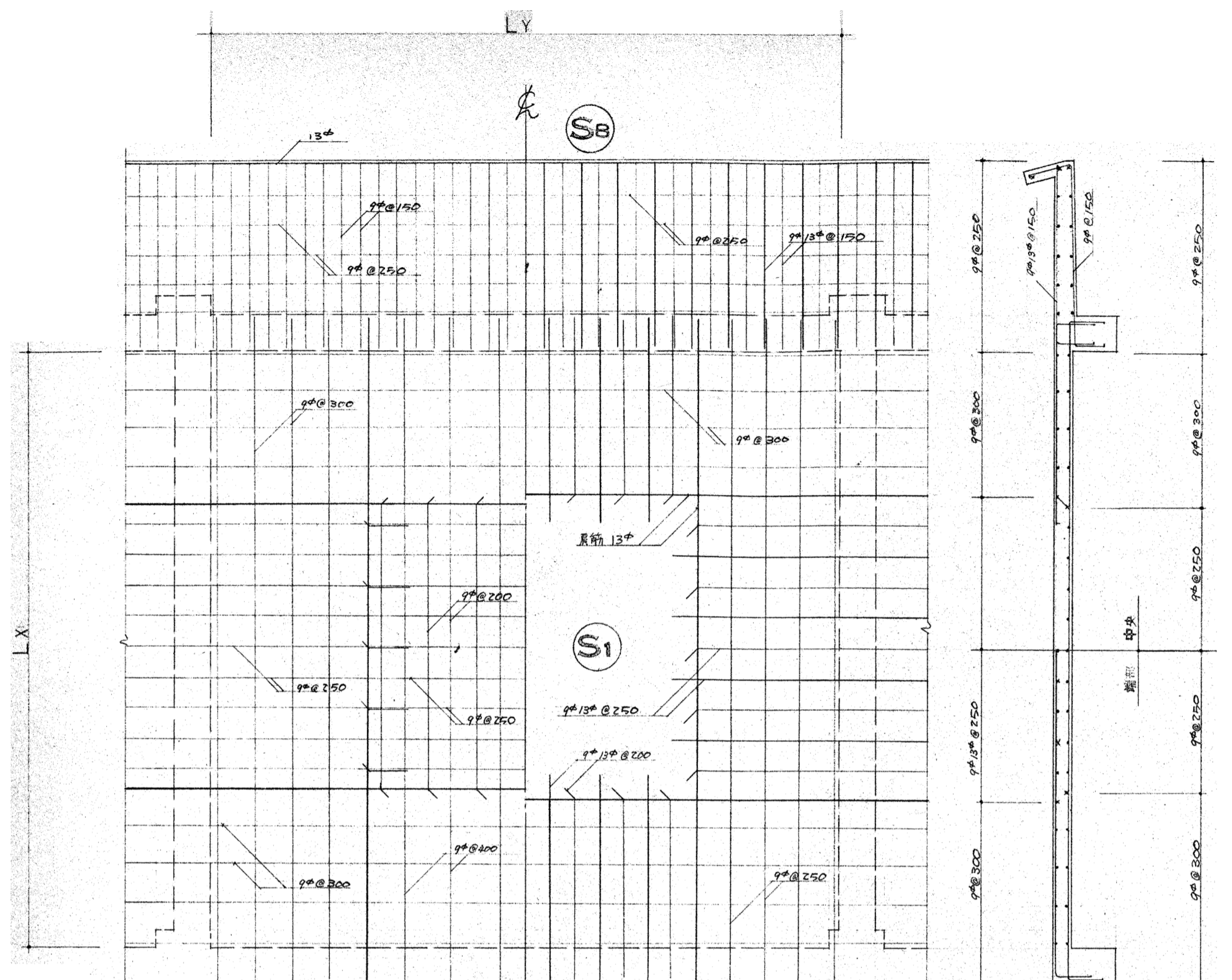
1F 立上り壁配筋図 1:20

地中梁リスト

符号	FG1		FG2			FG3	
	両端	中央	外端	中央	内端	両端	中央
断面							
腹筋	4-D13	—	4-D13	—	—	4-D13	—
上主筋	3-D22	2-D22	6-D22	3-D22	4-D22	4-D22	2-D22
下主筋	2-D22	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	2-D22	3-D22
ST	9# @ 200	—	13# @ 250	—	—	13# @ 250	—

鉄筋断面記号
 D29 29φ ⊙ D25 25φ ○ D22 22φ
 D19 19φ ⊗ D16 16φ × D13 13φ
 D10 10φ

註
 ・使用コンクリート 9φ $F_c 180 \text{ kg/cm}^2$
 ・使用鉄筋 SR-24 S_R-24
 ・筋 D13以上 SD-30
 ・全PC筋 350φ $l=14,000$
 振込時(表側) 50t/本



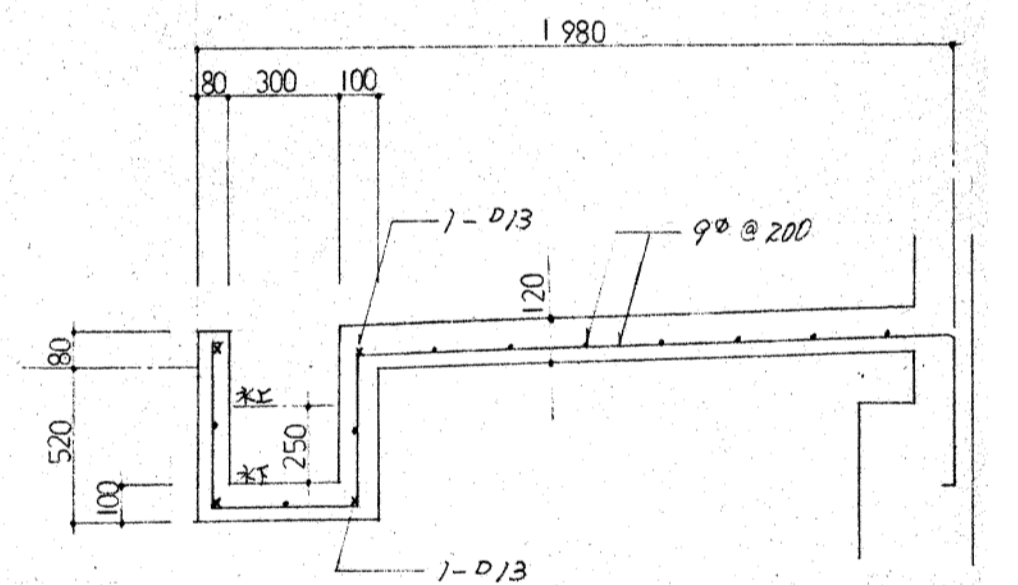
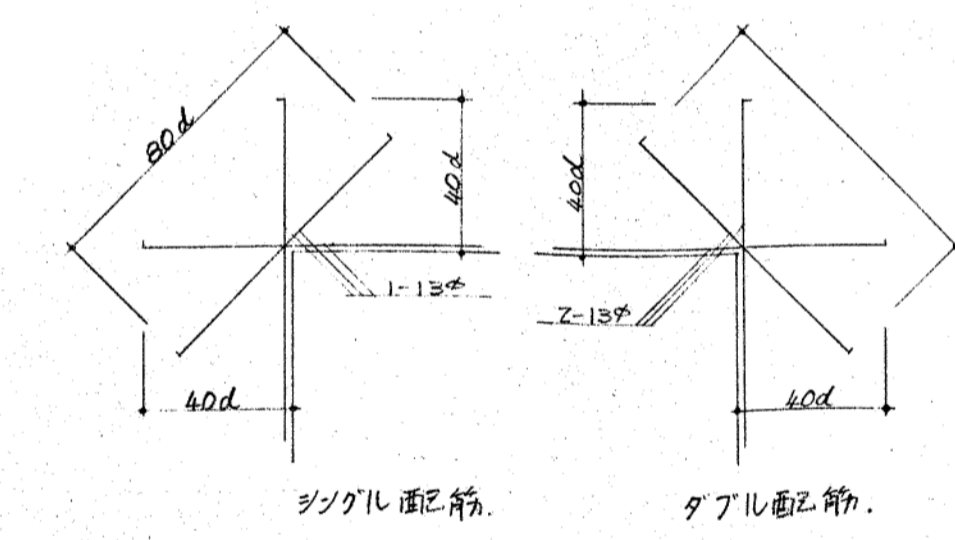
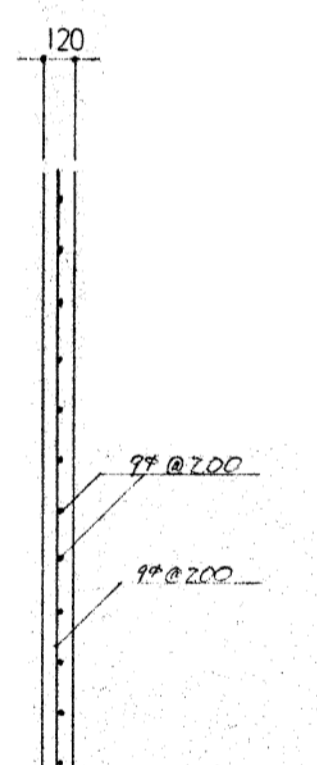
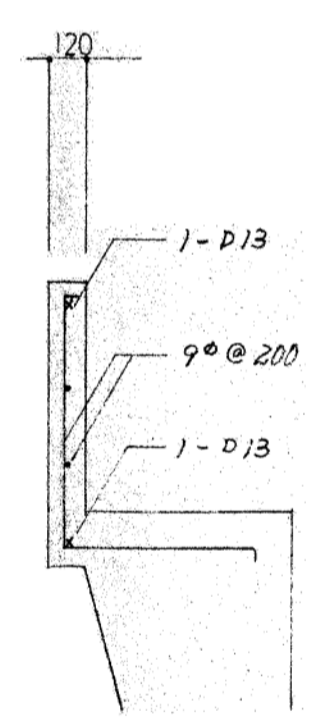
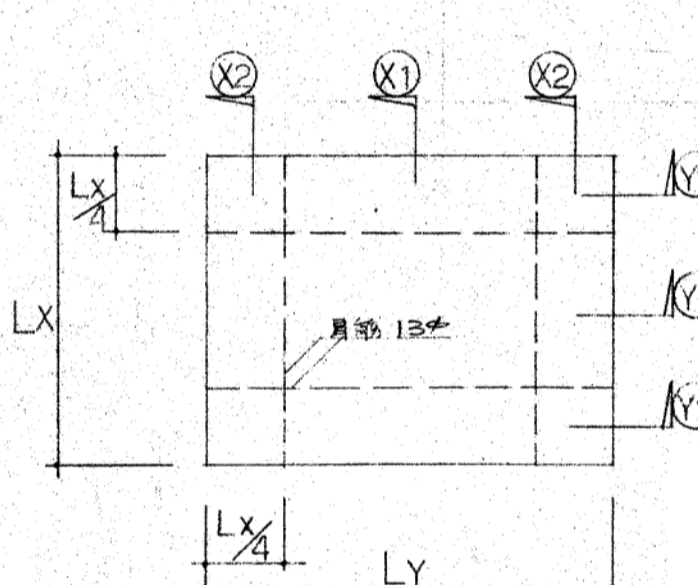
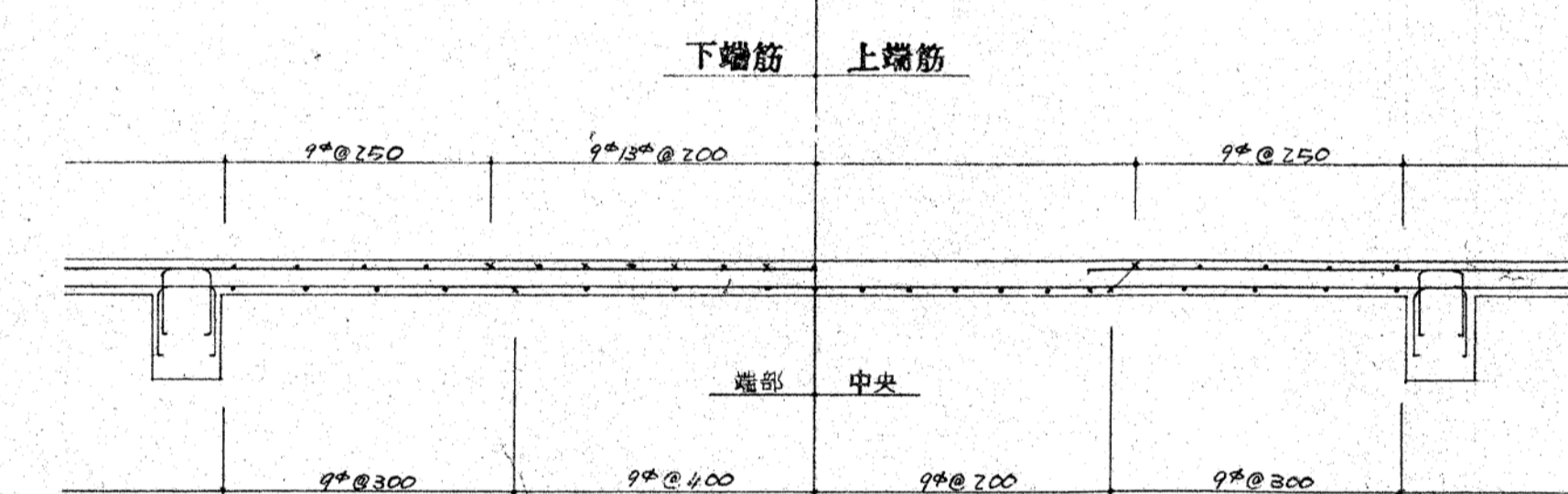
RC柱断面リスト

破線は9#×7-7°(9#×400)ヲ示ス

符号	CA	CB	CC	CD
柱頭				
主筋	8-D22	10-D22	8-D22	8-D25
Hoop	9# @ 100	9# @ 100 日	9# @ 100	9# @ 100
柱脚				
主筋	8-D22	10-D22	10-D22	20-D25
Hoop	9# @ 100	9# @ 100 日	9# @ 100	9# @ 100

RC梁断面リスト

符号	GA		GB		GC		BA	
	両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央
断面								
上主筋	2-9#	2-D22	2-9#	2-D22	2-9#	3-D22	3-D22	2-D22
下主筋	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22	4-D22
ST	9# @ 200		3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	9# @ 250	



スラブリスト

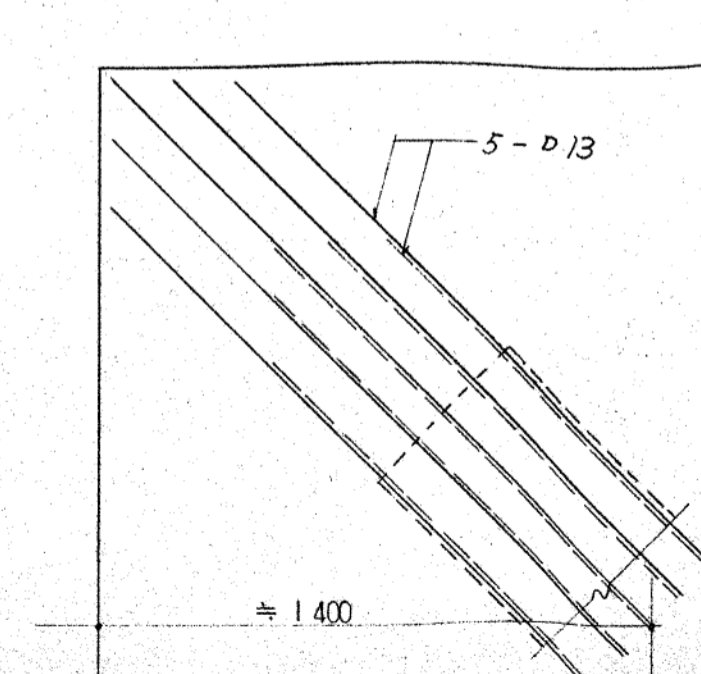
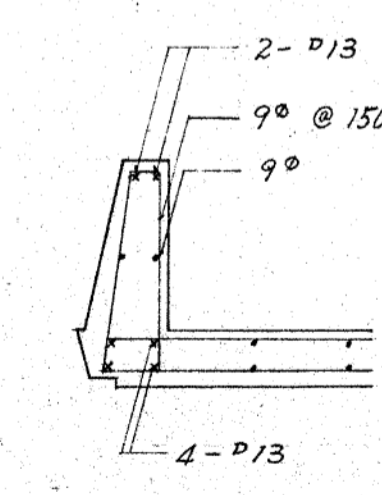
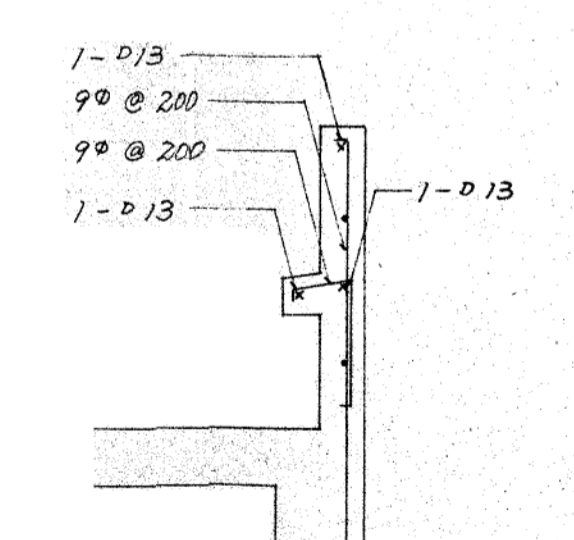
符号	スラブ厚	主筋(短辺方向)		配力筋(長辺方向)		備考		
		端部	中央	X1-X1(中央)	X2-X2(端部)		Y1-Y1(中央)	Y2-Y2(端部)
S1	150	150	150	9# @ 200 9# @ 200	9# @ 250 9# @ 300	9# @ 250 9# @ 300	9# @ 300 9# @ 300	
S2	150	150	150	9# @ 200 9# @ 200	9# @ 300 9# @ 300	9# @ 300 9# @ 300	9# @ 300 9# @ 300	
S3	150	150	150	9# @ 150 9# @ 150	9# @ 100 9# @ 100	9# @ 200 9# @ 200	9# @ 250 9# @ 300	
S4	150	150	150	9# @ 150 9# @ 150	9# @ 250 9# @ 250	9# @ 300 9# @ 300	9# @ 300 9# @ 300	
SA	180	150	150	13# @ 150 9# @ 150		9# @ 250 9# @ 250		
SB	180	150	150	9# @ 150 9# @ 150		9# @ 250 9# @ 250		
SC	120	120	120	9# @ 200 9# @ 200		9# @ 300 9# @ 300		

Y1-Y1 立上り壁配筋図 1:20

一搬壁配筋図 1:20

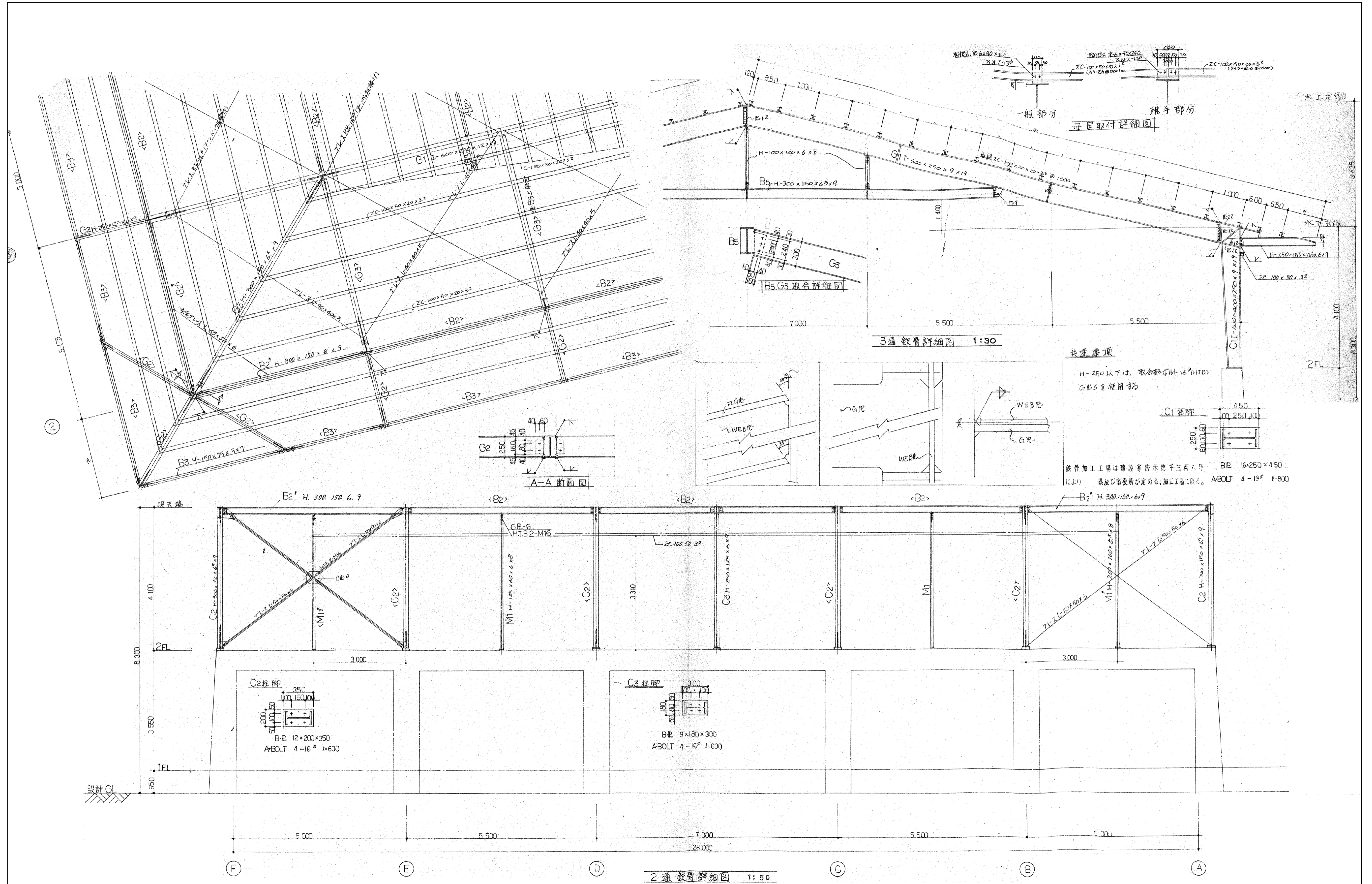
南口部補強配筋図 1:20

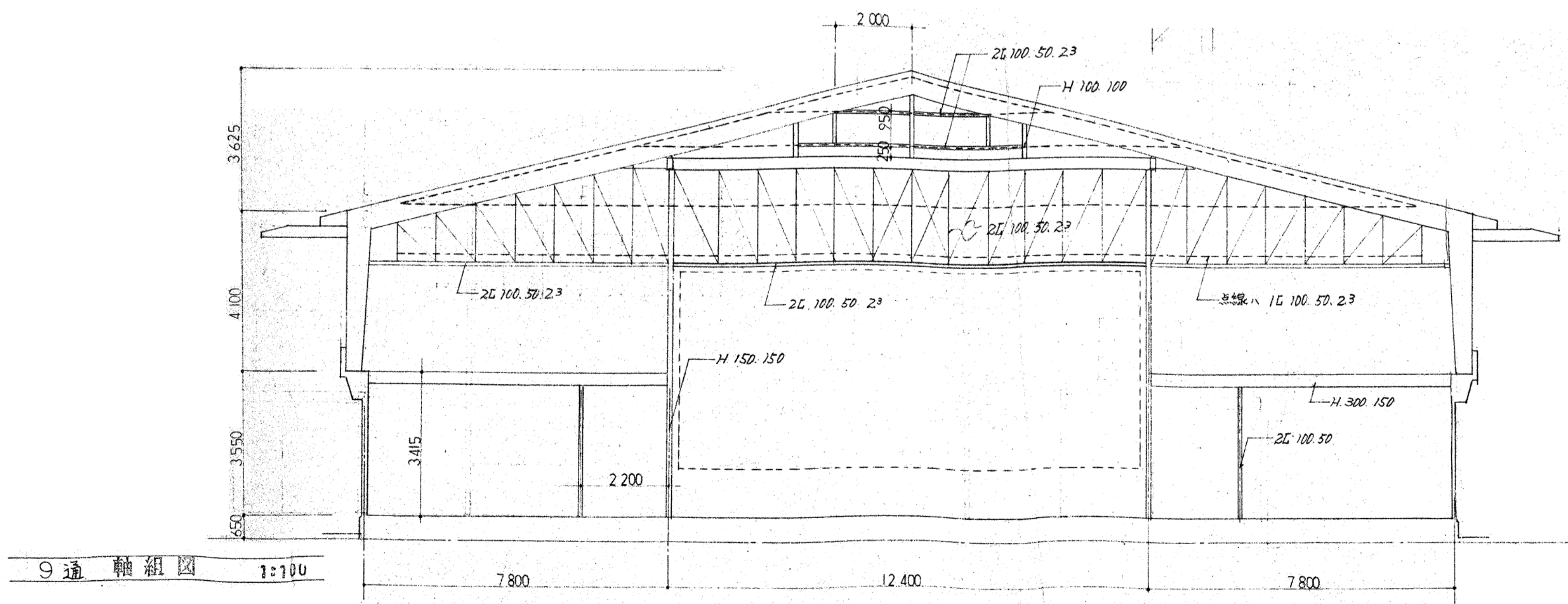
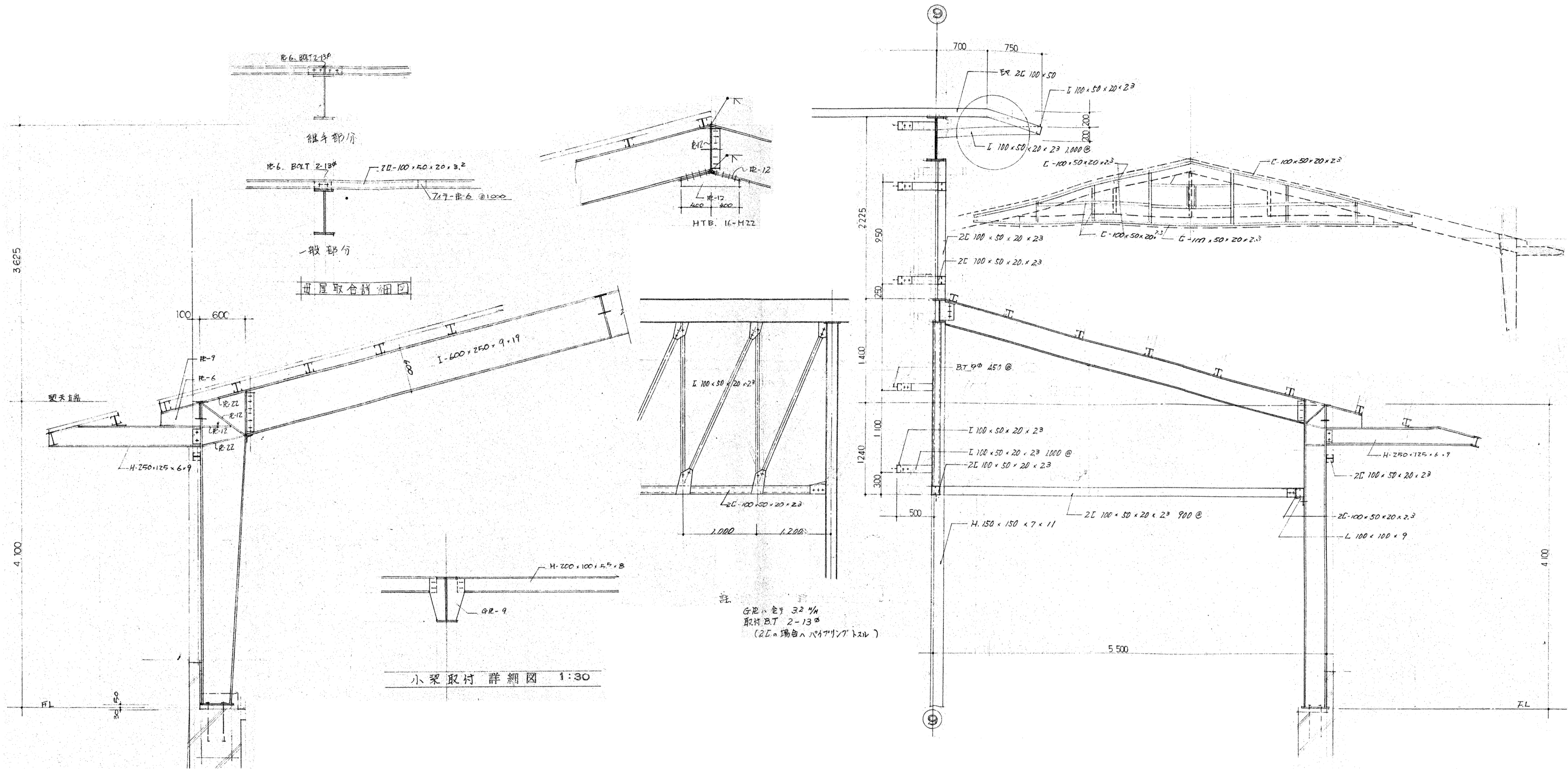
S5 配筋図 1:20

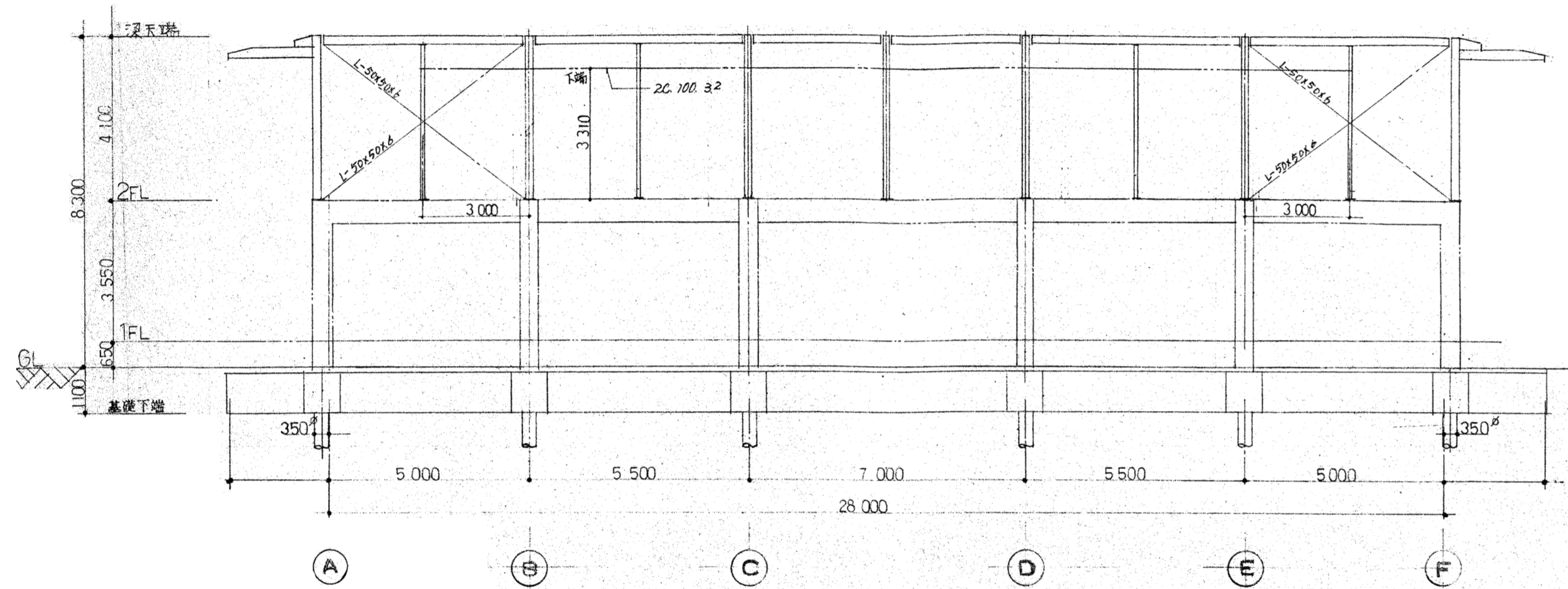


トアラト立上り壁配筋図 1:20

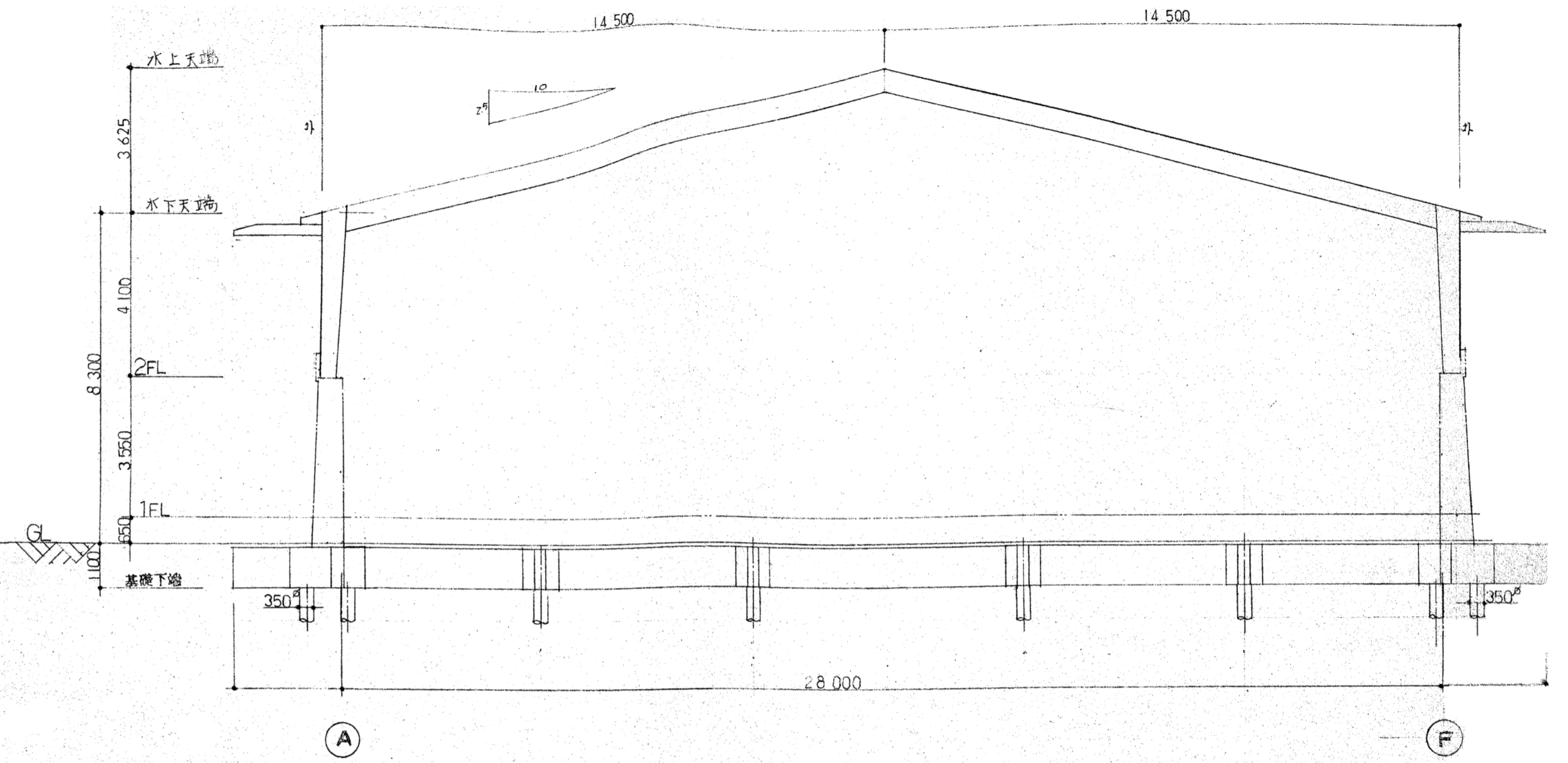
庇配筋図 1:20



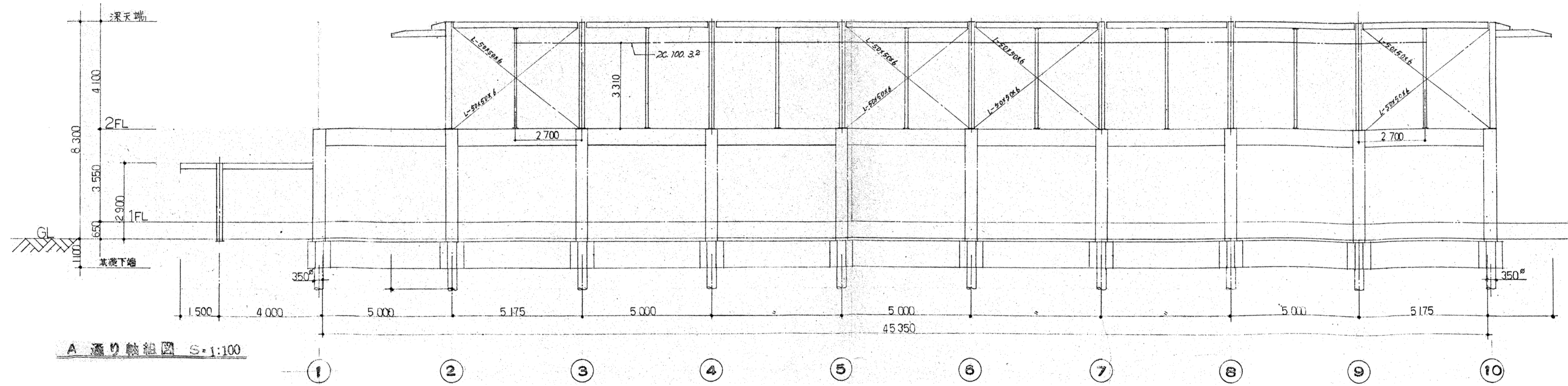




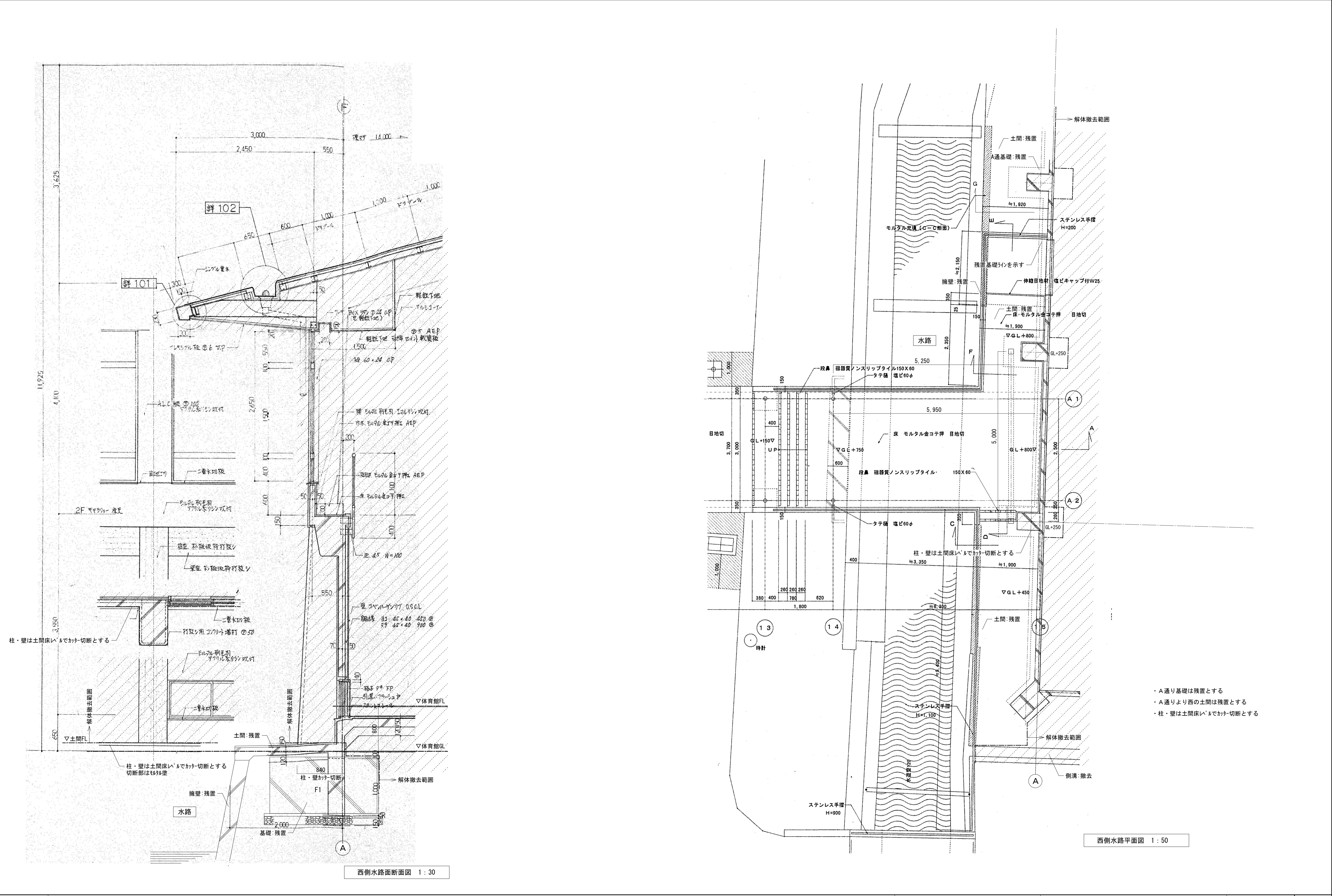
10通り軸組図 S=1:100



4~8通り軸組図 S=1:100



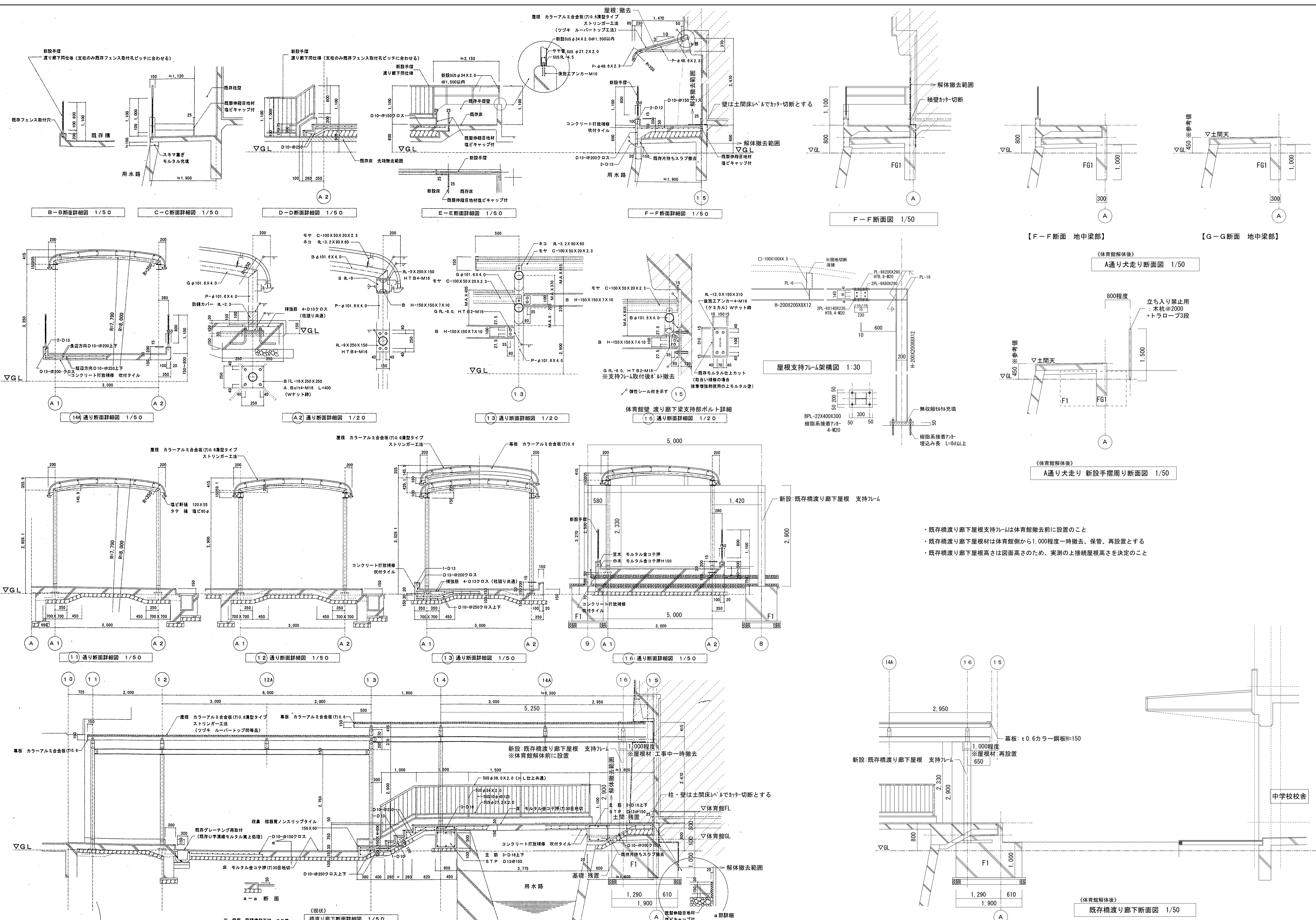
A通り軸組図 S=1:100



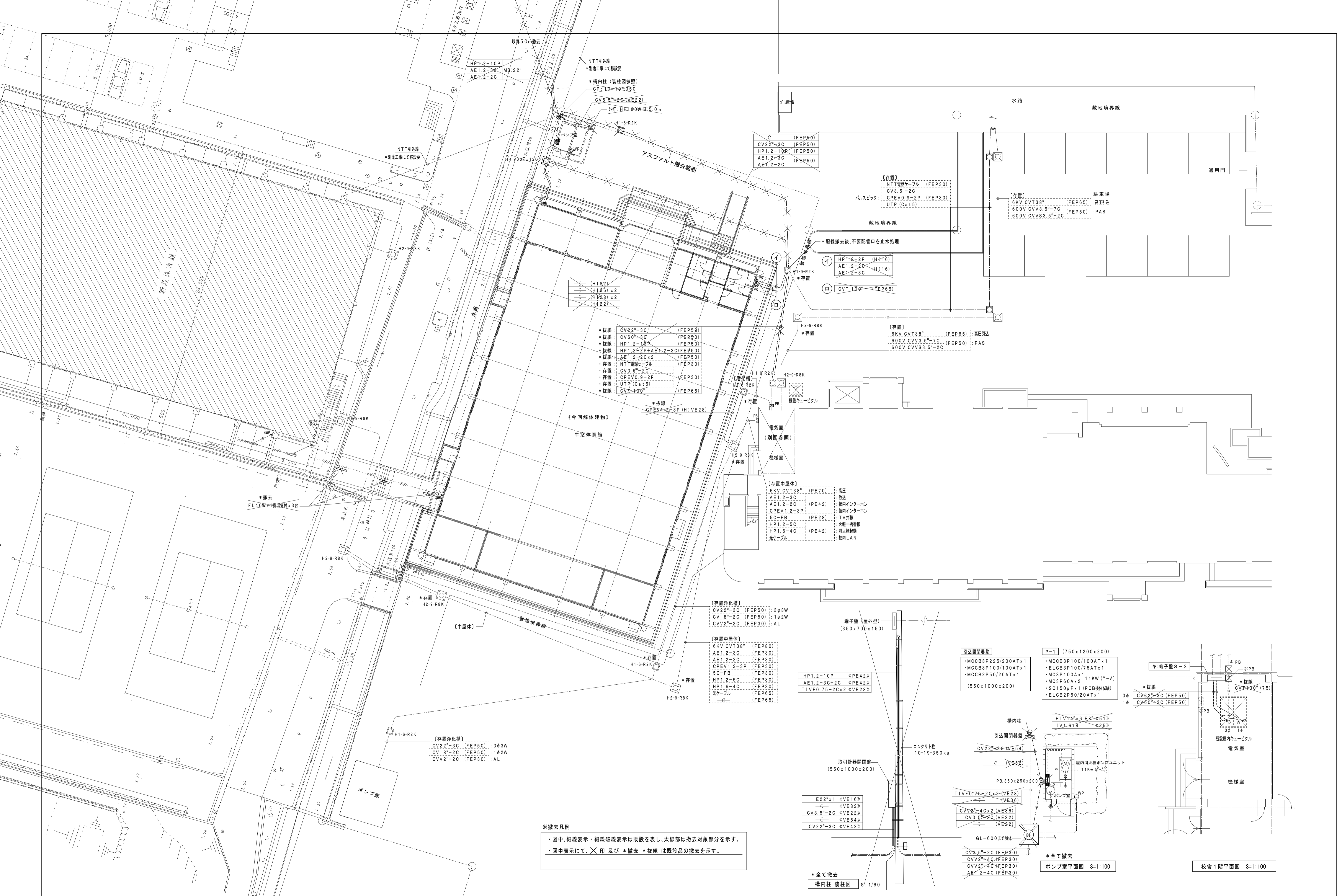
西側水路断面図 1:30

西側水路平面図 1:50

- ・ A通り基礎は残置とする
- ・ A通りより西の土間は残置とする
- ・ 柱・壁は土間床レベルでカッター切断とする



- ・既存橋渡り廊下屋根支持フレームは体育館撤去前に設置のこと
- ・既存橋渡り廊下屋根材は体育館側から1,000程度一時撤去、保管、再設置とする
- ・既存橋渡り廊下屋根高さは図面高さのため、実測の上接続屋根高さを決定のこと



※撤去凡例

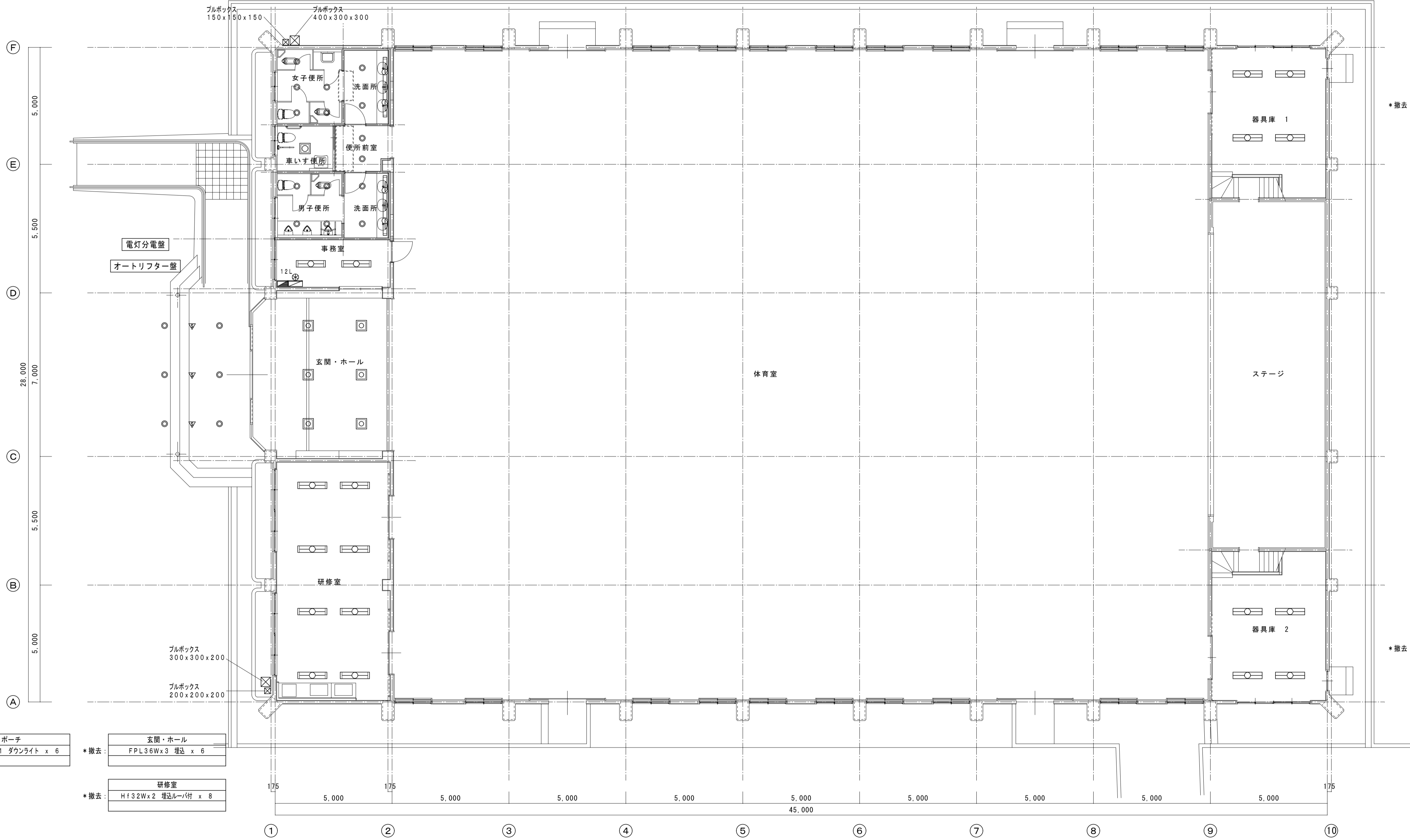
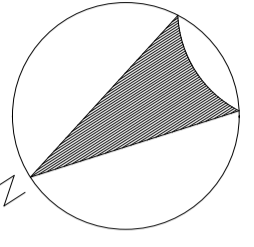
- ・ 図中、細線表示・細線破線表示は既設を表し、太線部は撤去対象部分を示す。
- ・ 図中表示にて、 \times 印及び * 撤去 * 抜線 は既設品の撤去を示す。

* 全て撤去
構内柱 装柱図 S:1/60

女子便所・洗面所	女子便所・洗面所
*撤去: FDL13W ダウンライト x 7	*撤去: FDL13W ダウンライト x 2
*撤去: HF32Wx1 埋込パネル付 x 2	
車いす便所	便所前室
*撤去: FCL40Wx1 埋込 x 1	*撤去: FDL13W ダウンライト x 2
事務室	男子便所・洗面所
*撤去: HF32Wx2 埋込ルーバー付 x 2	*撤去: FDL13W ダウンライト x 6
	*撤去: HF32Wx1 埋込パネル付 x 2

電灯分電盤
鋼製 壁掛型
W: 450 x H: 1500 x D: 180
上部ダクト
W: 450 x H: 985 x D: 180
・ELCB3P100/100AT x 1
・MCCB2P 50/ 20A x 8
・MCCB2P 50/ 30A (1Pサイズ) x 2
・MCCB2P 50/ 20A (1Pサイズ) x 27

オートリフター盤
鋼製 壁掛型
W: 600 x H: 1100 x D: 200
・ELCB3P225/150AT x 1
・MCCB2P 50/ 40A x 12
・リモコンランス x 1
・リモコンリレー x 10
・リモコンスイッチ12L x 1



器具庫 1
*撤去: FL40Wx2 露出 x 4

器具庫 2
*撤去: FL40Wx2 露出 x 4

ポーチ
*撤去: IL1100Wx1 ダウンライト x 6

玄関・ホール
*撤去: FPL36Wx3 埋込 x 6

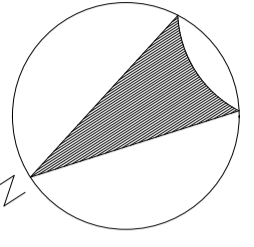
研修室
*撤去: HF32Wx2 埋込ルーバー付 x 8

= 凡例 =

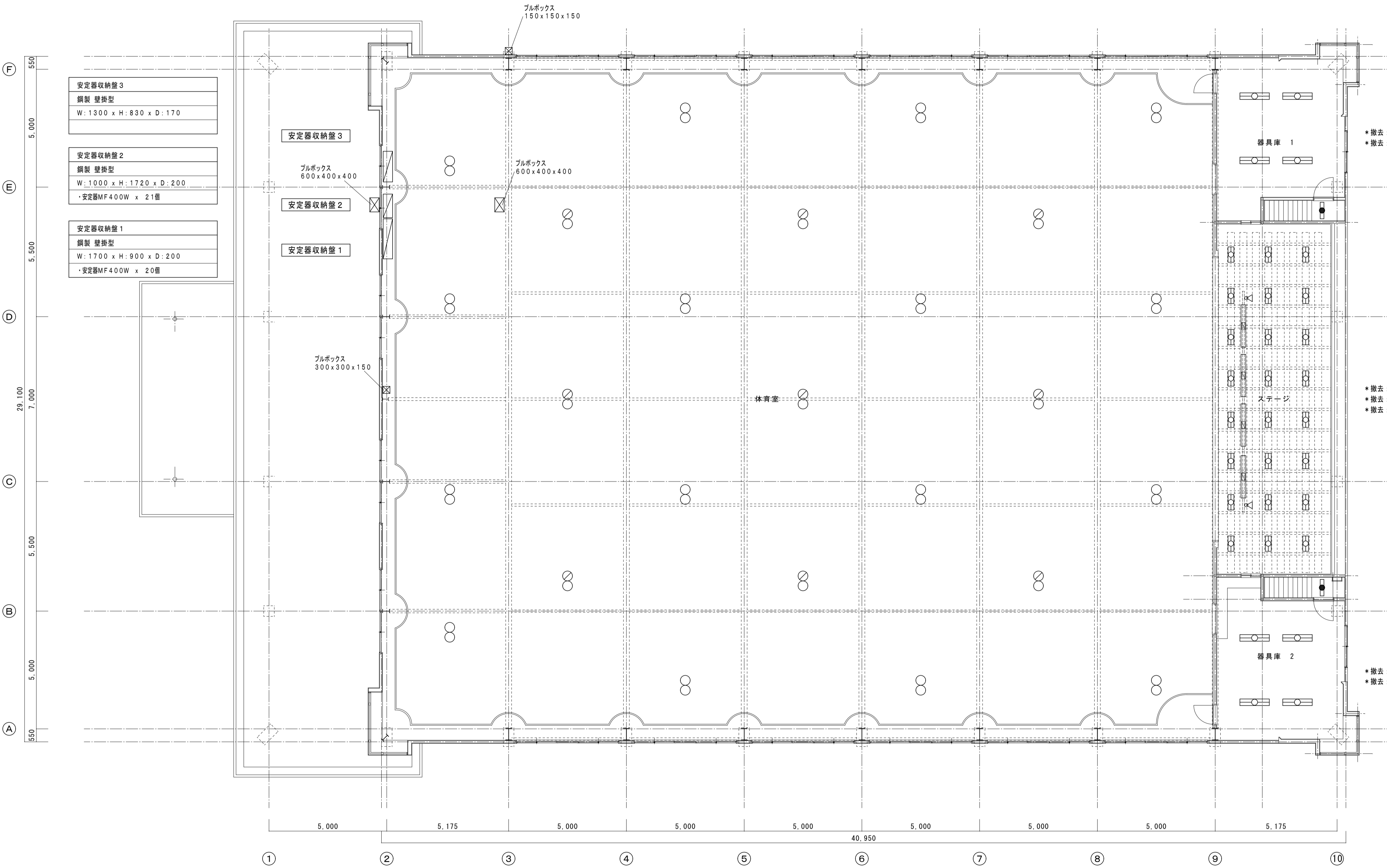
	FL 20Wx2	トラケット
	FDL 13W	ダウンライト
	FPL 36Wx3	埋込
	FL 40Wx2	露出
	HF 32Wx1	埋込
	HF 32Wx2	埋込
	FCL 40Wx1	埋込
		熱線センサ付自動スイッチ

※照明器具撤去時におけるPCBの調査
 撤去又は取り外した照明器具の安定器等については、PCB使用の有無を調査のうえ、リストおよび型番等の分かる写真を添付した報告書を提出し、監督員の承諾を得て引渡し又は処分すること。なお、電路から取り外したPCB使用機器は特別管理産業廃棄物にあたるので、法律に従いPCB廃棄物の飛散・流出・地下浸透・悪臭発生の防止措置を講じ「PCB汚染物」の標示をすること。保管場所については、監督員の指示に従うこと

※特記事項
 ・ 図中器具をすべて撤去すること。
 ・ 撤去する照明器具はPCBが含まれているか確認し、直ちに監督員に報告すること。



体育室	
*撤去	MF400Wx2 オートリフター付 x 16
*撤去	MF400Wx1+IL500Wx1 オートリフター付 x 9



安定器収納壁 3	
鋼製 壁掛型	
W:1300 x H:830 x D:170	
安定器MF400W x 21個	

安定器収納壁 2	
鋼製 壁掛型	
W:1000 x H:1720 x D:200	
安定器MF400W x 21個	

安定器収納壁 1	
鋼製 壁掛型	
W:1700 x H:900 x D:200	
安定器MF400W x 20個	

器具庫 1	
*撤去	FL40Wx2 露出 x 4
*撤去	FL20Wx1非常灯付 露出 x 1

ステージ	
*撤去	FL20Wx2 露出 x 24
*撤去	IL150W スポットライト x 2
*撤去	ポーターライト (IL100Wx9灯用) x 4

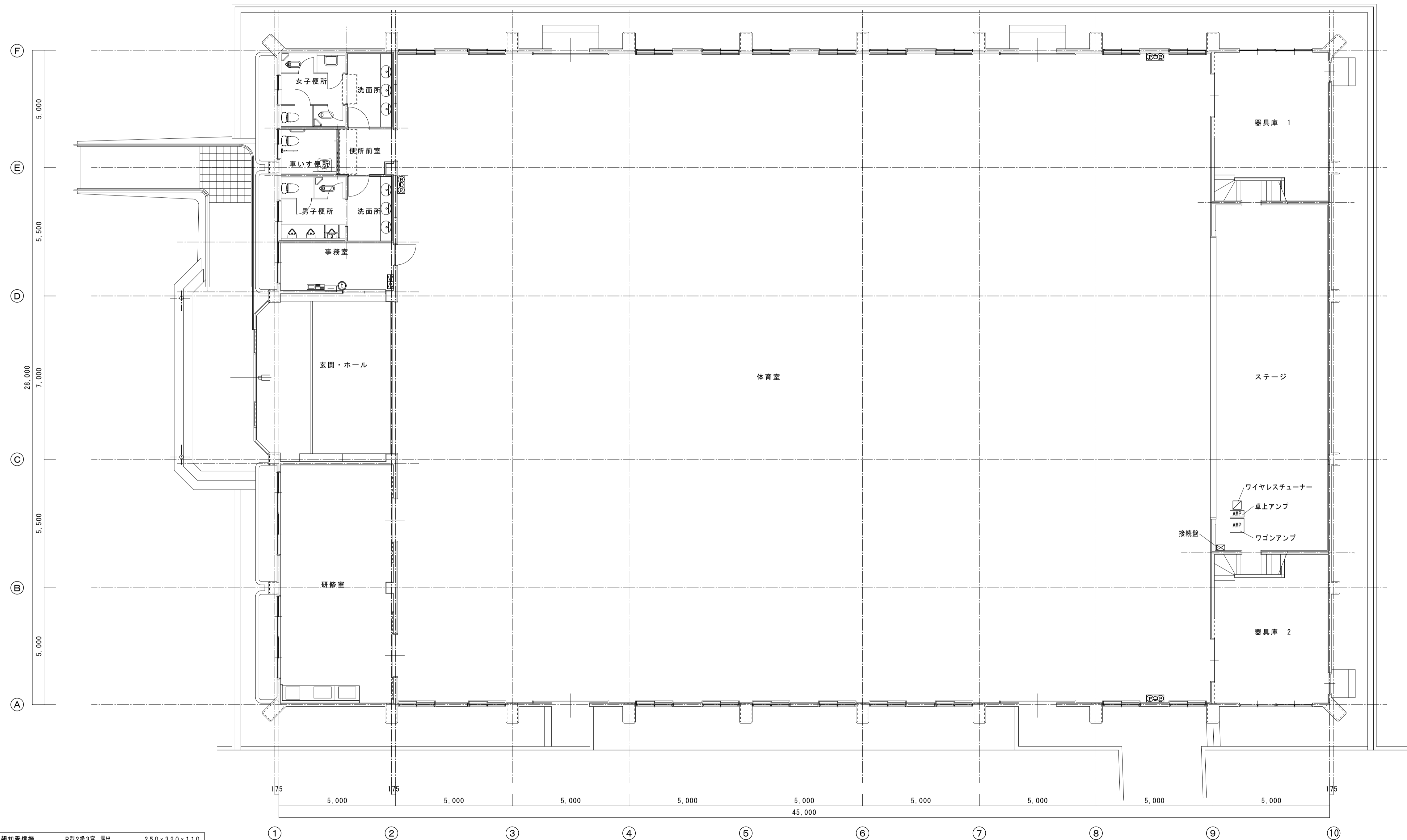
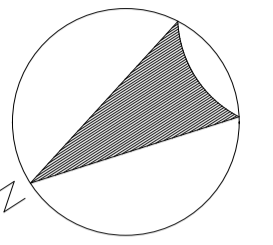
器具庫 2	
*撤去	FL40Wx2 露出 x 4
*撤去	FL20Wx1非常灯付 露出 x 1

=凡例=

	FL 20Wx1 非常灯付	露出
	FL 20Wx2	露出
	FL 40Wx2	露出
	IL 100Wx9	ポーターライト
	IL 150W	スポットライト
	MF400Wx2 オートリフター付	高天井灯
	MF400Wx1+IL500Wx1 オートリフター付	高天井灯

※照明器具撤去時におけるPCBの調査
 撤去又は取外した照明器具の安定器等については、PCB使用の有無を調査のうえ、リストおよび型番等の分かる写真を添付した報告書を提出し、監督員の承諾を得て引渡し又は処分すること。なお、電路から取り外したPCB使用機器は特別管理産業廃棄物にあたるので、法律に従いPCB廃棄物の飛散・流出・地下浸透・悪臭発生防止措置を講じ「PCB汚染物」の標示をすること。保管場所については、監督員の指示に従うこと

※特記事項
 ・ 図中器具をすべて撤去すること。
 ・ 撤去する照明器具はPCBが含まれているか確認し、直ちに監督員に報告すること。



ワイヤレスチューナー
W: 210 x H: 60 x D: 280

卓上アンプ
W: 420 x H: 160 x D: 300

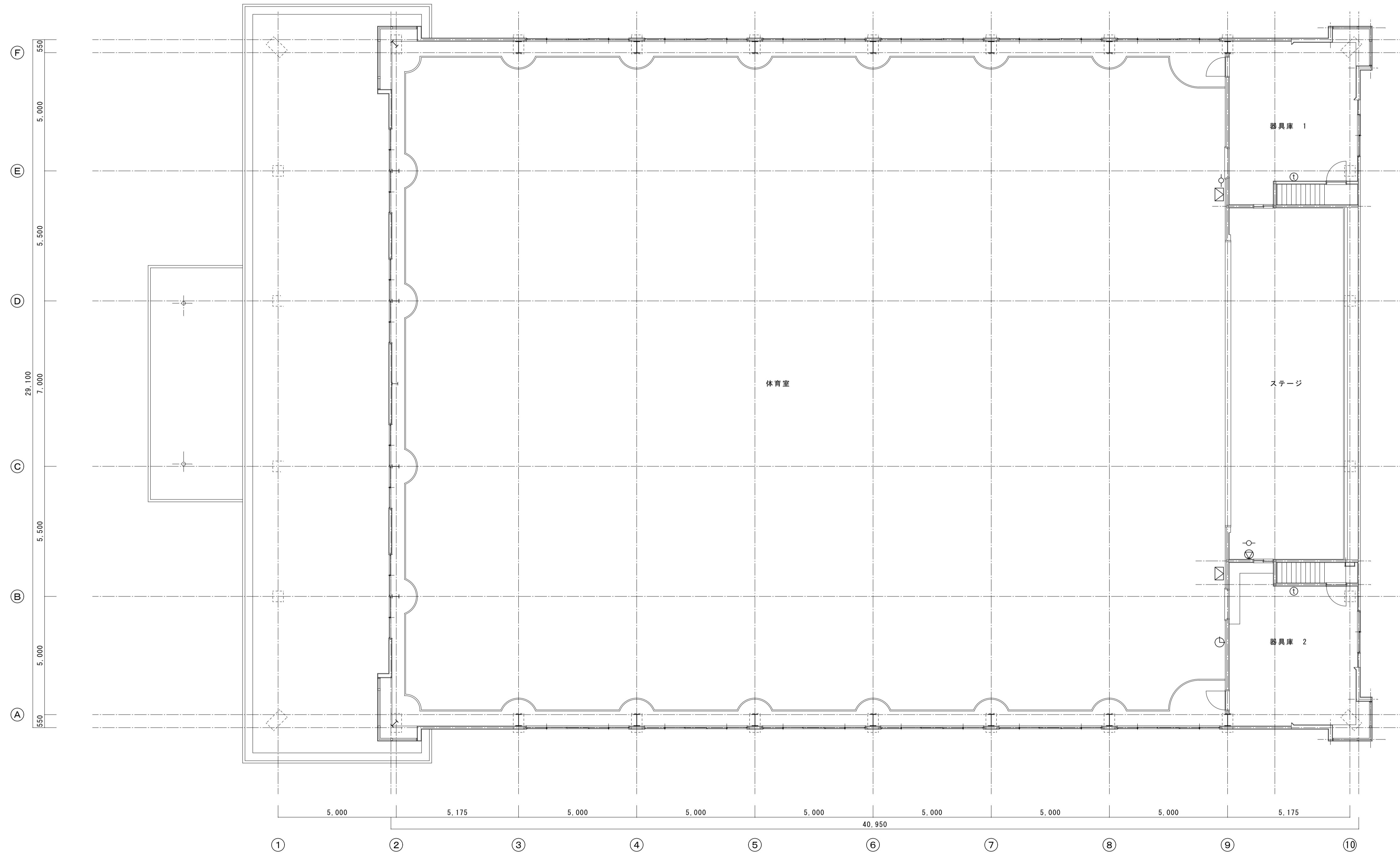
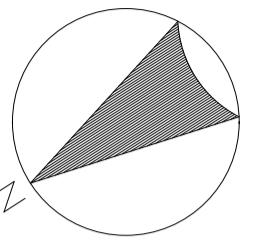
ワゴンアンプ
木製ラック
W: 500 x H: 930 x D: 550
・チューナーベース 482x44x300
・ミキサー 480x177x160
・カセットデッキ 430x136x290
・CDプレーヤー 430x130x333
・パワーアンプ 480x106x333

接続盤
鋼製 壁掛型
W: 250 x H: 450 x D: 100

= 凡例 =

	火災報知受信機	P型2線3部 露出	250x320x110
	警報鐘	2音 露出	200x200x60
	総合盤	P型2線 露出壁掛型	550x300x85
	インターホン機器		
	トイレ呼出表示器	1音 (VH-L111)	380x250x60
	ITVカメラ		

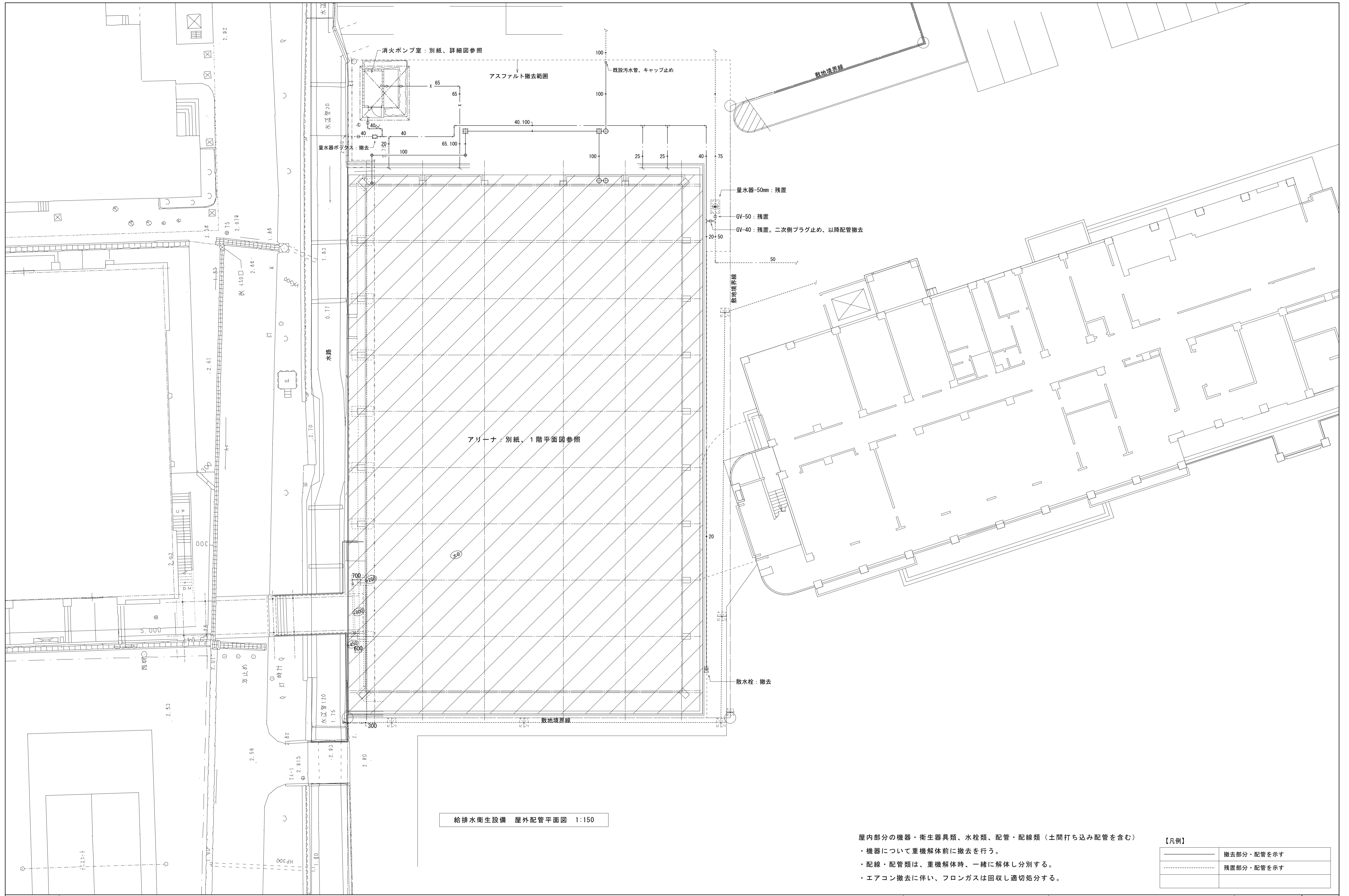
※特記事項
・ 図中器具をすべて撤去すること。



= 凡例 =

☒	ホールスピーカ	30W ガード付	434 x 284 x 234
Ⓜ	モニタースピーカ	30W	369 x 190 x 194
○	ワイヤレスアンテナ		
Ⓜ	インターホン子器		
Ⓜ	壁掛時計	φ700	

※特記事項
 ・ 図中器具をすべて撤去すること。

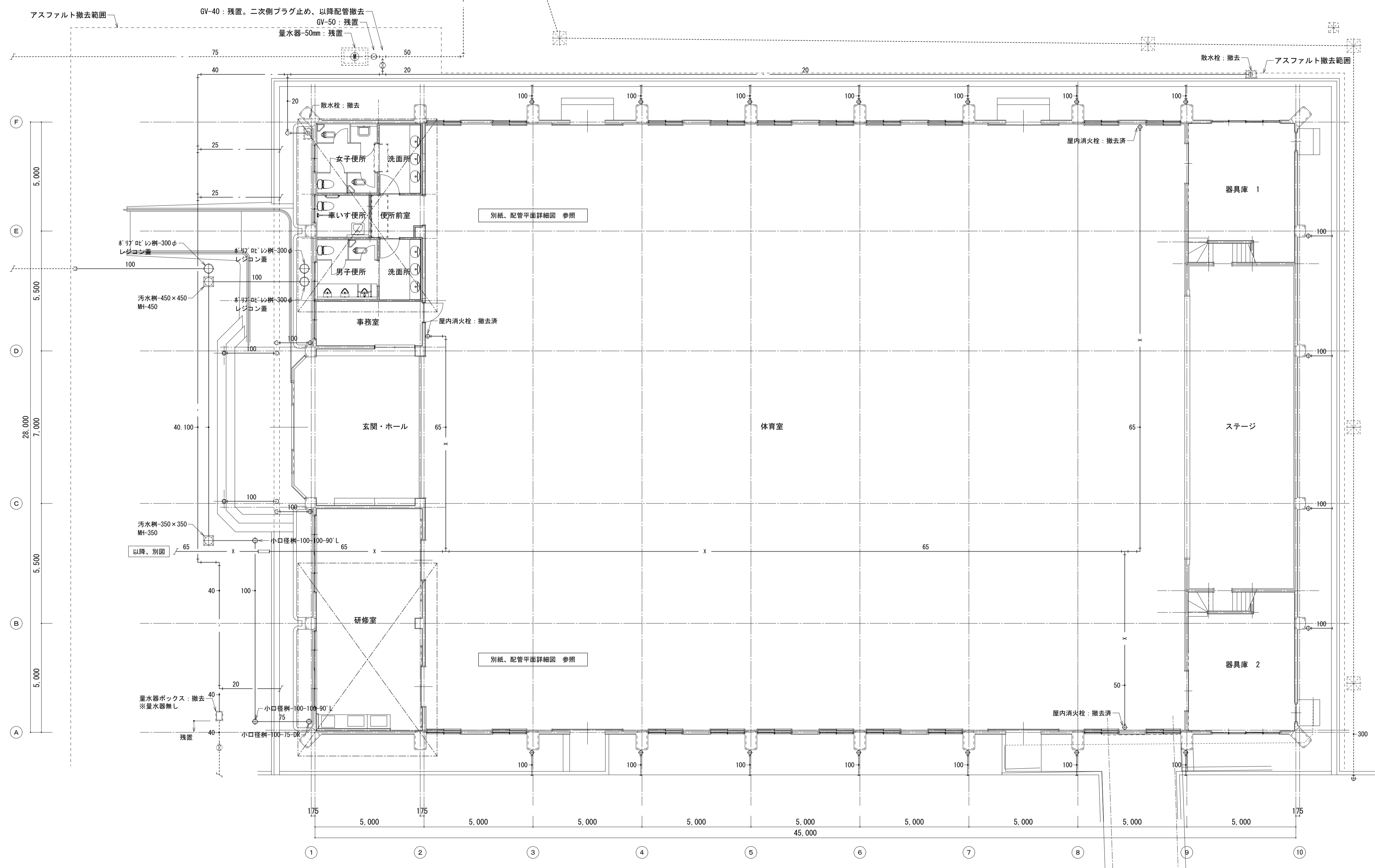
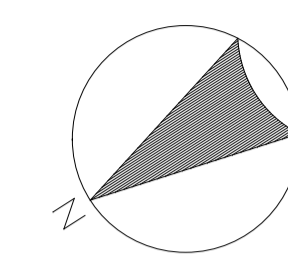


給排水衛生設備 屋外配管平面図 1:150

- 屋内部分の機器・衛生器具類、水栓類、配管・配線類（土間打ち込み配管を含む）
- ・機器について重機解体前に撤去を行う。
 - ・配線・配管類は、重機解体時、一緒に解体し分別する。
 - ・エアコン撤去に伴い、フロンガスは回収し適切処分する。

【凡例】

———	撤去部分・配管を示す
.....	残置部分・配管を示す



【凡例】

	撤去部分・配管を示す
	残置部分・配管を示す

株式会社 倉森建築設計事務所
 一級建築士事務所登録 岡山 1081号
 一級建築士 169960号
 赤木 定

牛窓体育館解体工事
 給排水衛生設備 1階配管平面図

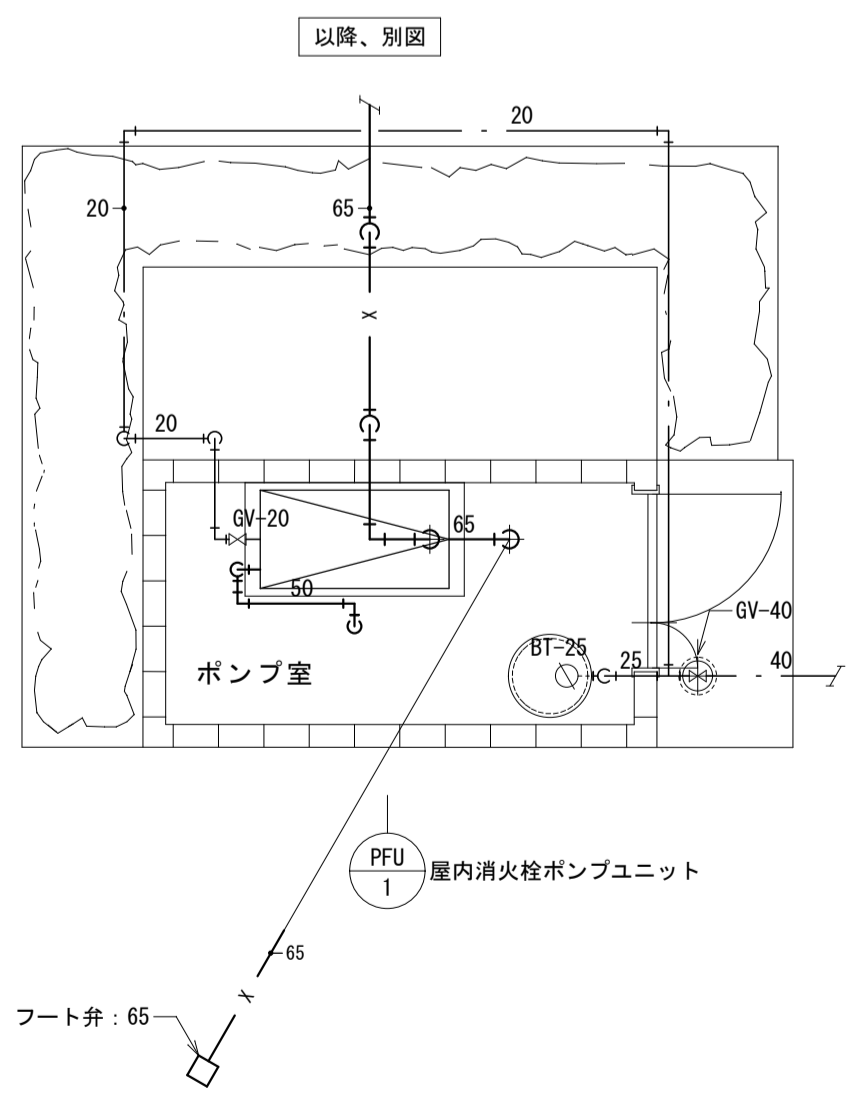
機械設備工事
 SCALE A1-1:100
 A3-1:200

撤去 衛生器具リスト (体育館)

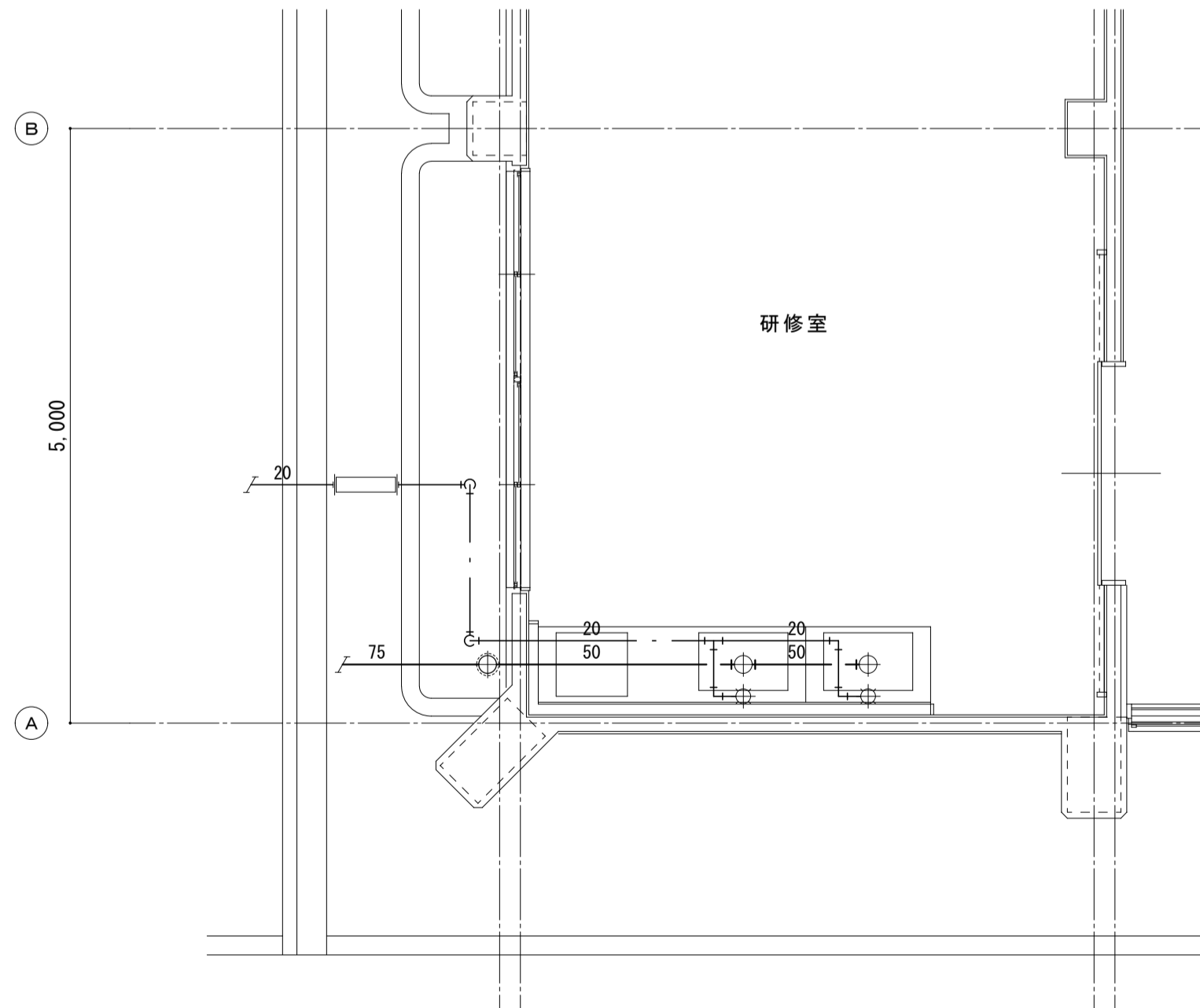
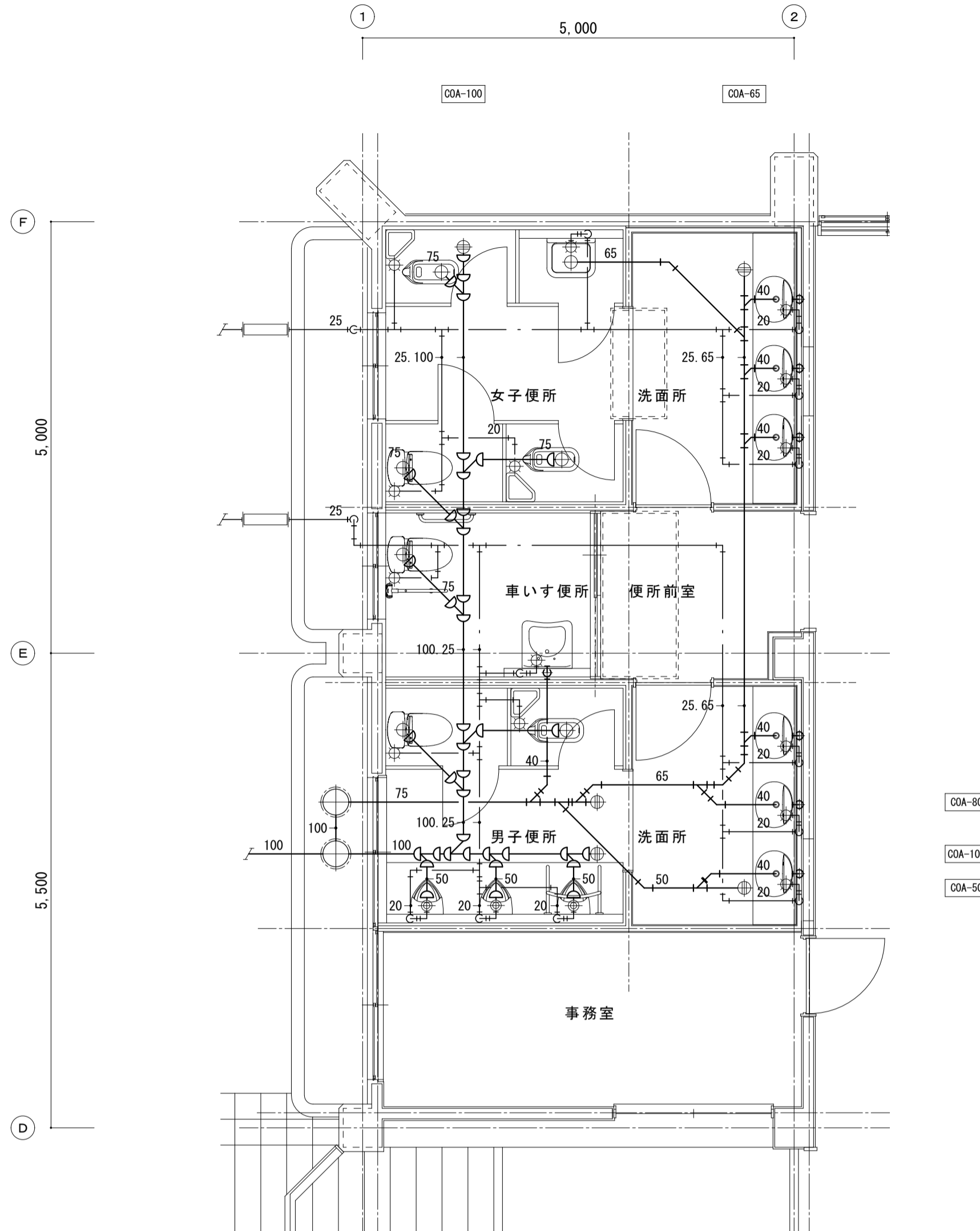
器具名称	仕様	計	女子 便所	男子 便所	多目的 便所
和風大便器	ロータンク、紙巻器共C750V、S570B、YH60N、付属品	3	2	1	
洋風大便器	ロータンク、紙巻器共CS80AB、SH90BA、YH60N、付属品	3	1	1	1
小便器	UFS800CE	3		3	
小便器用手すり	T110BU2	1		1	
洗面器	カウンター洗面器 L589C、付属品	6	3	3	
掃除流し	床排水型 SK22A、付属品共	1	1		
L型手すり	L形手すり 700×700	1		1	
稼動手すり		1		1	
洗面器	L103A、付属品	1		1	
化粧鏡	760×760	1		1	

撤去消火設備機器リスト

記号	機器名称	型式・仕様	電源		電力	数量	備考
			φ	V			
PFU-1	屋内消火栓ポンプユニット	仕様 65 × 450 Lit/min × 51 m ユニット型、ポンプ制御盤、逃がし配管、性能試験装置、ポンプ呼水槽、 付属品 サクシヨンカバー、フート弁(65A)付属、他付属品一式共 ポンプ制御盤 概略重量 300 kg 概略寸法 1,250 × 650 × 1,200H 基礎 750 × 1,450 × 130H	3	200	11.0kW	1	消火ポンプ室



消火設備 ポンプ室配管詳細図 1:50



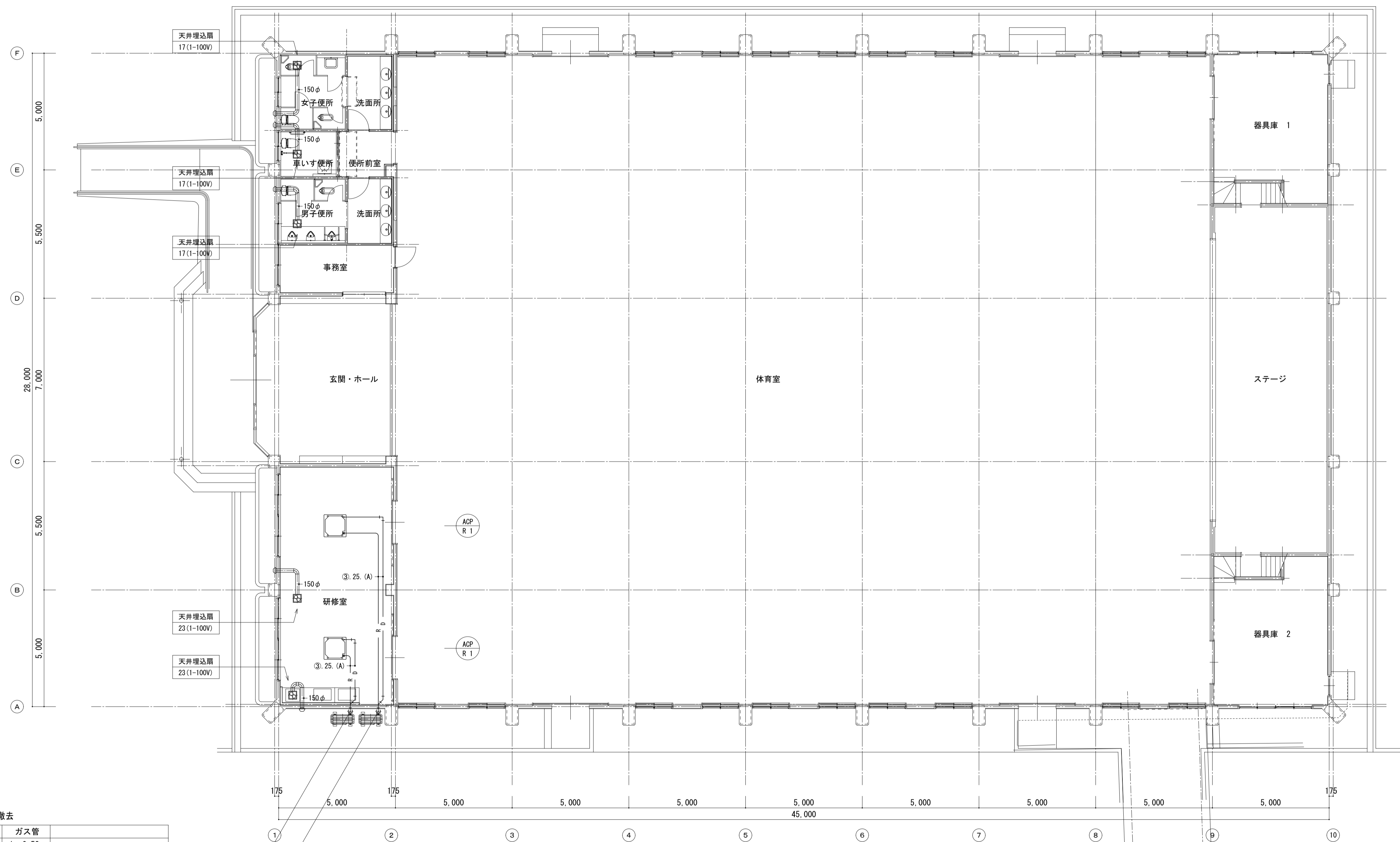
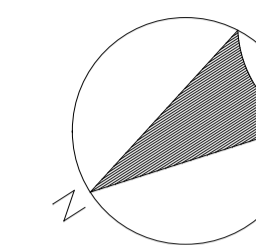
【凡例】

——	撤去部分・配管を示す
.....	残置部分・配管を示す

給排水衛生設備 配管詳細図 1:50

既設冷暖房設備機器リスト

記号	機器名称	型式・仕様	電源		出力(kw)	数量	備考
			φ	V			
ACP-R1	空冷ヒートポンプエアコン	型式 RAS-J63HVRJ2 冷房能力 5.6kw 暖房能力 6.3kw	3	200	COMP = 1.50	2	室外機ブロック基礎 (CON-600×150×150H) × 2 : 撤去
研修室	天井カセットタイプ	室内機 : 概略重量 26.0 kg 概略寸法 950×950×298+37H					
	(室外機室内機撤去・処分)	室外機 : 概略重量 66.0 kg 概略寸法 850×315×800H					
	(日立)	冷媒ガス : R22- kg ※冷媒ガス回収処分共					



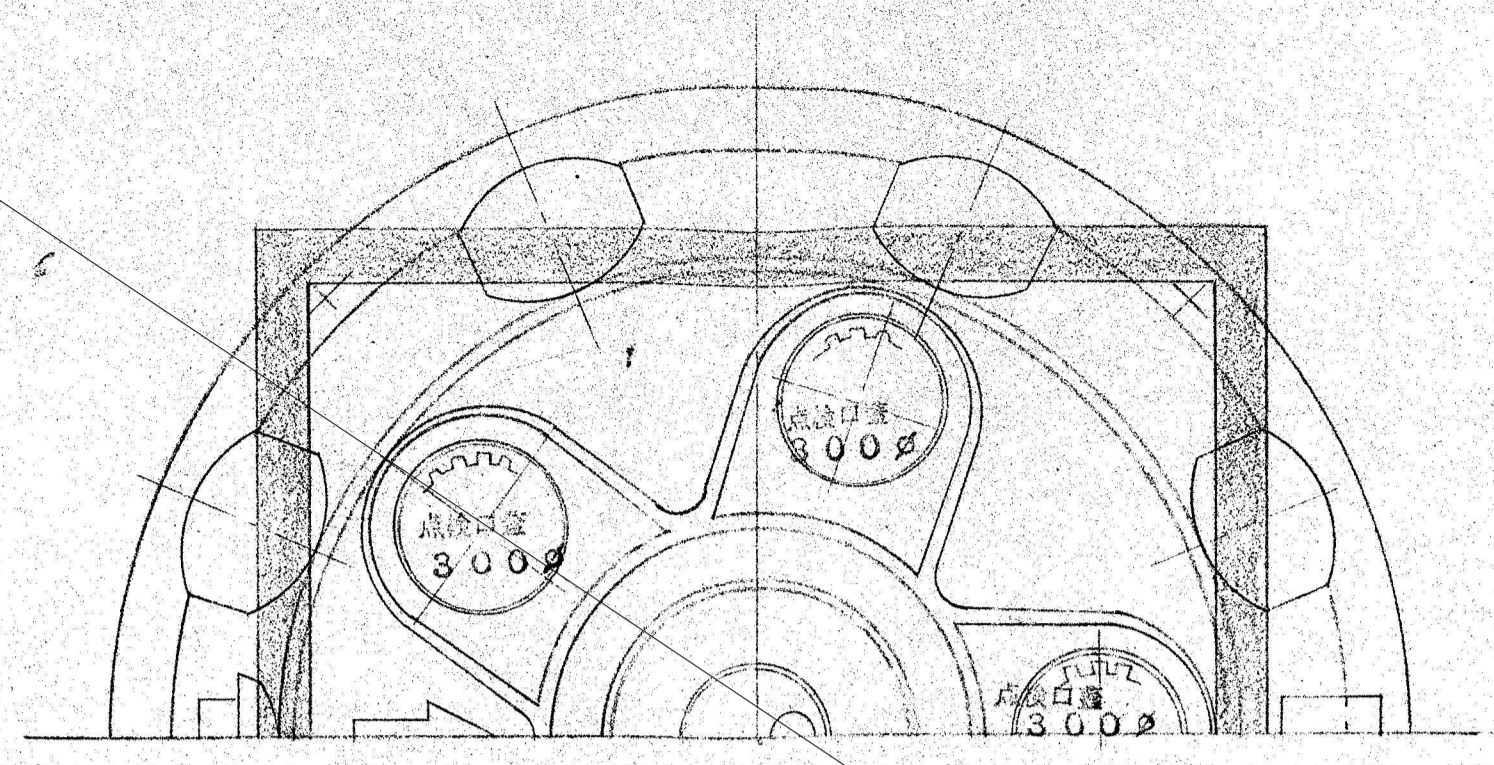
【配管リスト】撤去

記号	液管	ガス管
①	φ 6.35	φ 9.52
②	φ 6.35	φ 12.7
③	φ 9.52	φ 15.88

・被覆銅管(保温厚) ガス管20mm 液管8~10mm
 ・冷媒配管外装 A : カラー鉄板
 ・冷媒配管外装 B : ステンレス鋼板
 ・冷媒配管外装 C : 樹脂カバー
 ・冷媒配管外装 D : 外装無し
 ・屋内機-屋外機間渡り配線は冷媒管共巻

【凡例】

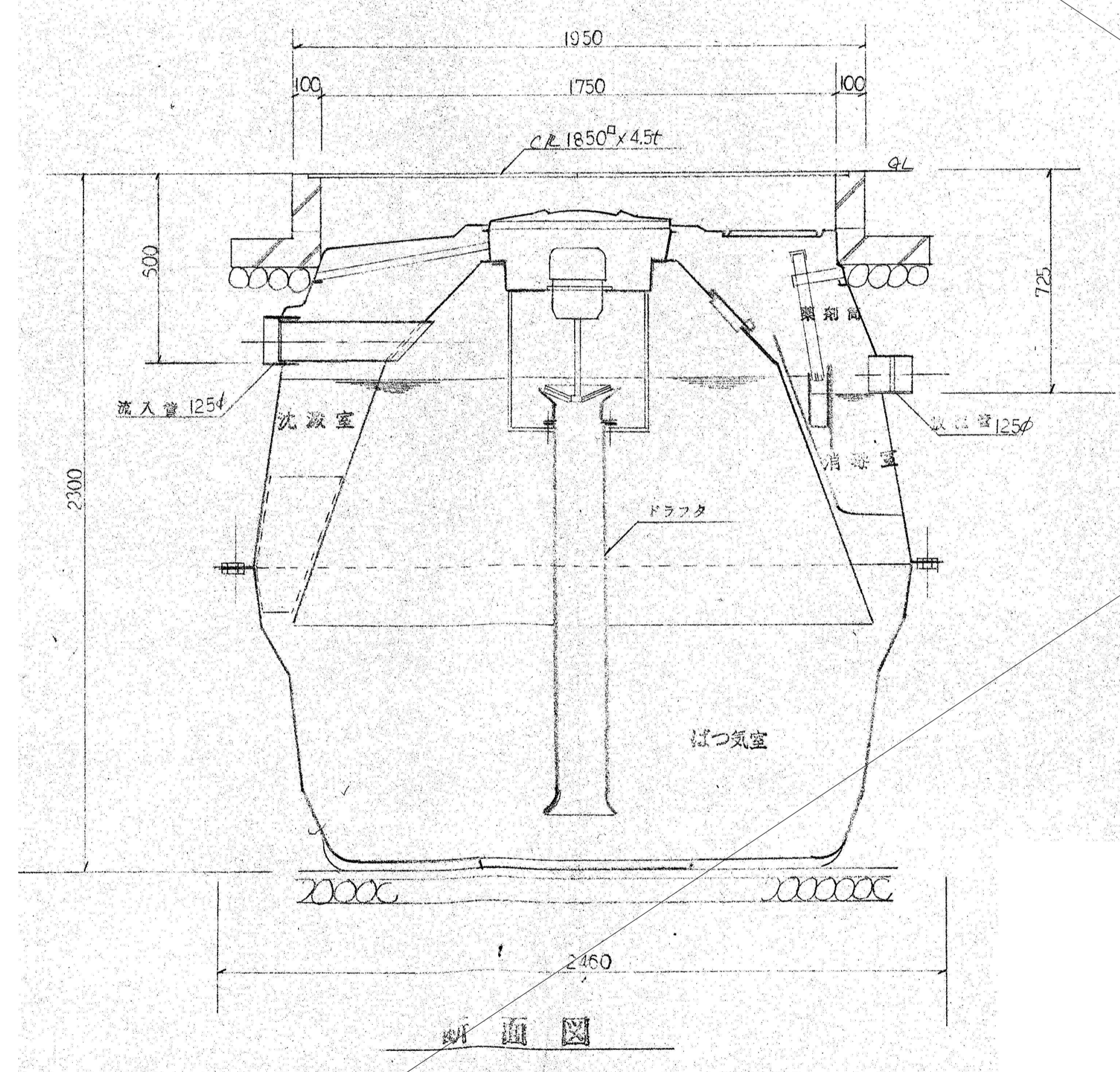
	撤去部分・配管を示す
	残置部分・配管を示す



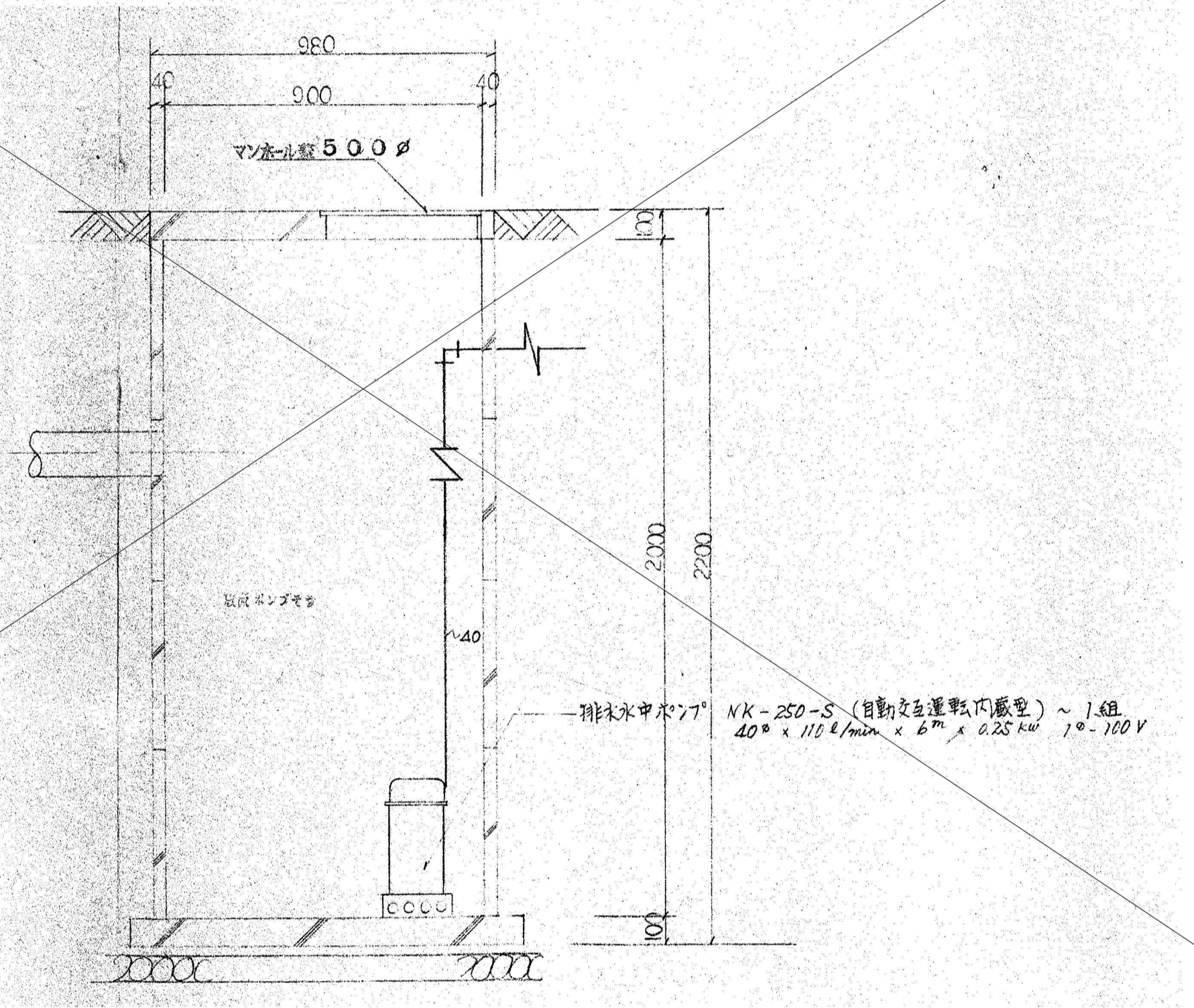
平面図

浄水浄化槽 AK-50型 60人	
総容積	5.385 m ³
消泡室	0.071 m ³
ばつ気室	4.263 m ³
沈降室	1.024 m ³
干-24A 100V 100W	

※ 浄化槽本体寸と記 各等品と可也。



断面図



《実施設計範囲外》

森倉森建築設計事務所
 一級建築士事務所登録 岡山 1081号
 一級建築士 169969号
 赤木 定

牛窓体育館解体工事
 浄化槽詳細図

SCALE
 A1 1:15
 A3 1:30

48
 M.06